

ARMORED COR VI FIRES OF RUBICON

AAP07A

ARQUEBUS BALTEUS

アーキバス・バルテウス

(c)Bandai Namco Entertainment Inc. / (c)2026 FromSoftware, Inc.

- 組立て説明書 -



この度はご購入ありがとうございます！

◆当キットは3Dプリント部品を基本としたガレージキットです。正しい組立のため下記内容を必ずご一読ください。

◆3Dプリント部品

- ・パーツは、サポートと呼ばれる造形時の“支柱”をラフに除去した状態で同梱されております。サポート面には丸いポツポツの跡が残っていますので、やすり掛けし、必要に応じて溶きパテを塗り、きれいに整形してください。
- ・SLA方式と呼ばれる造形方法で、積層痕が表面に現れるのが特徴です。この積層も狙ったものではないため、やすり掛けで面をならしてください。
- ・衝撃で破損しやすいため、薄い・細い部品は特に取り扱いにご注意ください。破損した部品が修復困難な場合は速やかに弊社までご連絡ください。
- ・白い粉が付着している部品がございます。不良ではなく3Dプリントレジン顔料の沈殿が乾燥したものです。歯ブラシなどでこすってできる限り落としていただくと表面が綺麗に仕上がります。
- ・プリント部品は水に弱いです。24時間以上水に浸しっぱなしにするとクラックが発生します。なるべく整形作業には水を使わないようにしてください。

※クリア部品について（今回は付属しません）

- ・そのままの状態の部品は曇っていますが、面をやすりで磨き、クリア塗料を塗るとガラスのような透明さを得ることができます。水研ぎも問題ありません。

◆組み立て

※必要な道具

- ・6角レンチ ※2面幅が3mmおよび5mmの2種必要です
- ・先端が大きめのプラスドライバー
- ・やすり各種
- ・瞬間接着剤または2液混合エポキシ接着剤

基本、軸打ちをしなくても接着剤で組み立てられる設計です。

ただし1mm、1.5mm、2mmの金属線を用いて補強するとなお安定感が増します。

金属線を通す場合はドリルで穴あけの必要がございますが、細い部分はドリルの負荷で欠けやすいので、ゆっくり穴あけしてください。

ドリルは切れ味の良いもの（TAMIYA製やNACHI製ドリルなど）を使用してください。

◆取説内の部品名

説明に出てくる各部品名は、便宜上MODEL SQUADが勝手に付けているだけなので、公式設定の名称ではありません。ご了承ください。

◆下地処理および塗装

- ・前述のサポートや積層痕の処理時はなるべく水を使わない空研ぎをお勧めします。ただし2mm以上厚みのある部品であれば水研ぎも可能ですので部品によって処理を変えてください。
- ・全部品、下地にはプライマー入りサーフェイサーをご使用ください。プラモ用サーフェイサーではマスキングをはがしたときに一緒に塗料がはがれるリスクがあります。クリア部品の下地にはフィニッシャーズのマルチプライマーをお勧めします。
- ・2mm以下の薄い細いパーツの場合、濡れるように大量のサフを塗布と変形するリスクがございます。一度変形すると形状は元に戻らないため、少しずつじっくり乾燥させながら吹き、変形させないように均一に塗装してください。
- ・サフ後はどの塗料でも使用可能です。

※すべての部品はIPA(イソプロピルアルコール)による洗浄、および紫外線装置で2次硬化済みです。

もし表面に未硬化液が残留していた場合、模型用シンナーでふき取って綺麗にして下さい。

太陽光にあてる必要はありません。

中空によるレジン封じ込め部品はございませんので自然クラックのリスクは限りなく低いですが、万が一クラックを発見した場合はすぐにご連絡ください。代替部品を準備いたします。

◆部品請求について

- ・パーツチェックを必ず行ってください。
- ・不足、破損の場合は下記期間内に部品を請求していただくようお願いいたします。
 - レジンキャスト部品：販売日から1か月間 ※今回はなし
 - 3Dプリンティングパーツ：販売日から2年間

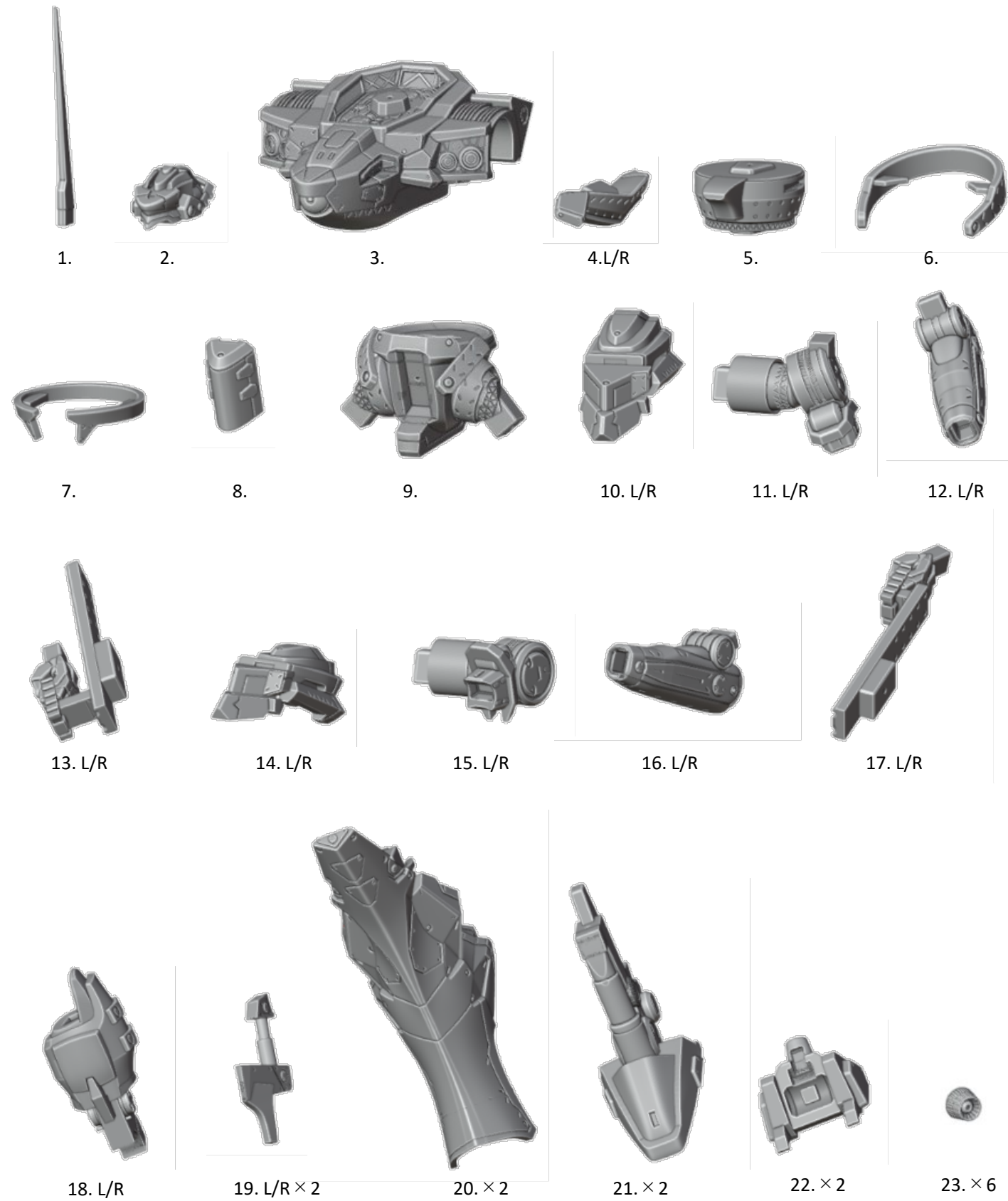
◆その他、何かお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。

Eメール :information@model-squad.com

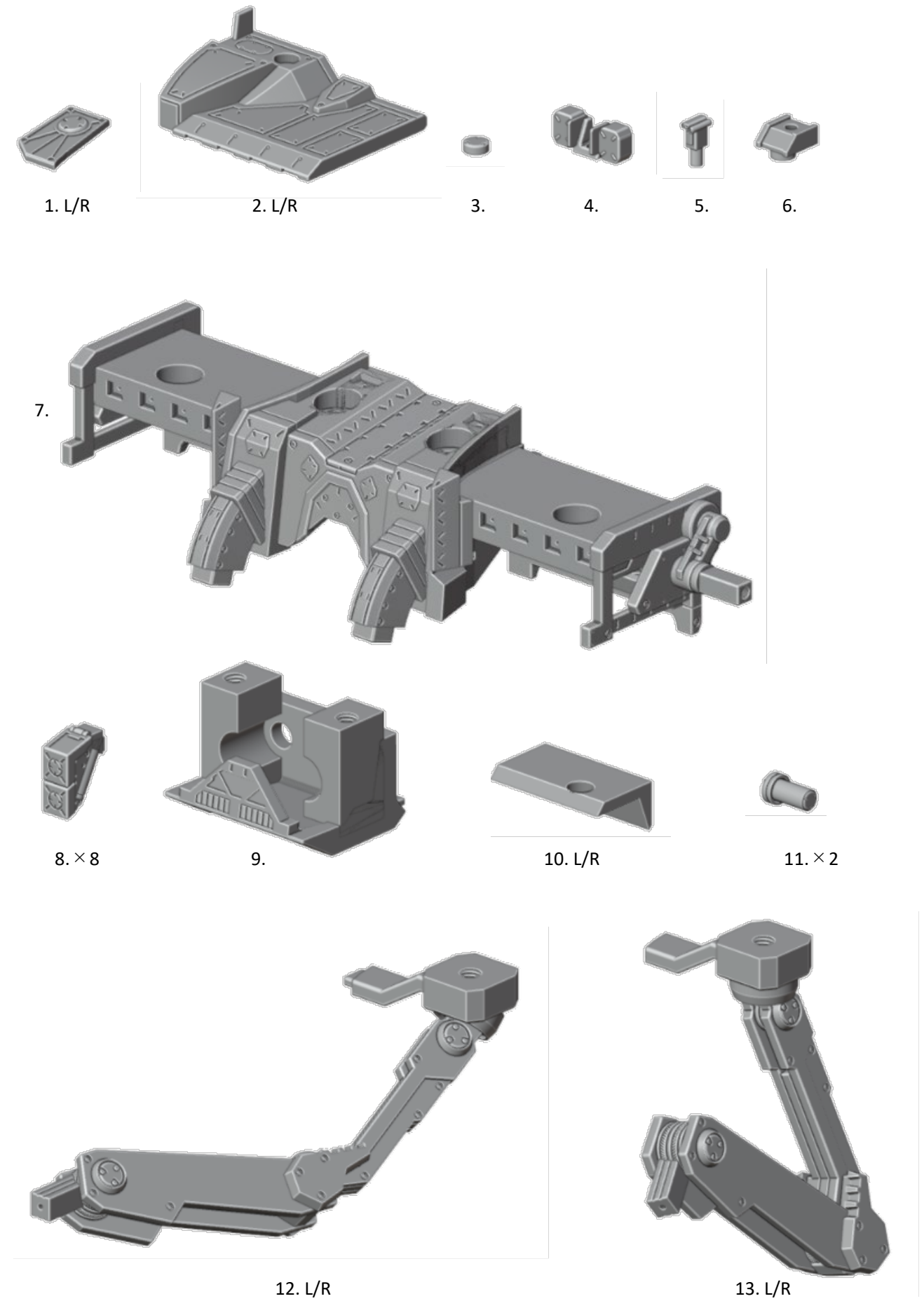
代表電話 :052-848-3888

パーツリスト01 【ロボット】

<表記上のポイント> L/R...左右対称のパーツあり、 × 数字...同じ形状が数字分あり



パーツリスト02 【バックパック】



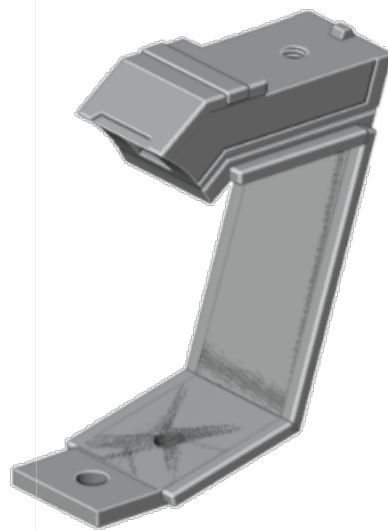
パーツリスト03 【センターブロック】



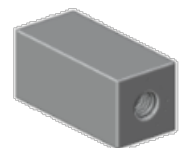
1.



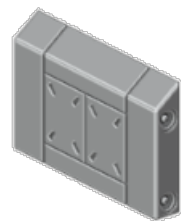
2. L/R



3.



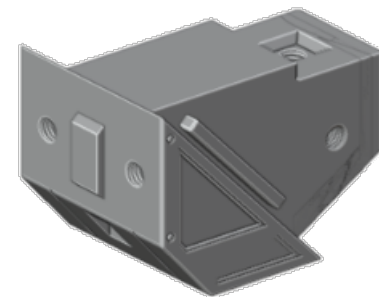
4.



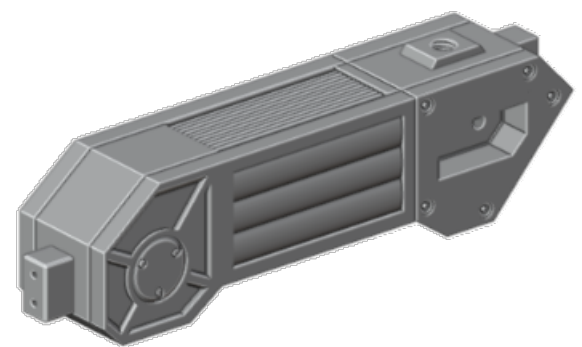
5.



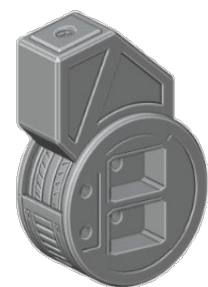
6. L/R



7.



8.

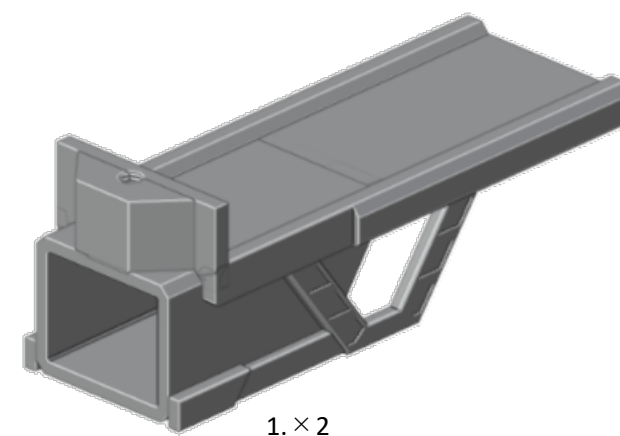


9.

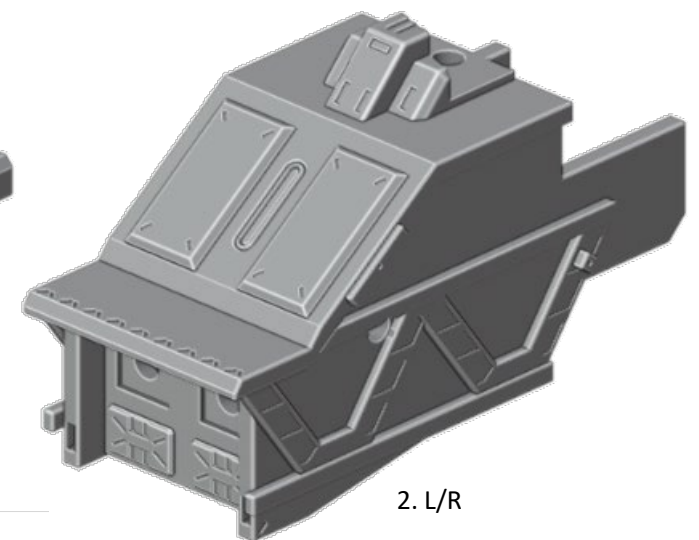


10. × 2

パーツリスト04 【サイドブロック】



1. × 2



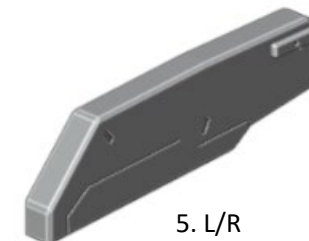
2. L/R



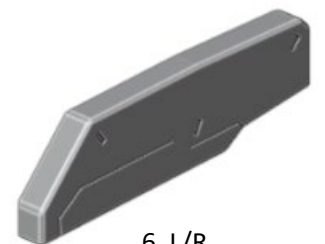
3. × 2



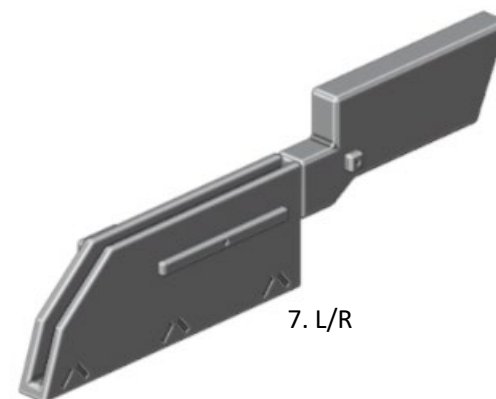
4. L/R



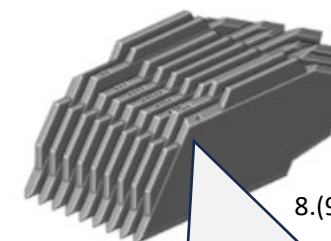
5. L/R



6. L/R



7. L/R



8.(9枚セット) × 2

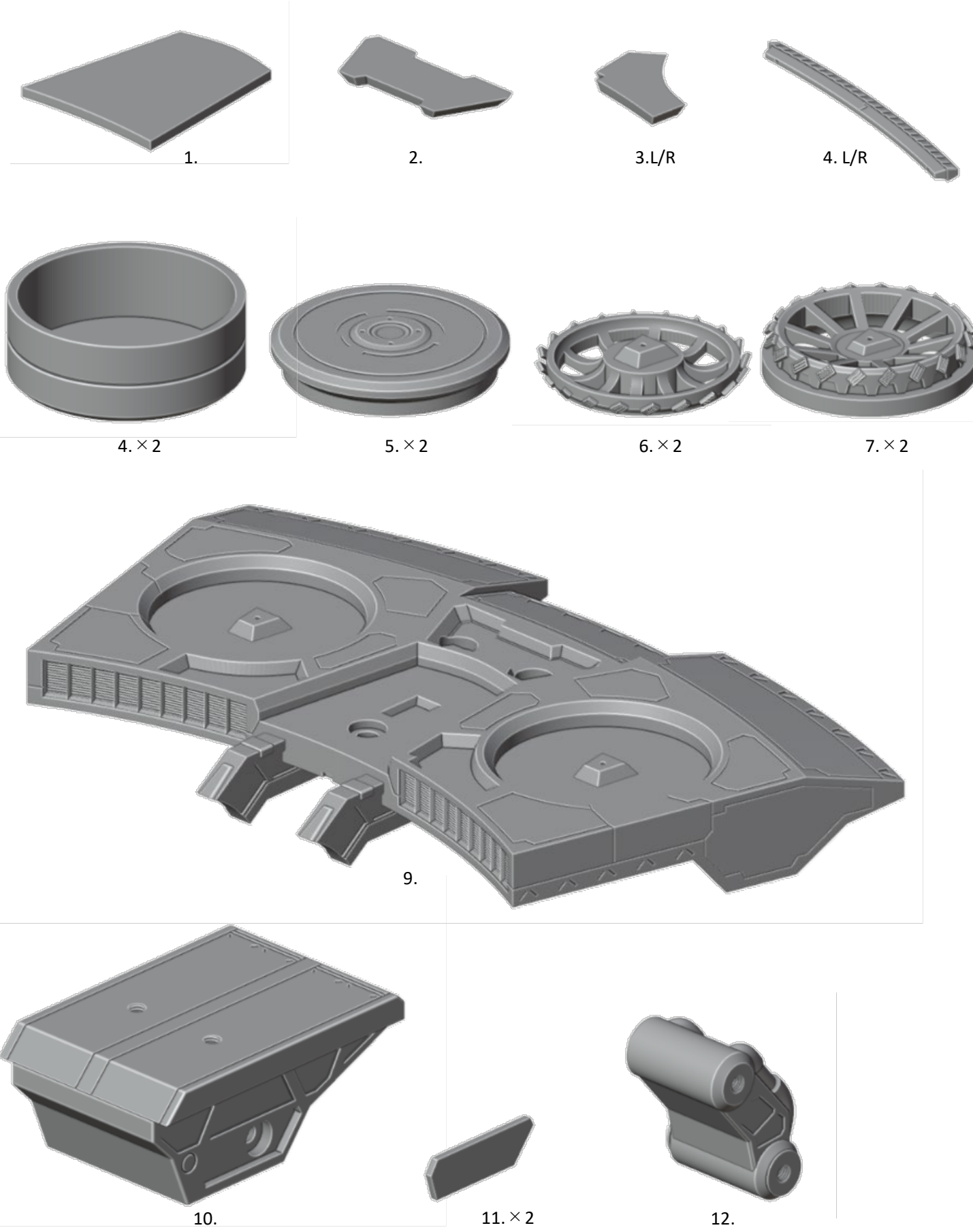


9. × 4

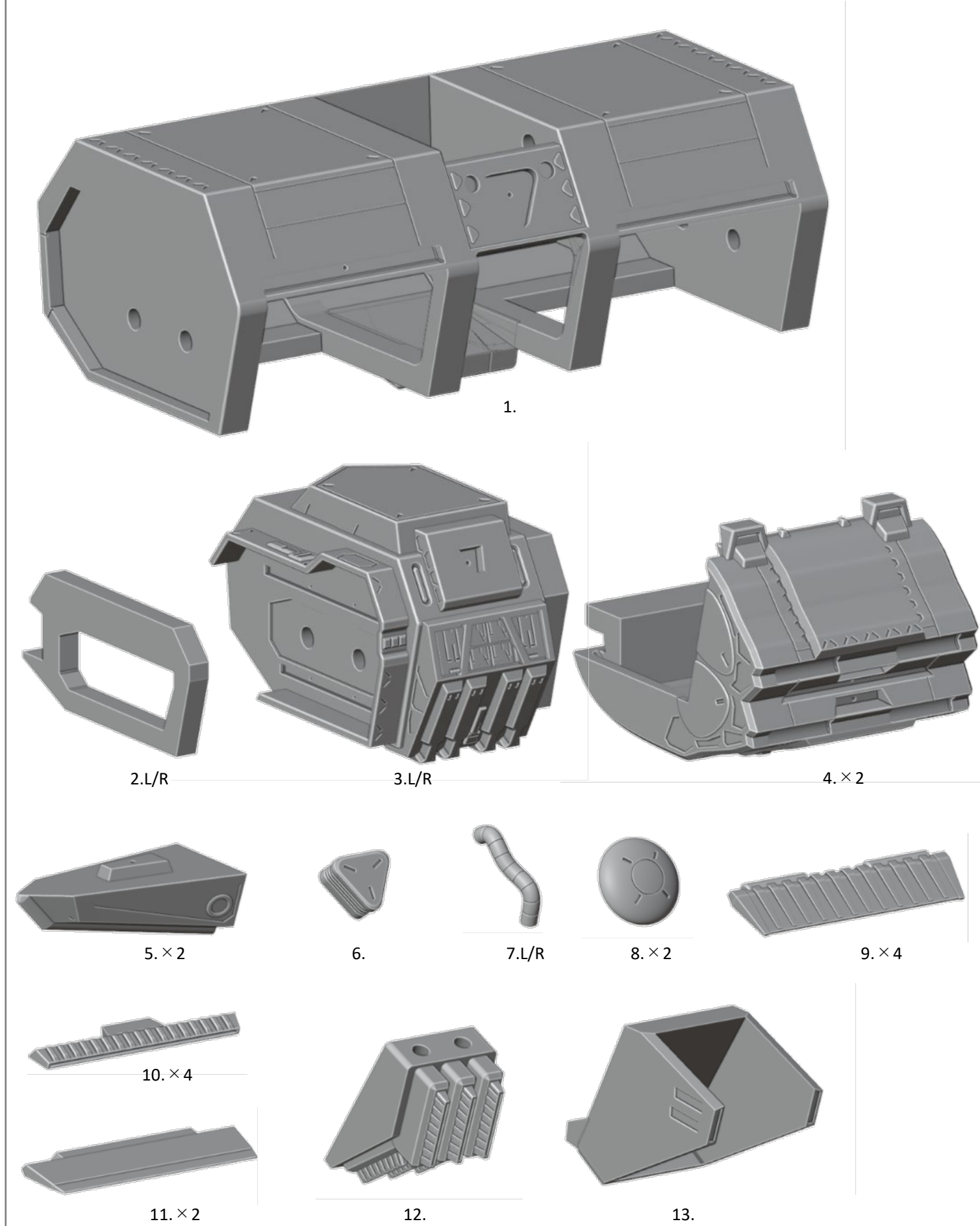


端部にドット
刻印あり。
両端の板のみ
斜めカットで
LRあるので注意。

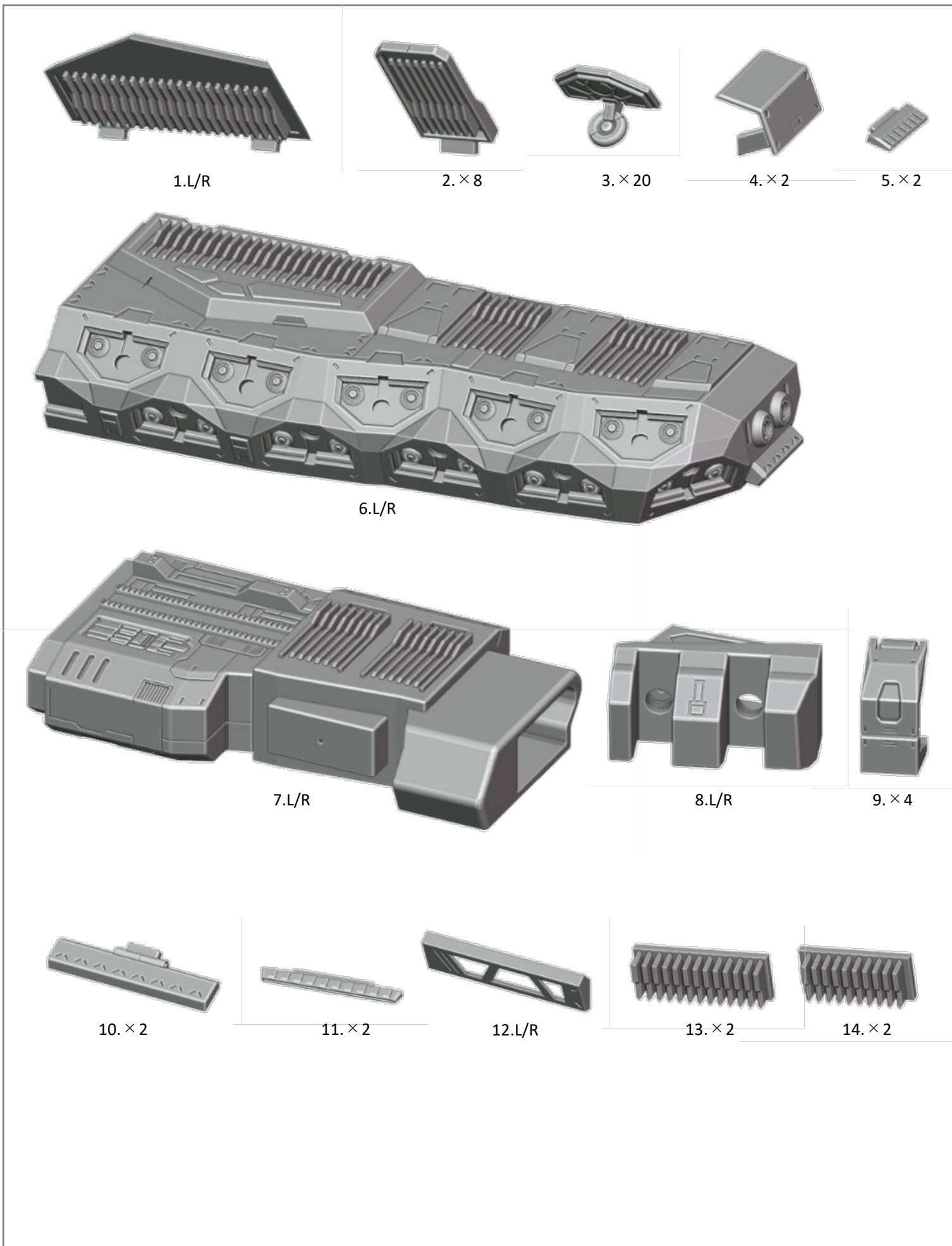
パーツリスト05 【トップブロック】



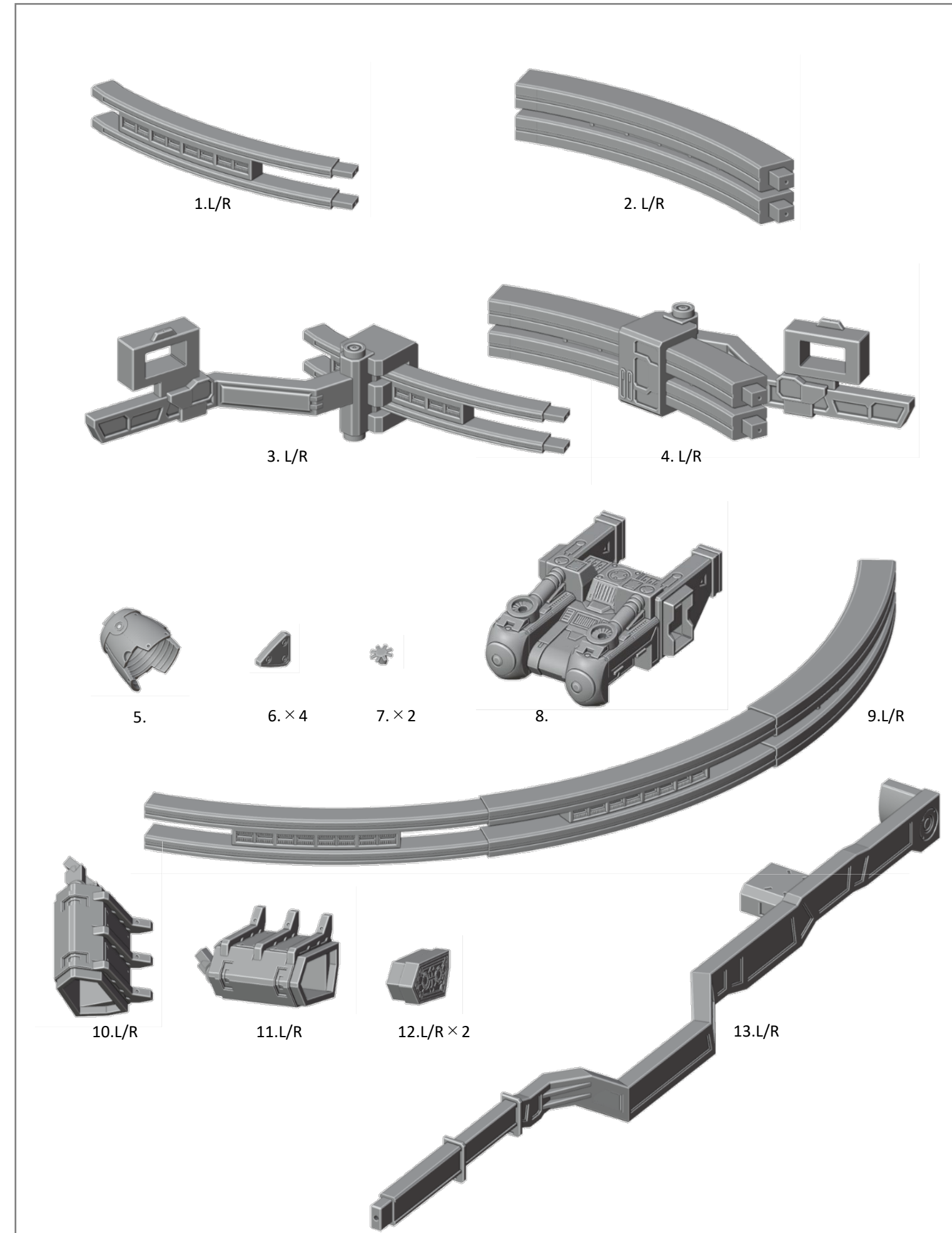
パーツリスト06 【ボトムブロック】



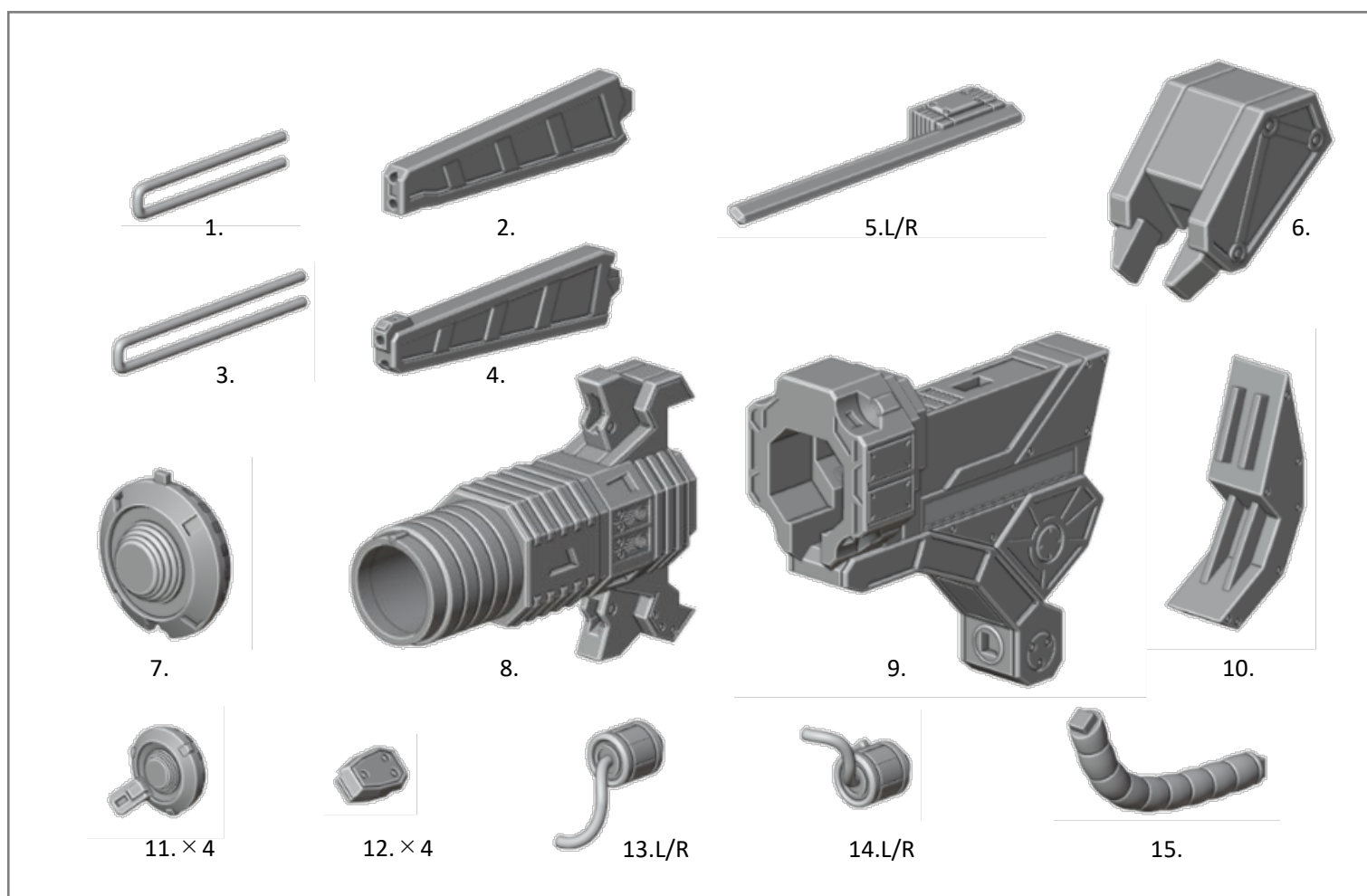
パーツリスト07 【サイドウイング】



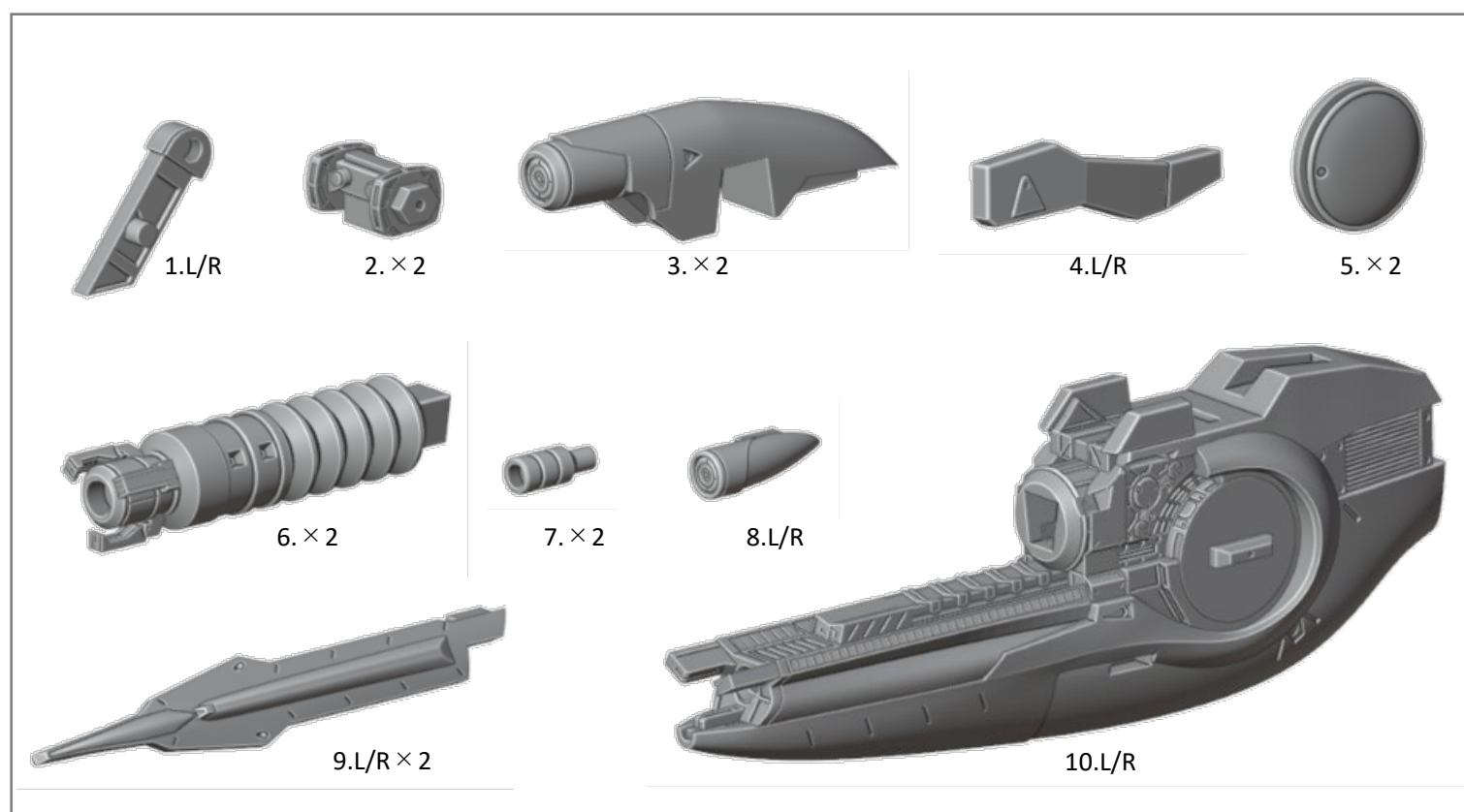
パーツリスト08 【ベースリング】



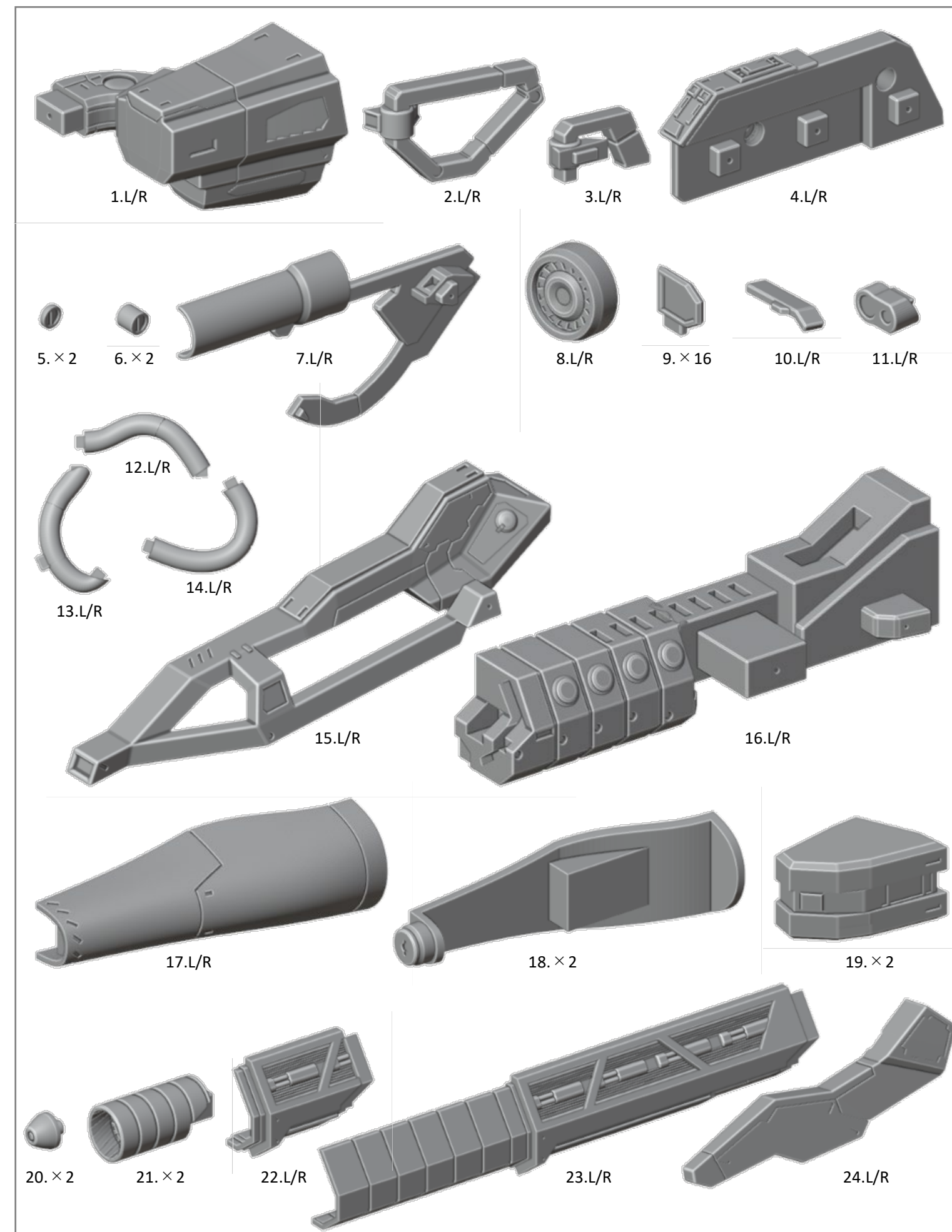
パーツリスト09 【ショルダーキャノン】



パーツリスト10 【ハンドキャノン】



パーツリスト11 【バックキャノン】



◆ボルト類

超低頭	M6×10mm	…7本
なべ小	M6×10mm	…8本
なべ小	M6×20mm	…2本
なべ小	M6×30mm	…2本
六角穴	M6×10mm	…7本
六角穴	M6×15mm	…4本
六角穴	M6×25mm	…3本
六角穴	M6×30mm	…1本
六角穴	M6×70mm	…4本
丸ワッシャー		…4個
木ネジ	4×16mm	…4本



超低頭



なべ小



六角穴



木ネジ

◆2mm プラ角棒20cm …2本

◆20mm アルミ角パイプ …1本

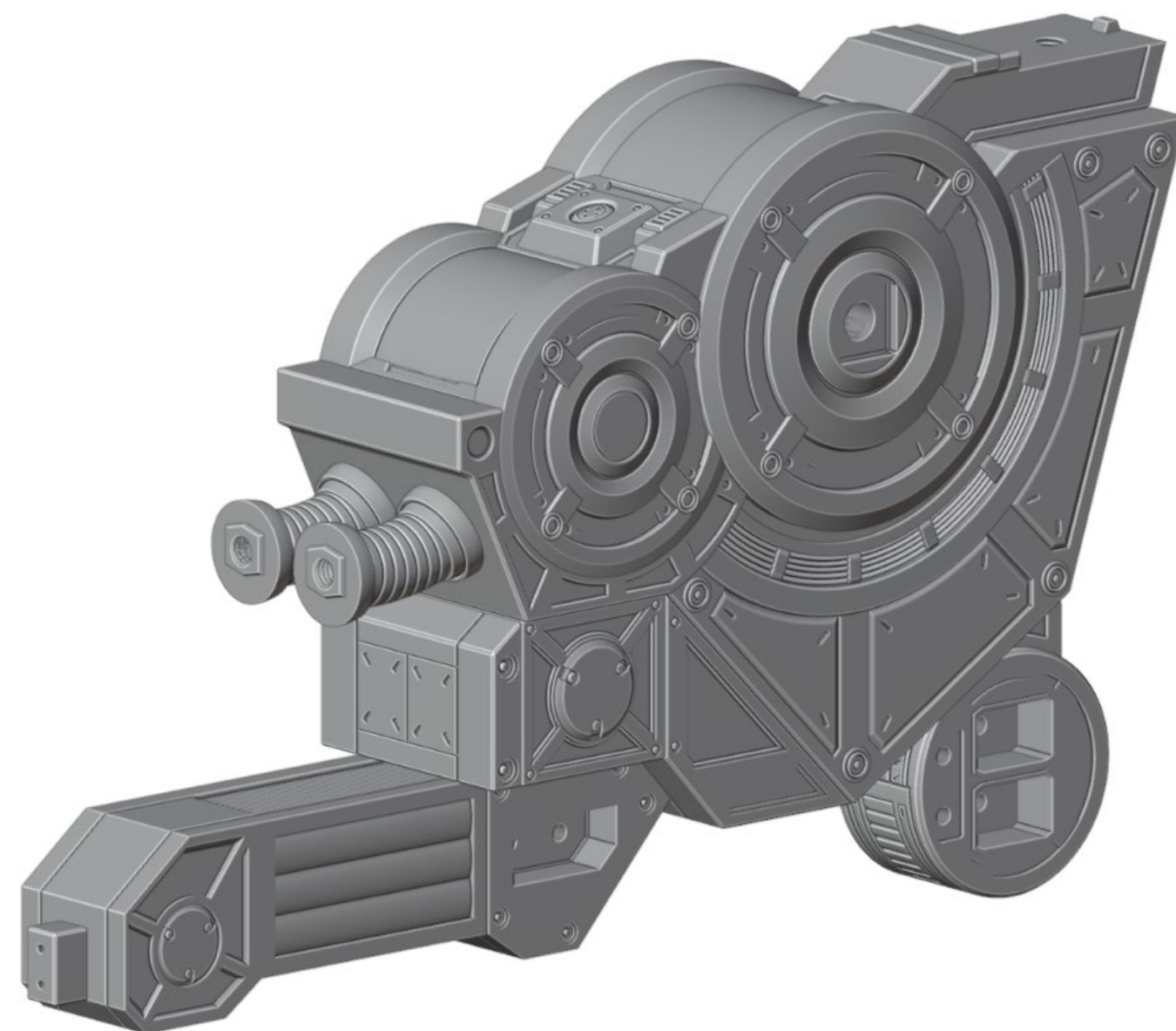
◆20mm アルミ角パイプ用ソケット …1個

◆ソケット固定用木ネジ …4個

◆ベース用黒色板 60cm×30cm×18cm …1枚

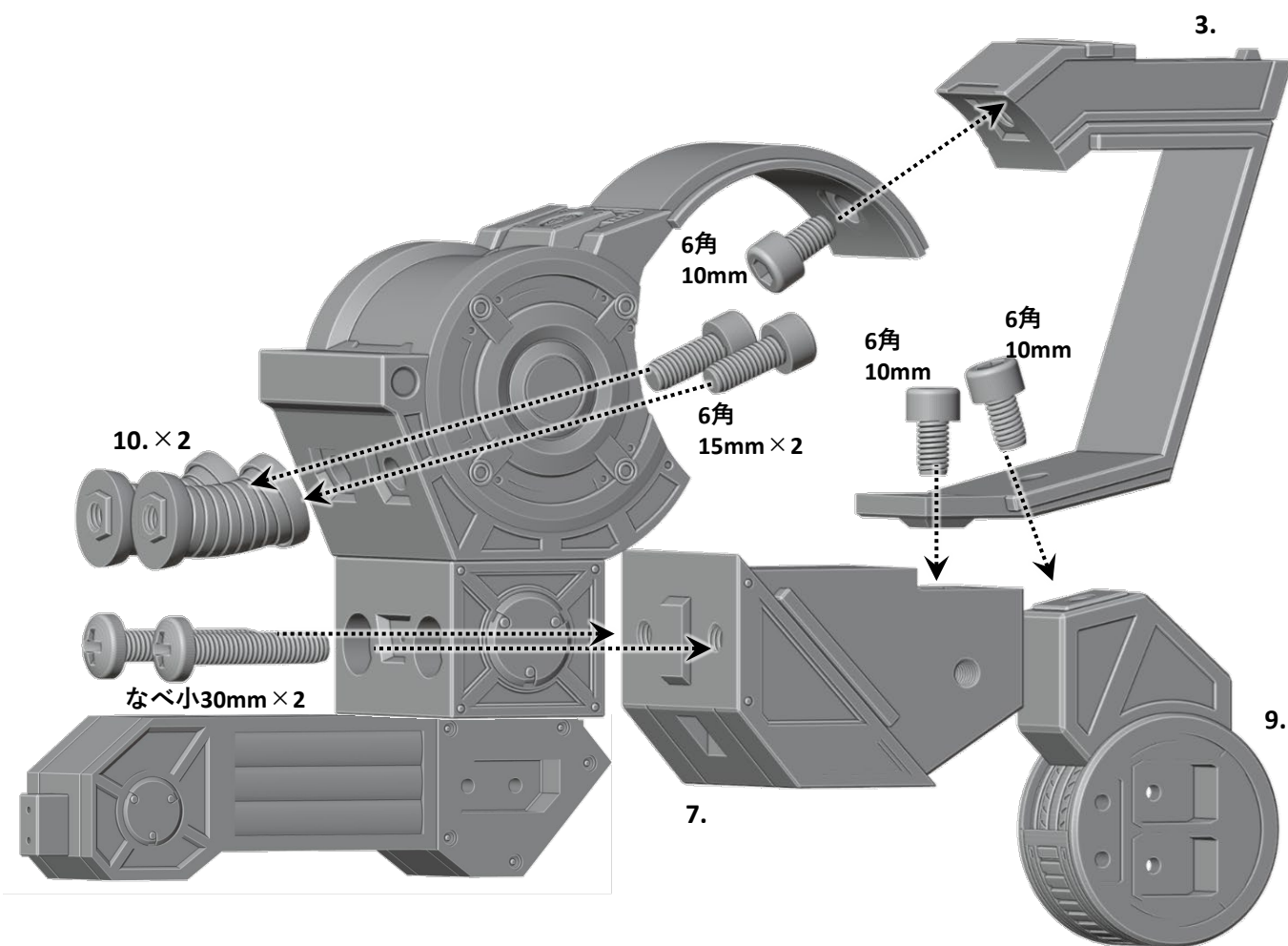
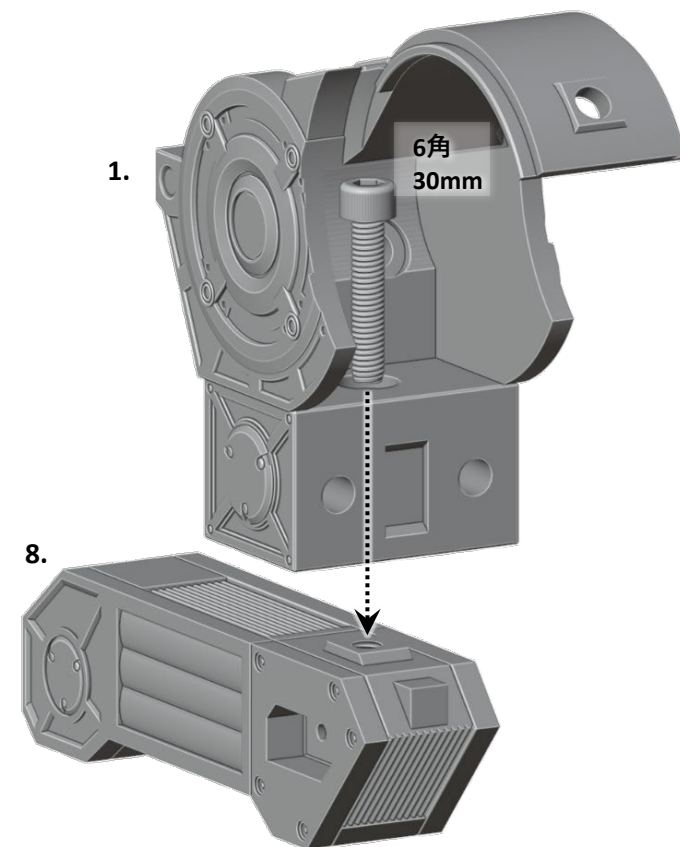
◆ベース用ネームプレート …1枚

◆ネオジムマグネット Φ6×3mm厚 …4個

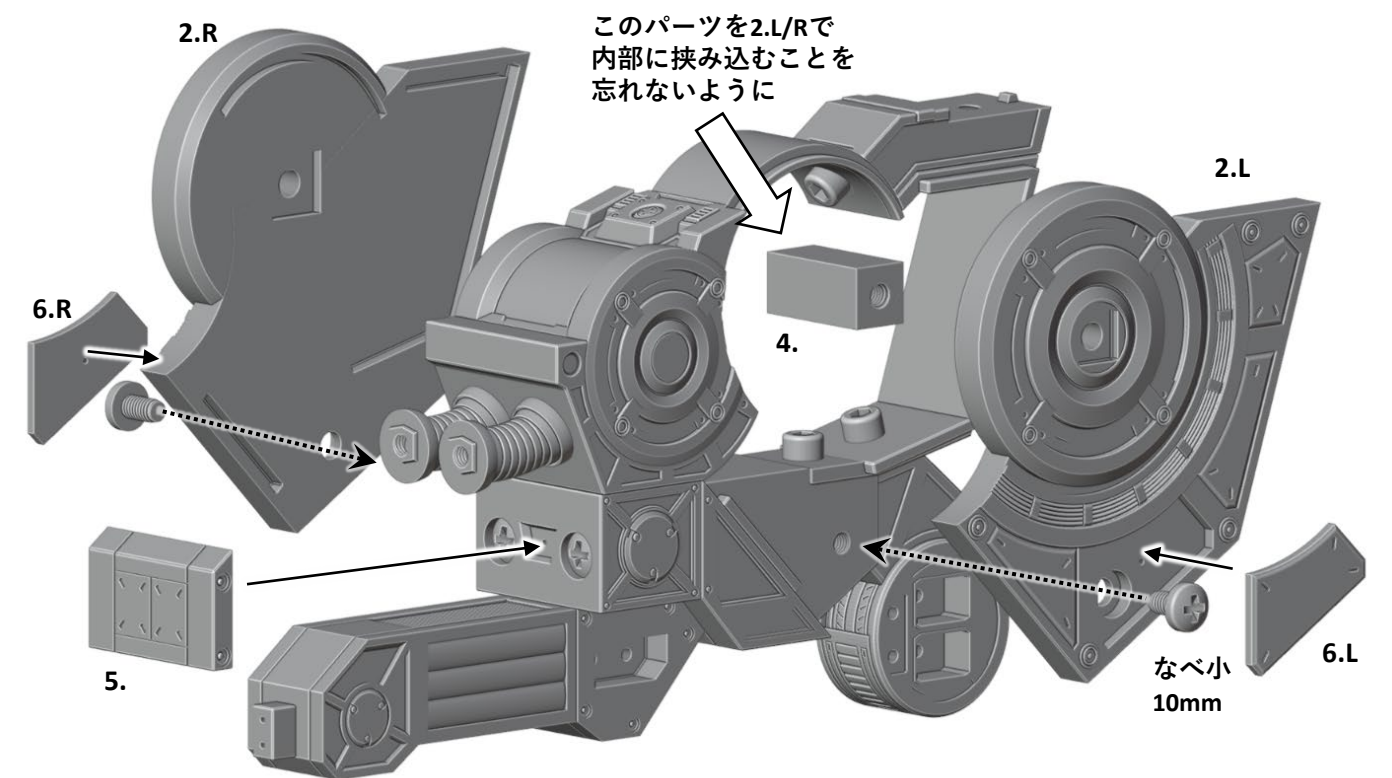
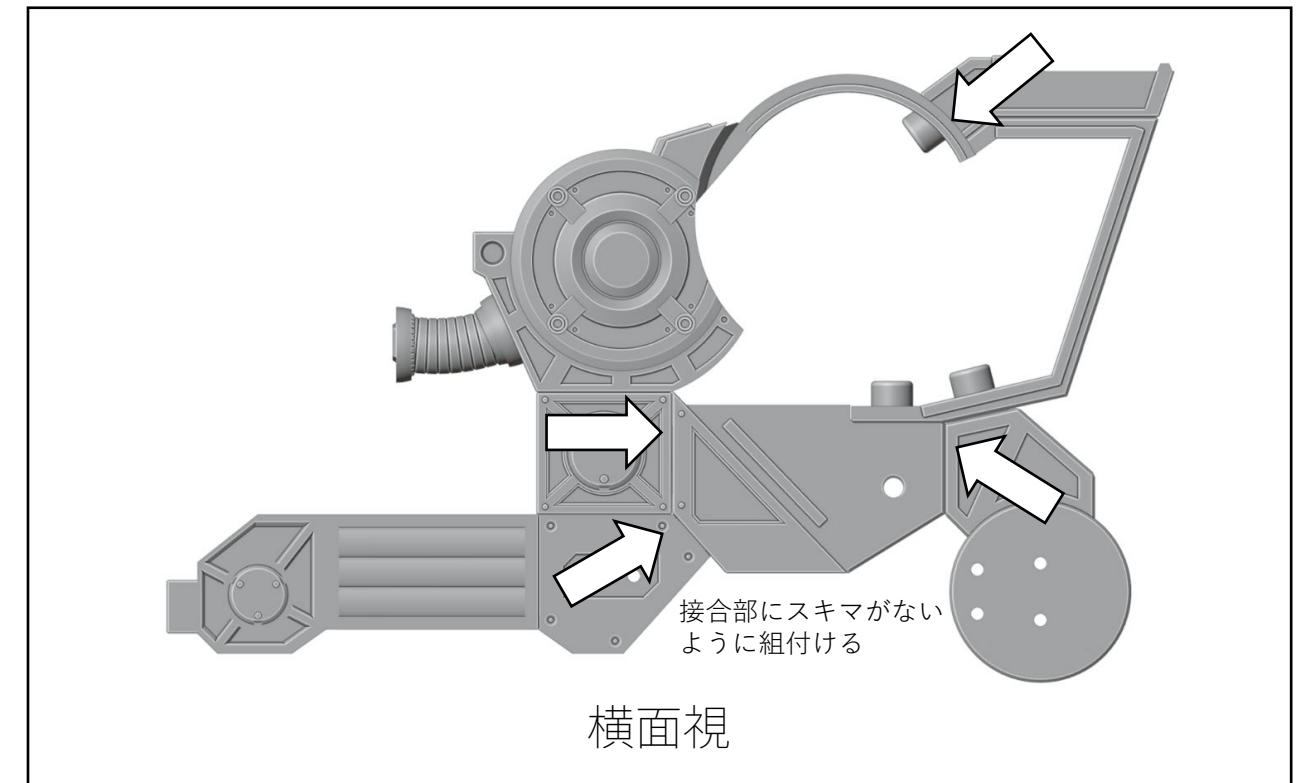


※アーキバス・バルテウス全体を支える基幹部位。
ボルトを締める時はゆっくりあせらず、時間をかけましょう。

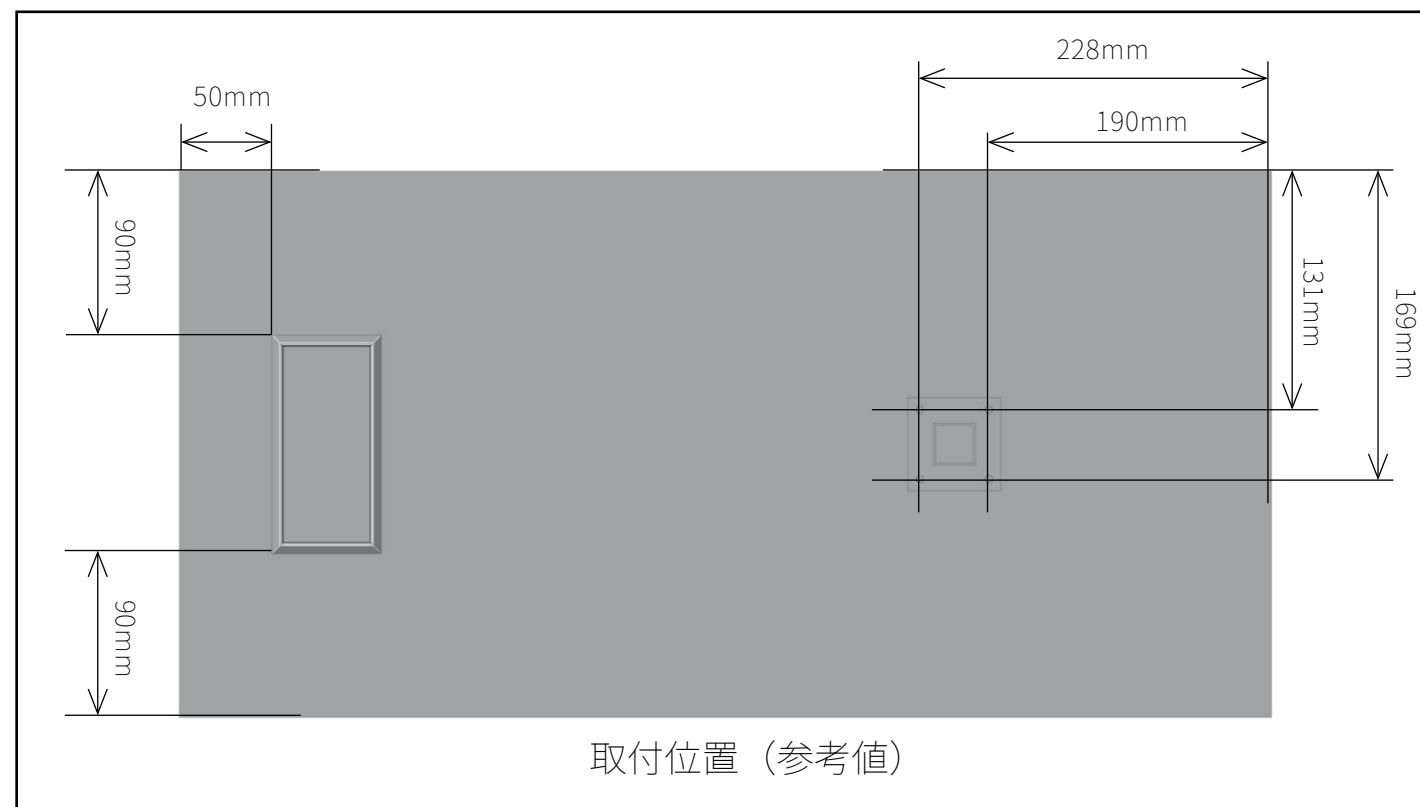
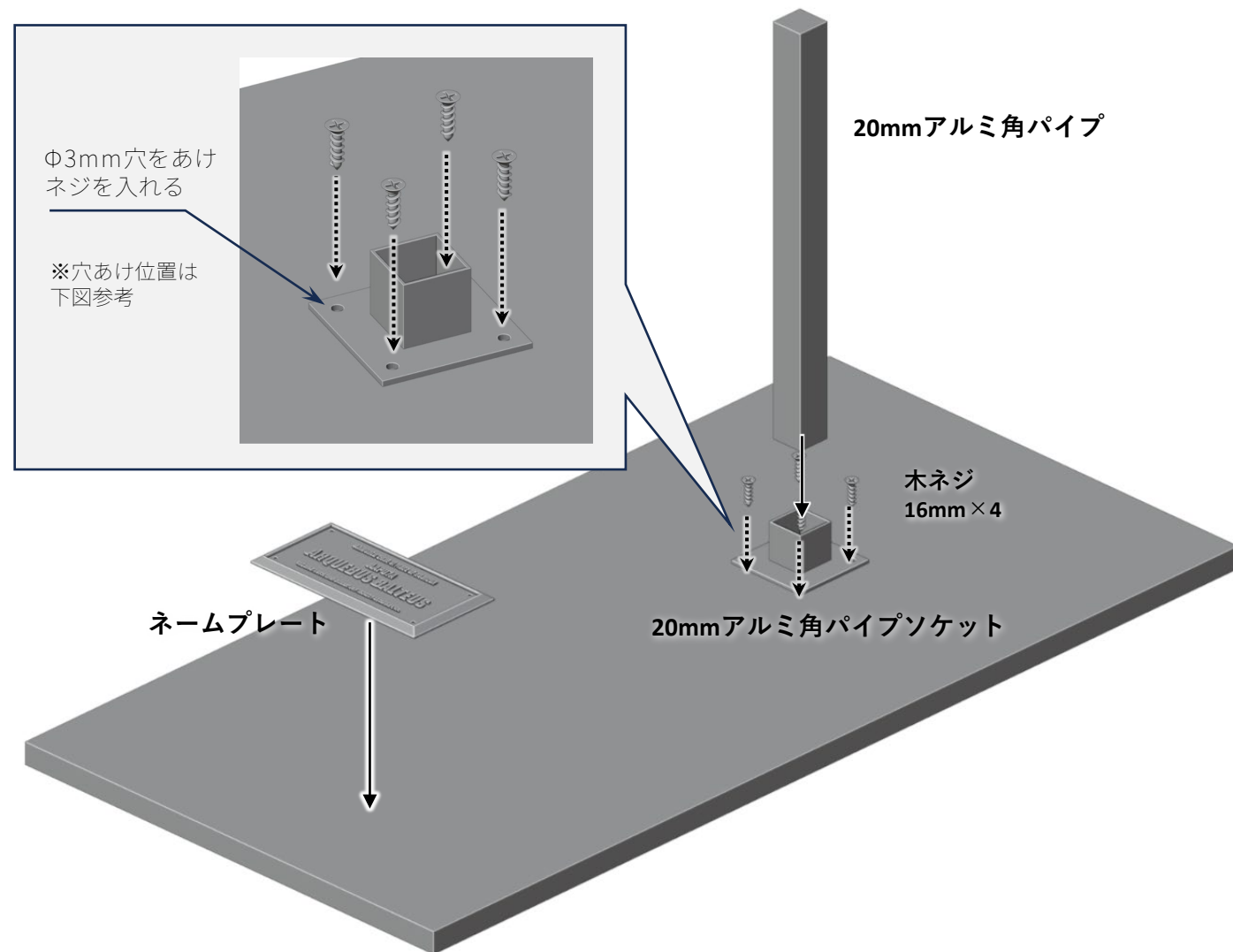
サブアッシー01 【センターブロック】



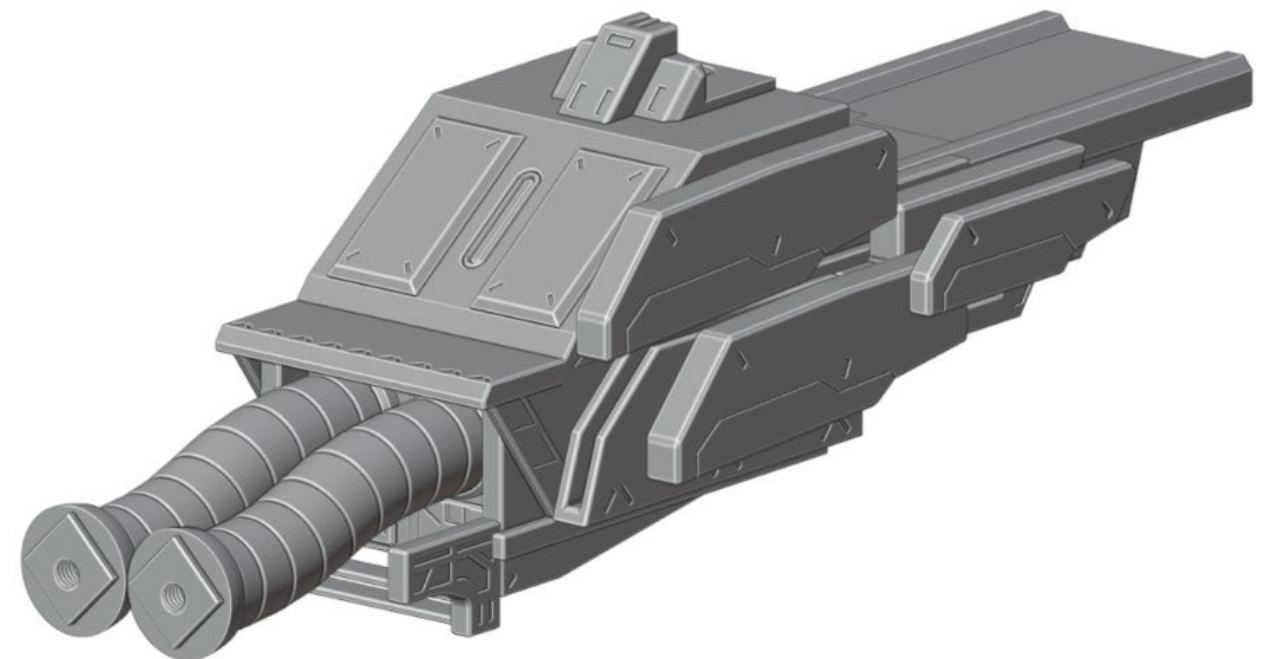
サブアッシー01 【センターブロック】



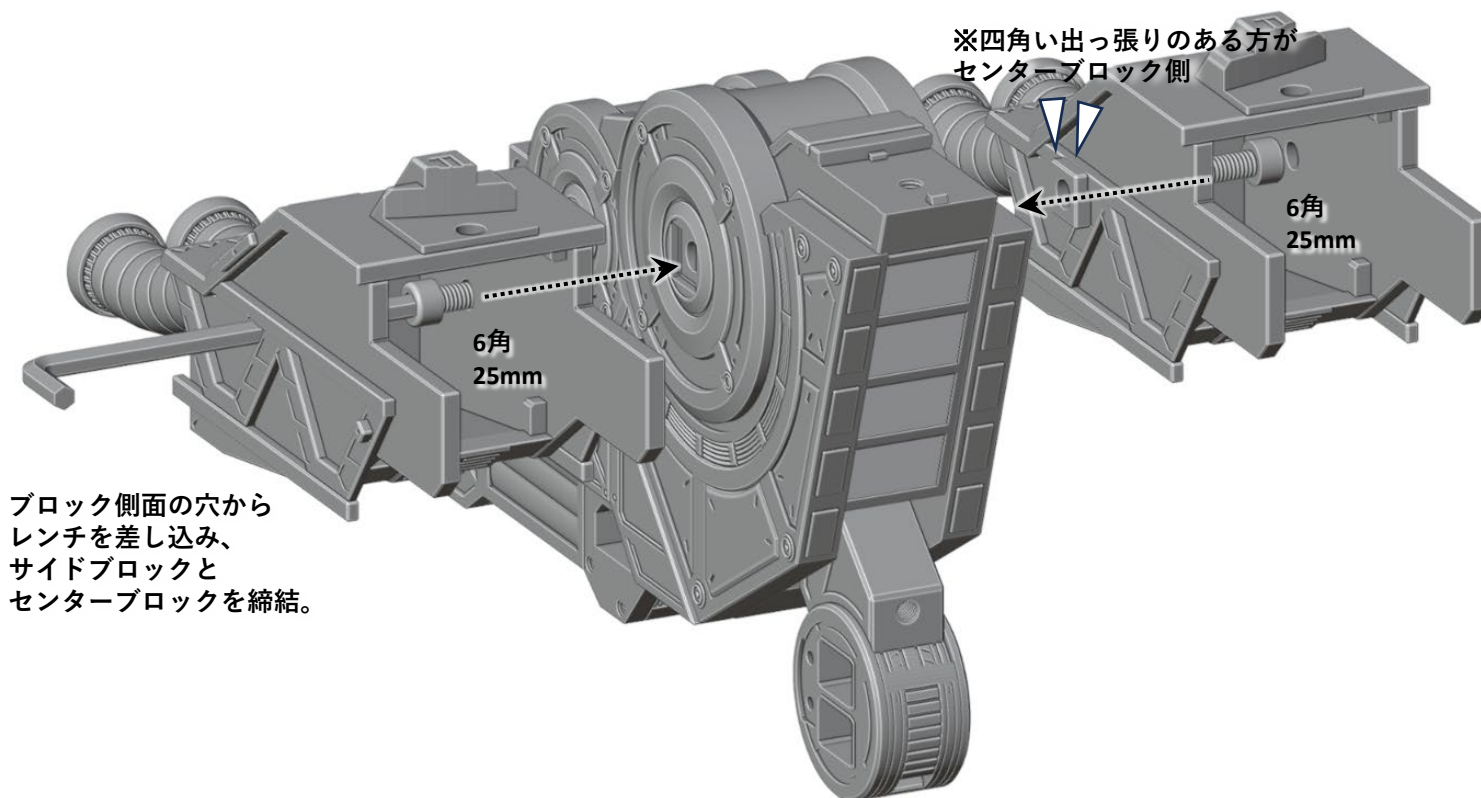
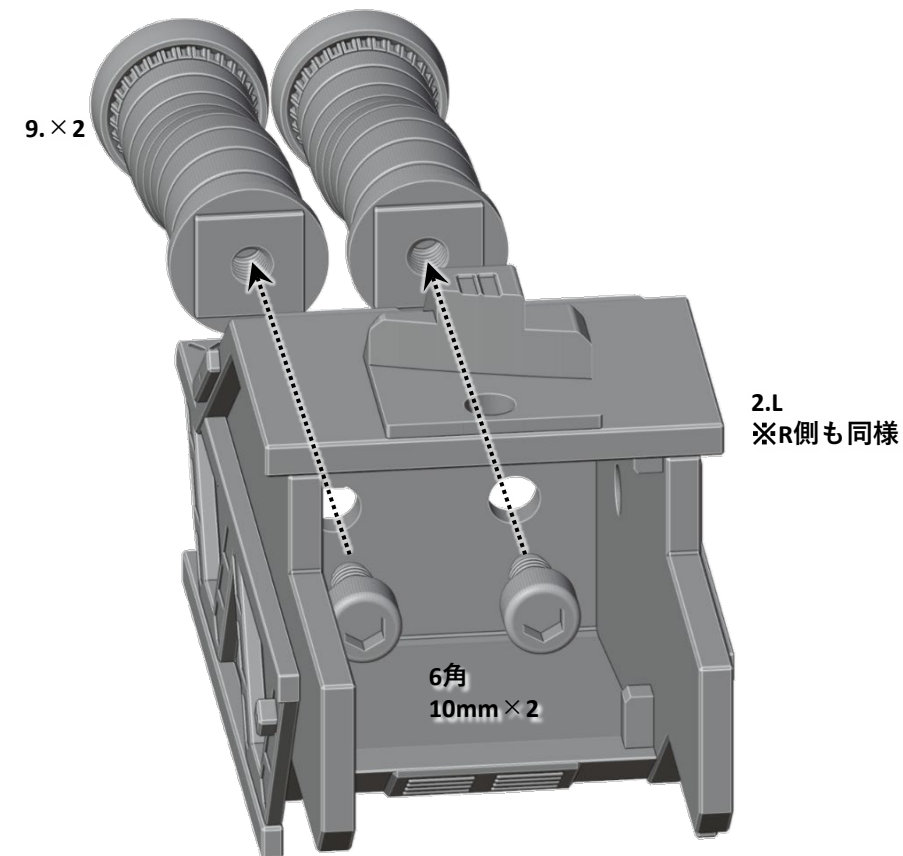
【台座】 ※ここから部品がどんどん重くなっていくため、台座を先に作り部品を載せておくと安定して作業ができます。



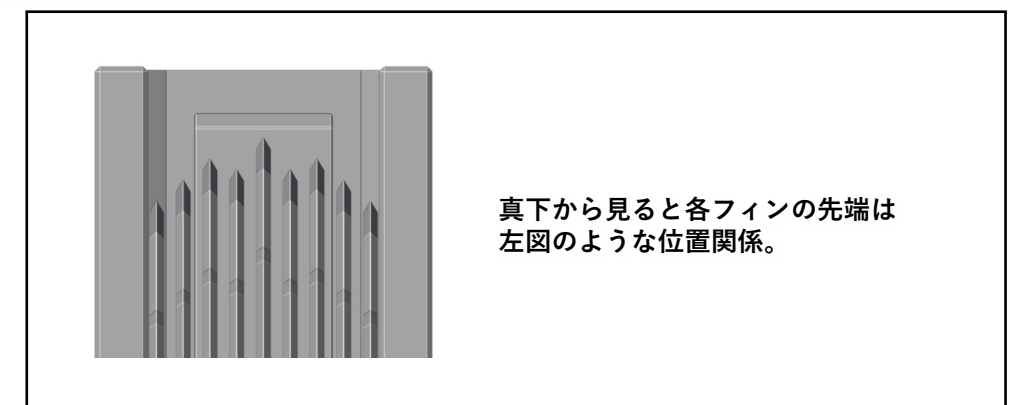
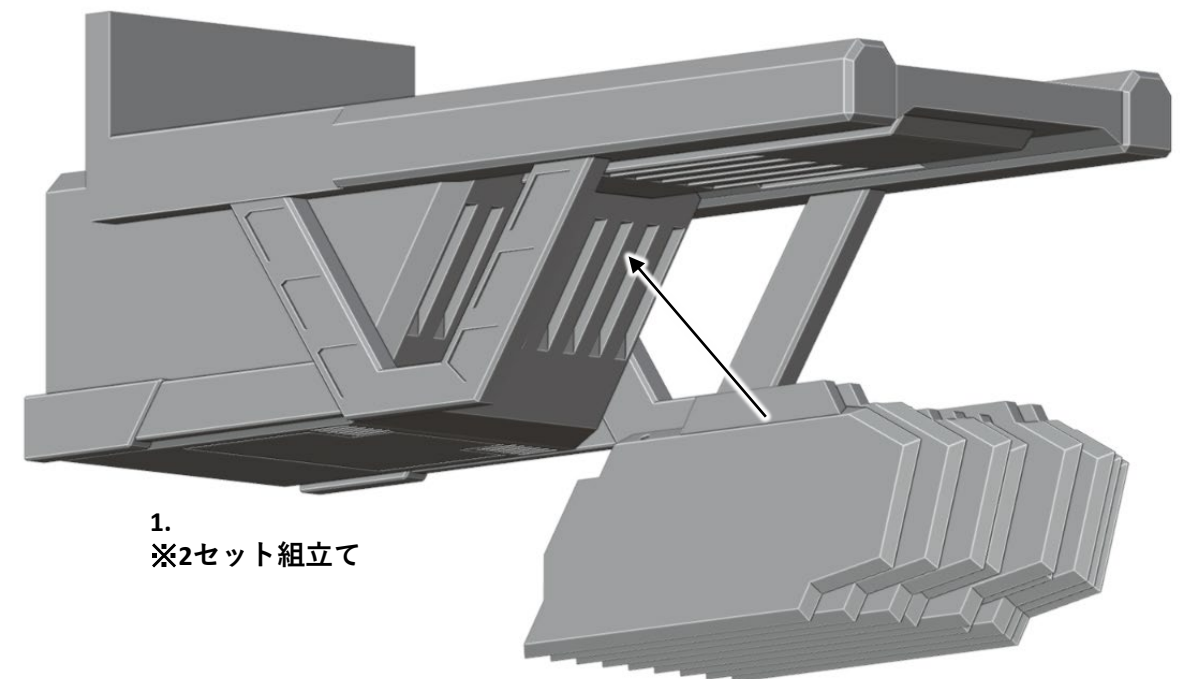
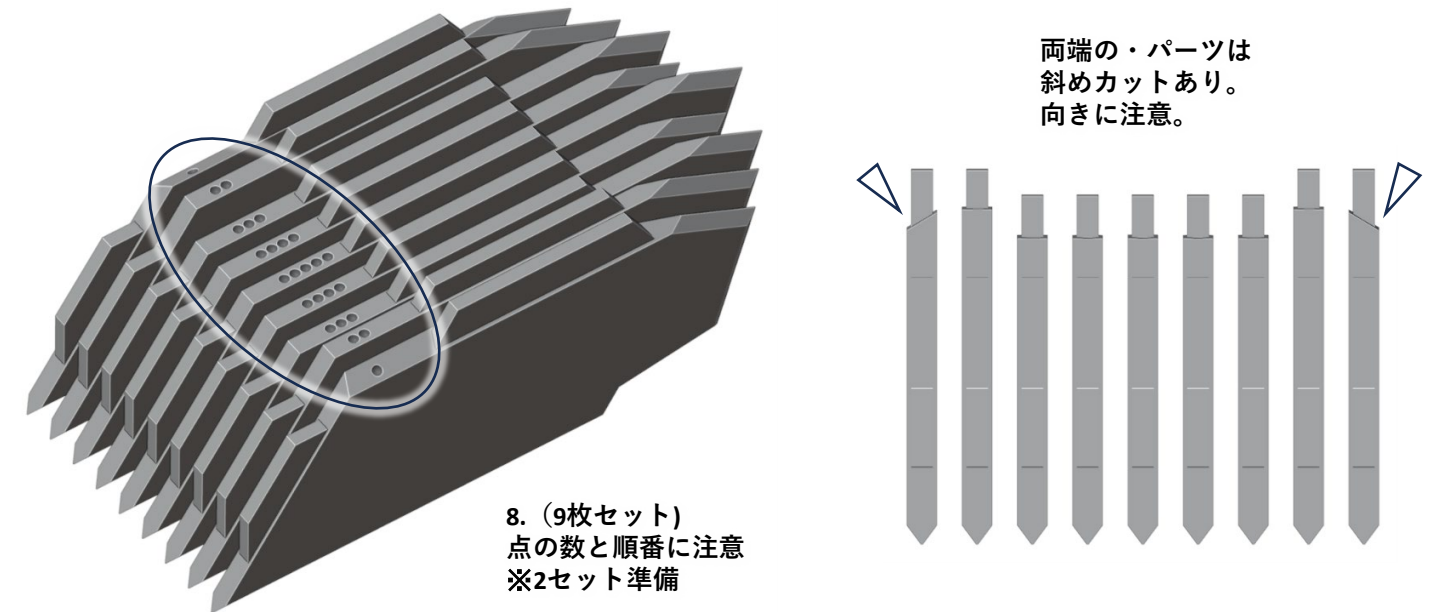
サブアッシー02 【サイドブロック】



サブアッシー02 【サイドブロック】

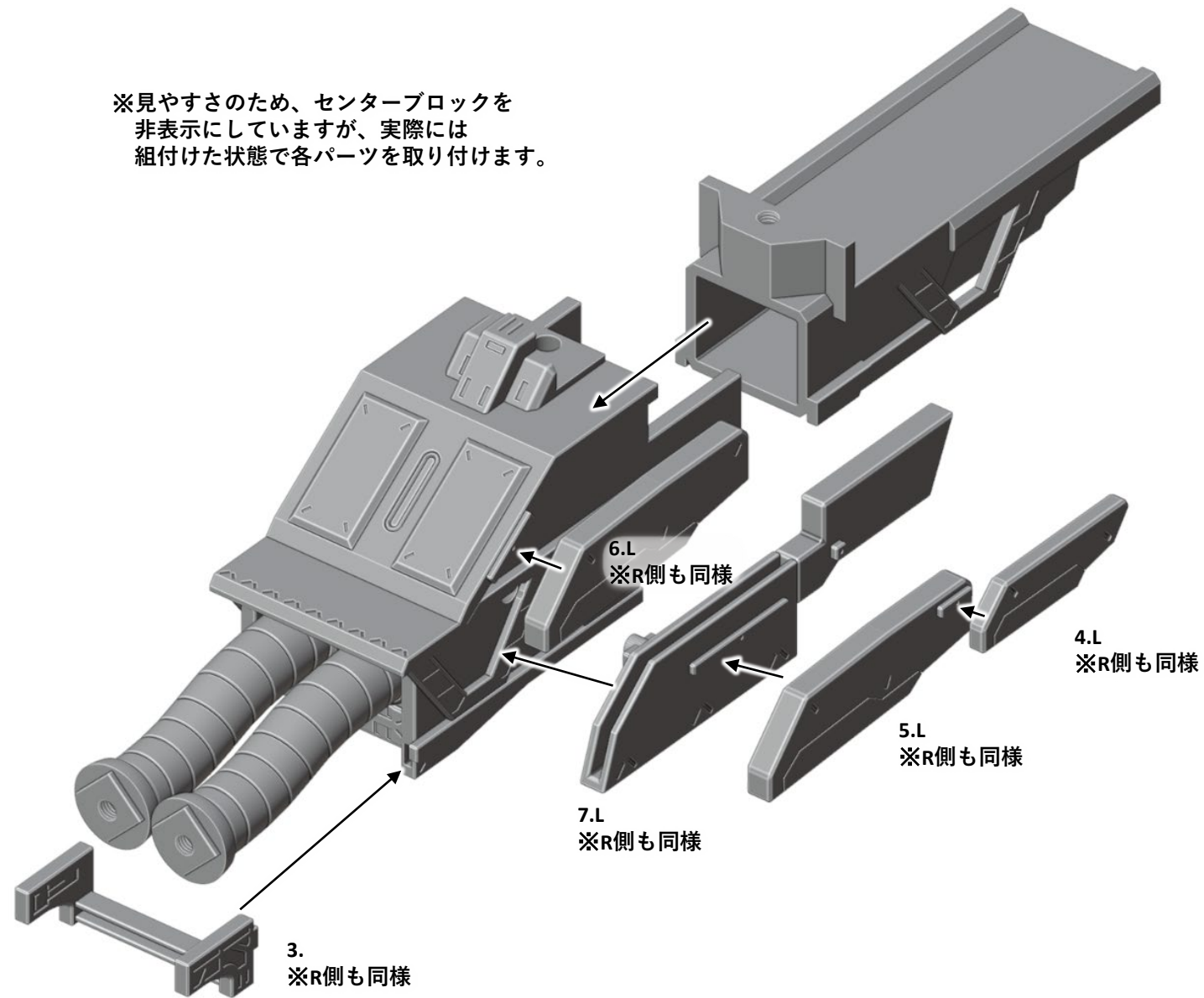


サブアッシー02 【サイドブロック】

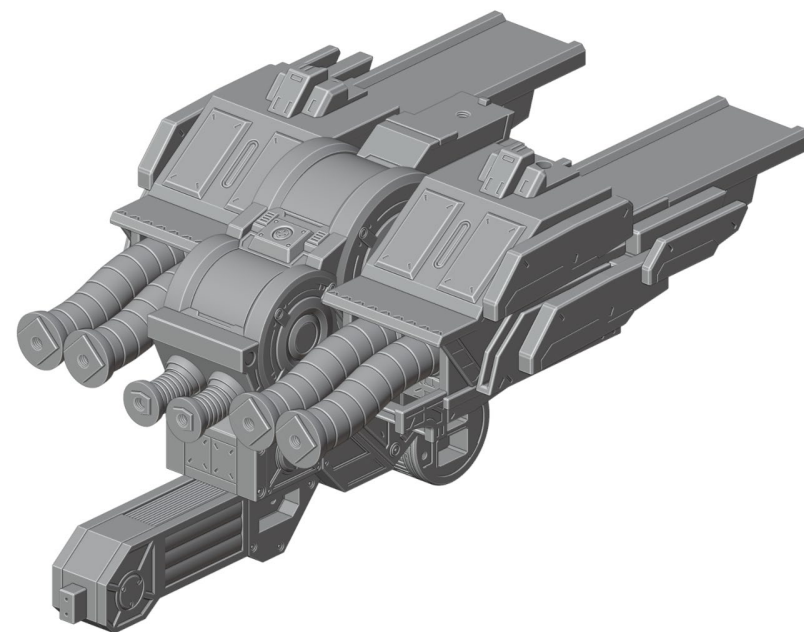


サブアッシー02 【サイドブロック】

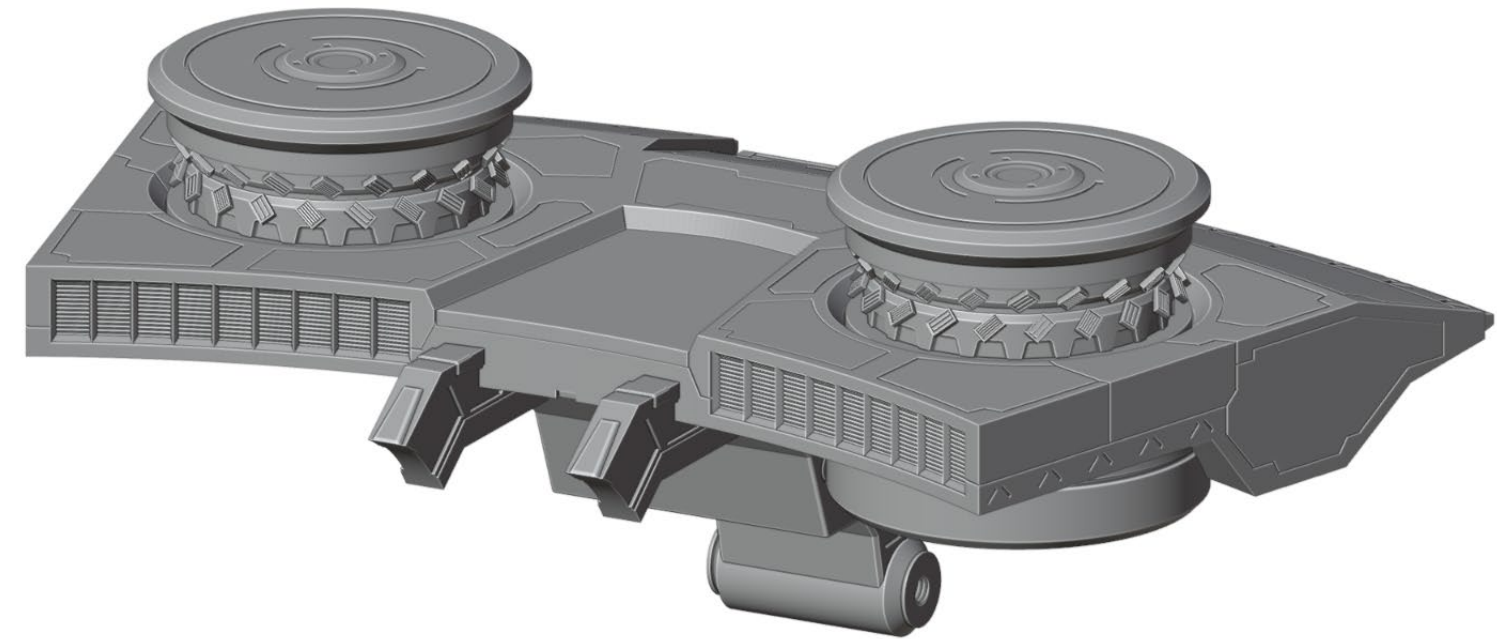
※見やすさのため、センターブロックを
非表示にしていますが、実際には
組付けた状態で各パーツを取り付けます。



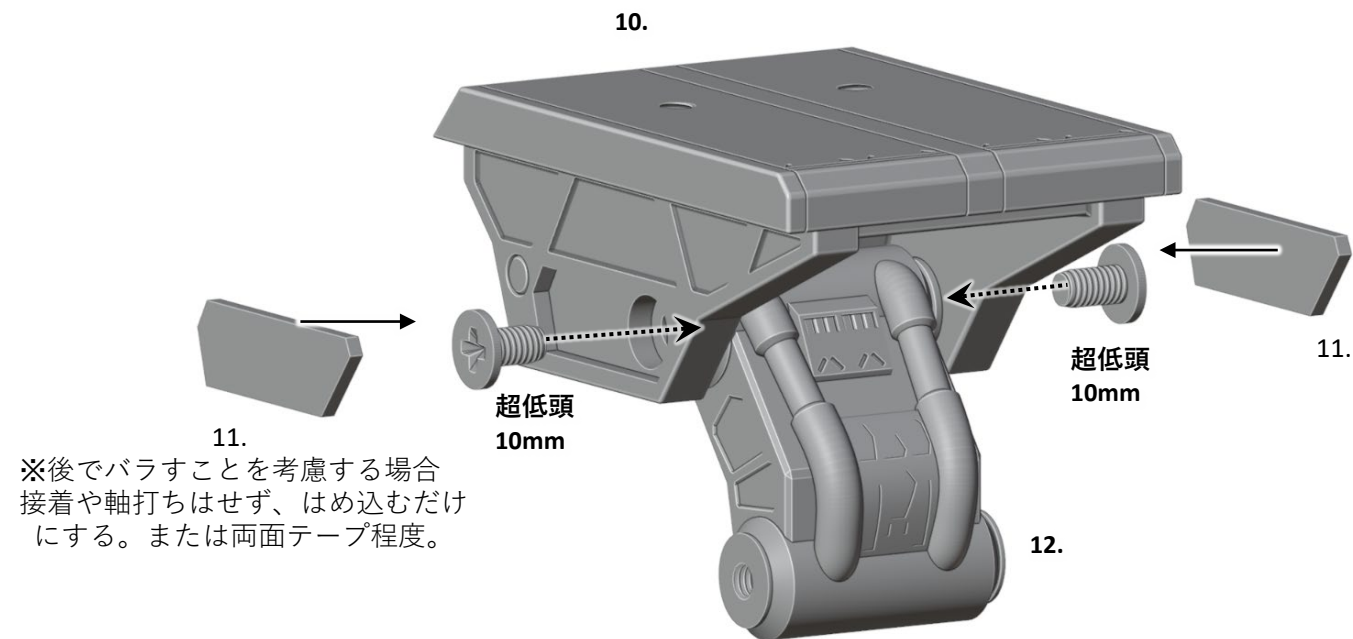
ここまでの組立状態



サブアッシー03 【トップブロック】



サブアッシー03 【トップブロック】

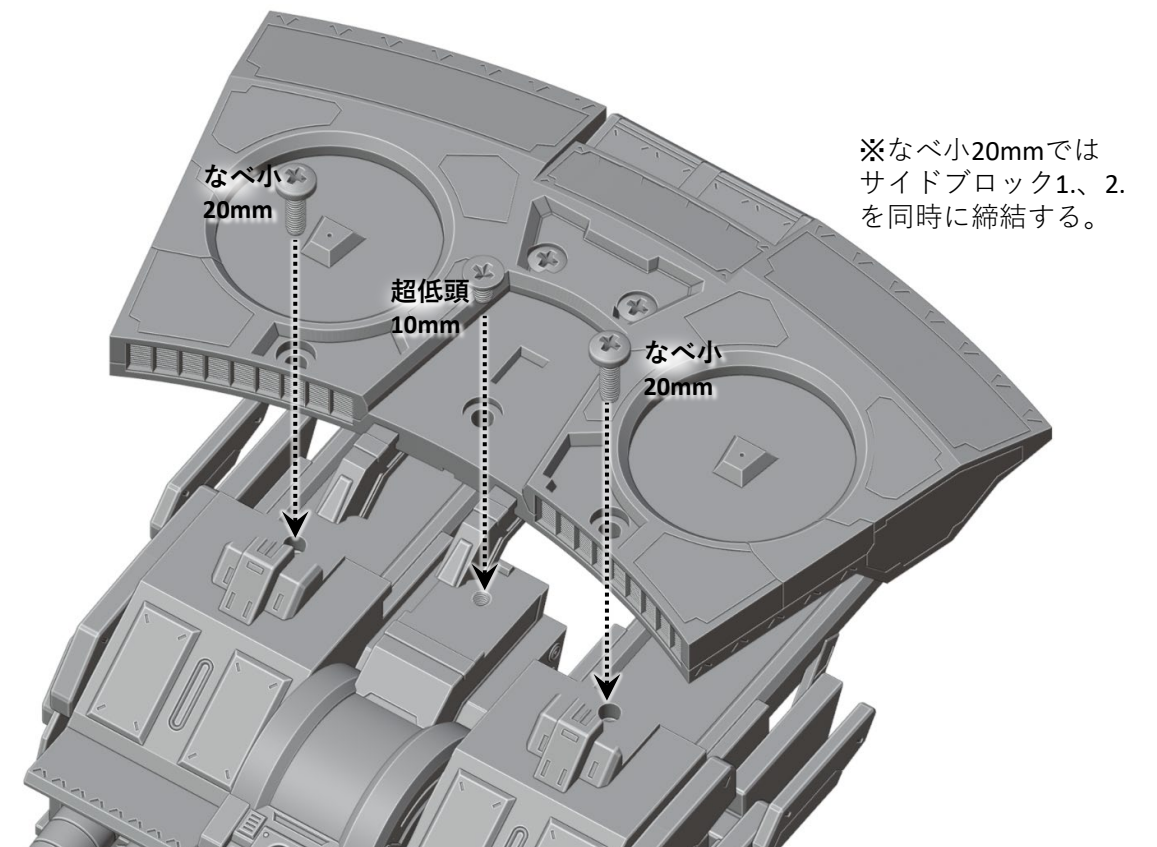
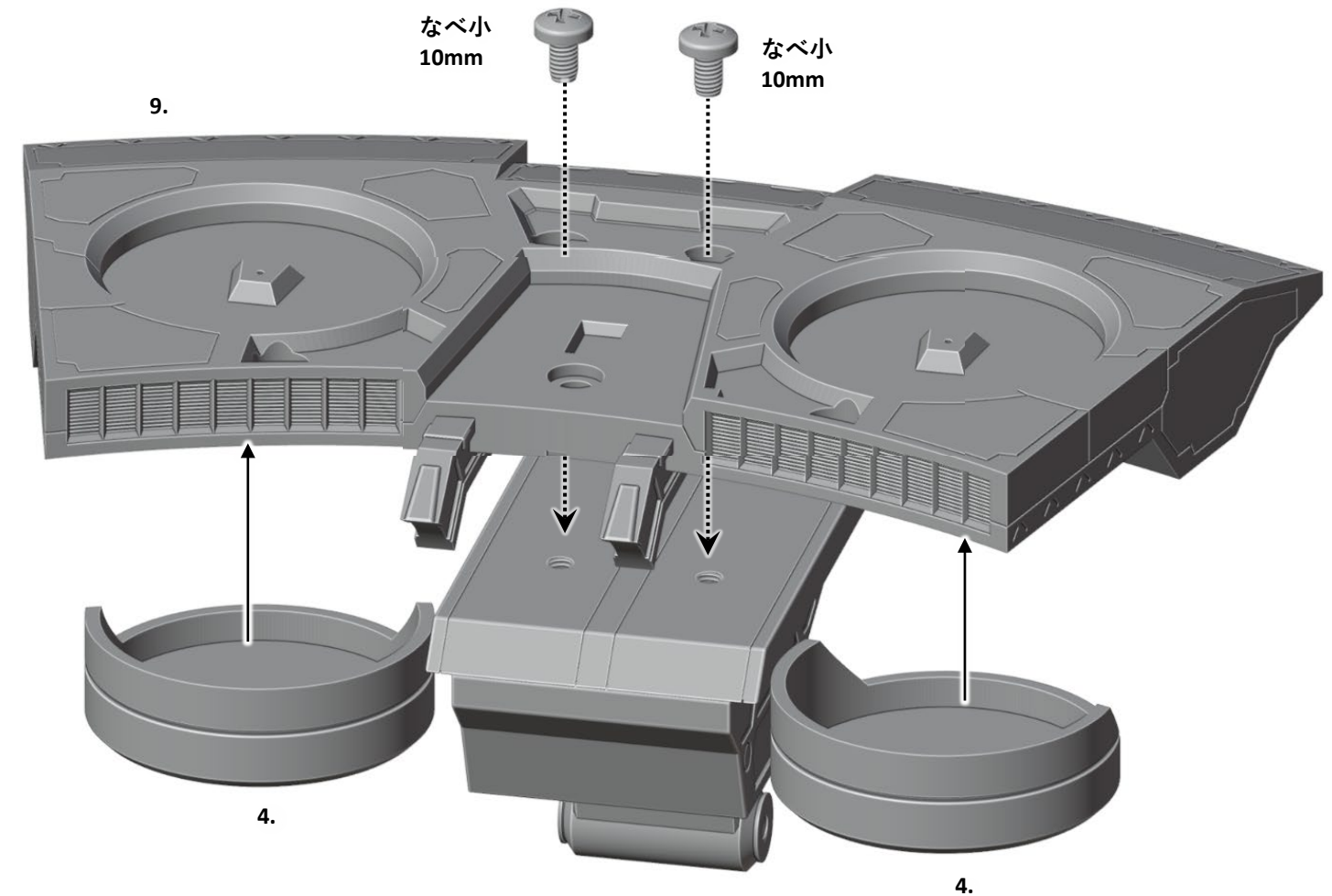


※後でバラすことを考慮する場合
接着や軸打ちはせず、はめ込むだけ
にする。または両面テープ程度。

※10.と12.の締結は強く締めすぎないようにする。ただし弱すぎるのもNG。
力を入れて押すと動く程度。後工程でボトムブロックと接続する際に
位置決め調整ができるようにしておく。

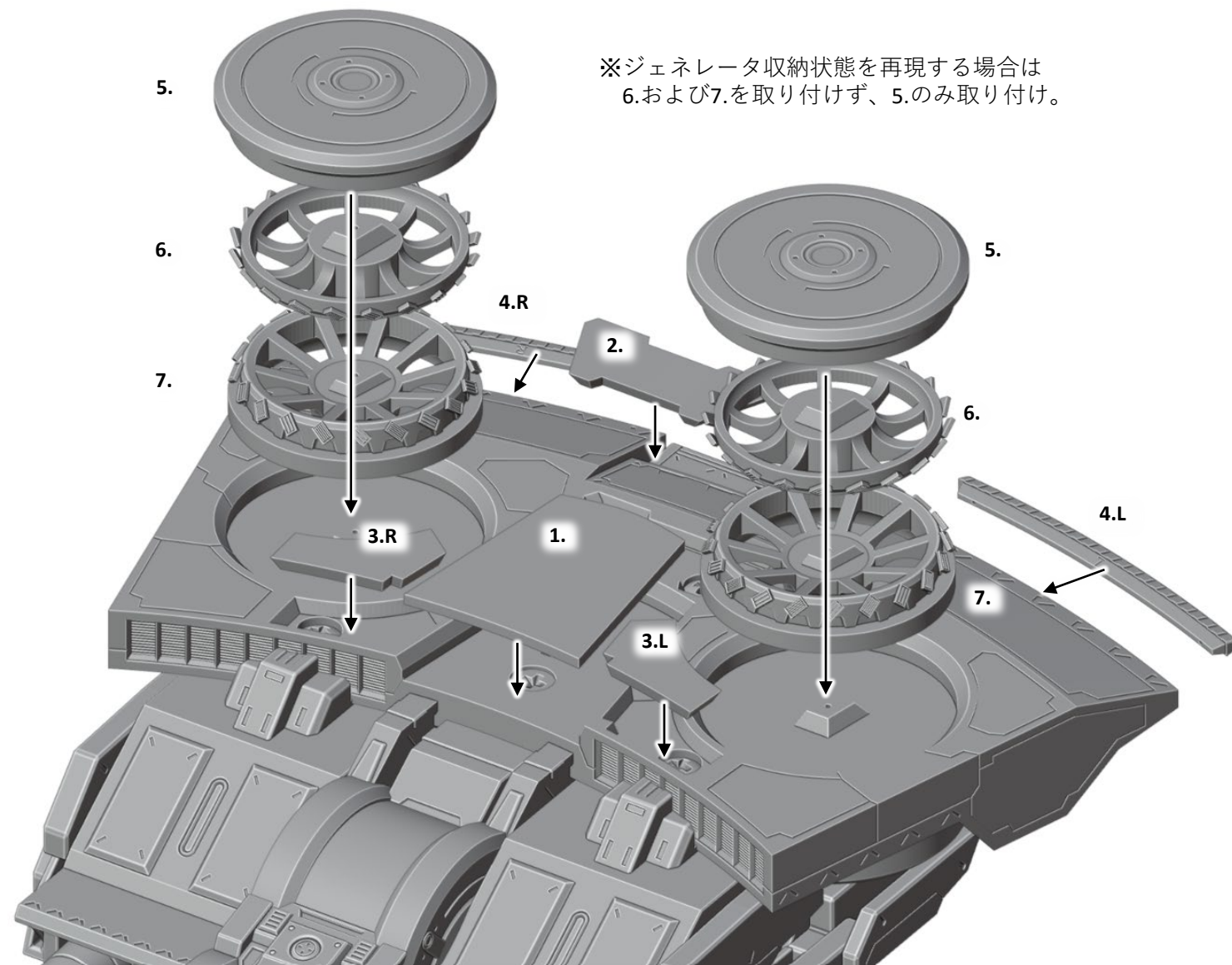


サブアッシー03 【トップブロック】

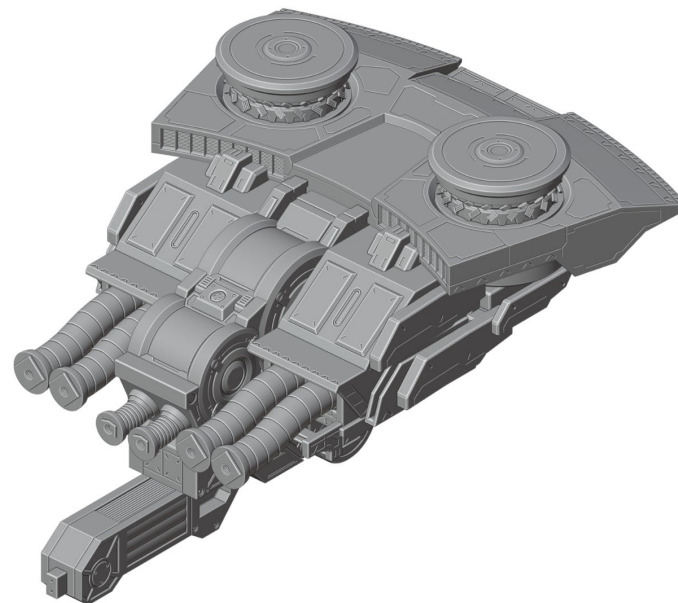


※なべ小20mmでは
サイドブロック1、2.
を同時に締結する。

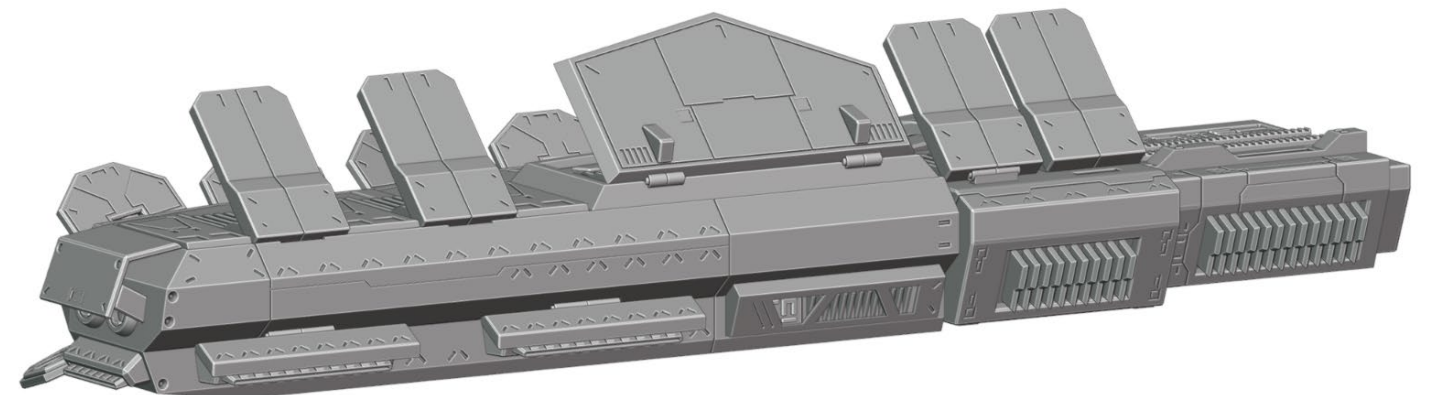
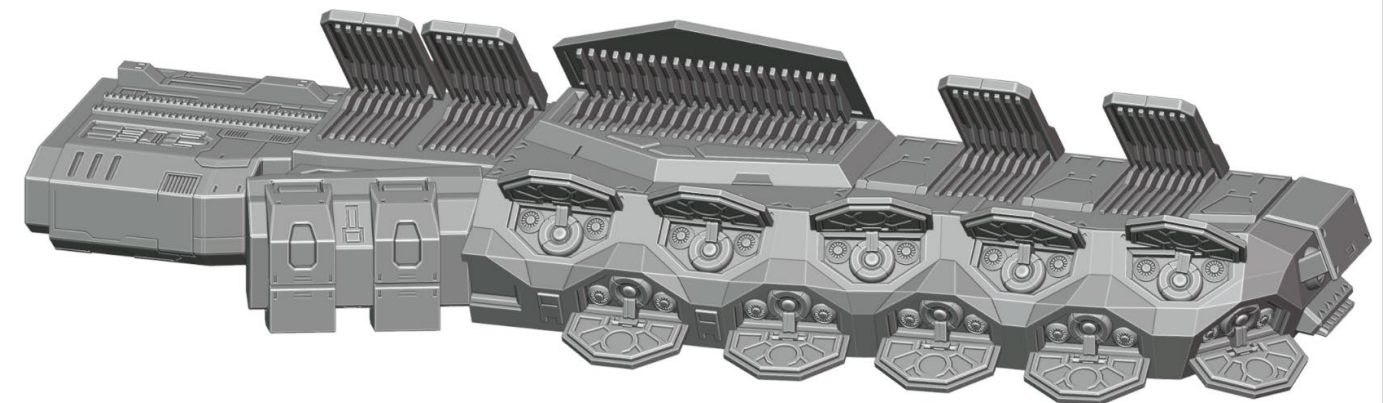
サブアッシー03 【トップブロック】



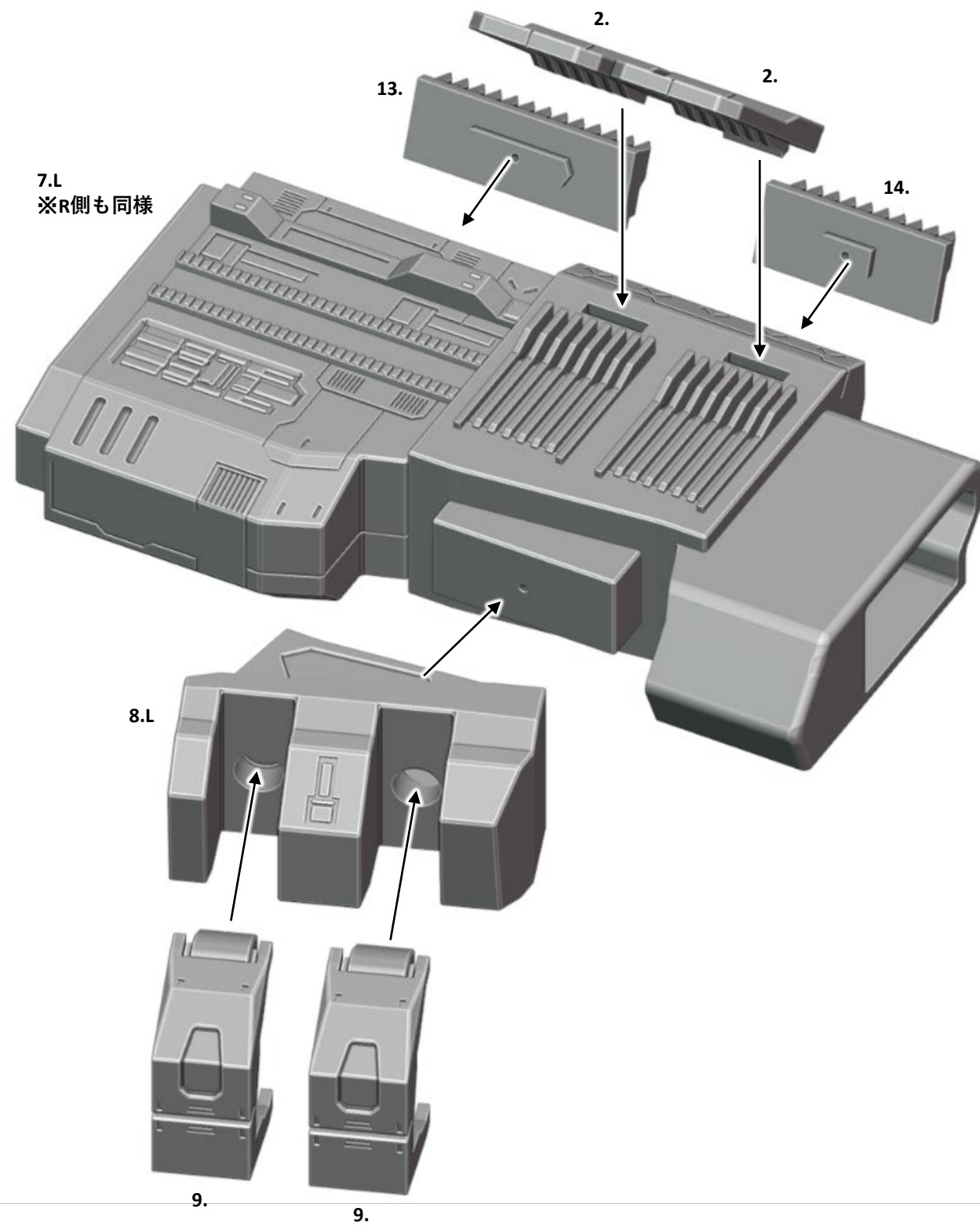
ここまでの組立状態



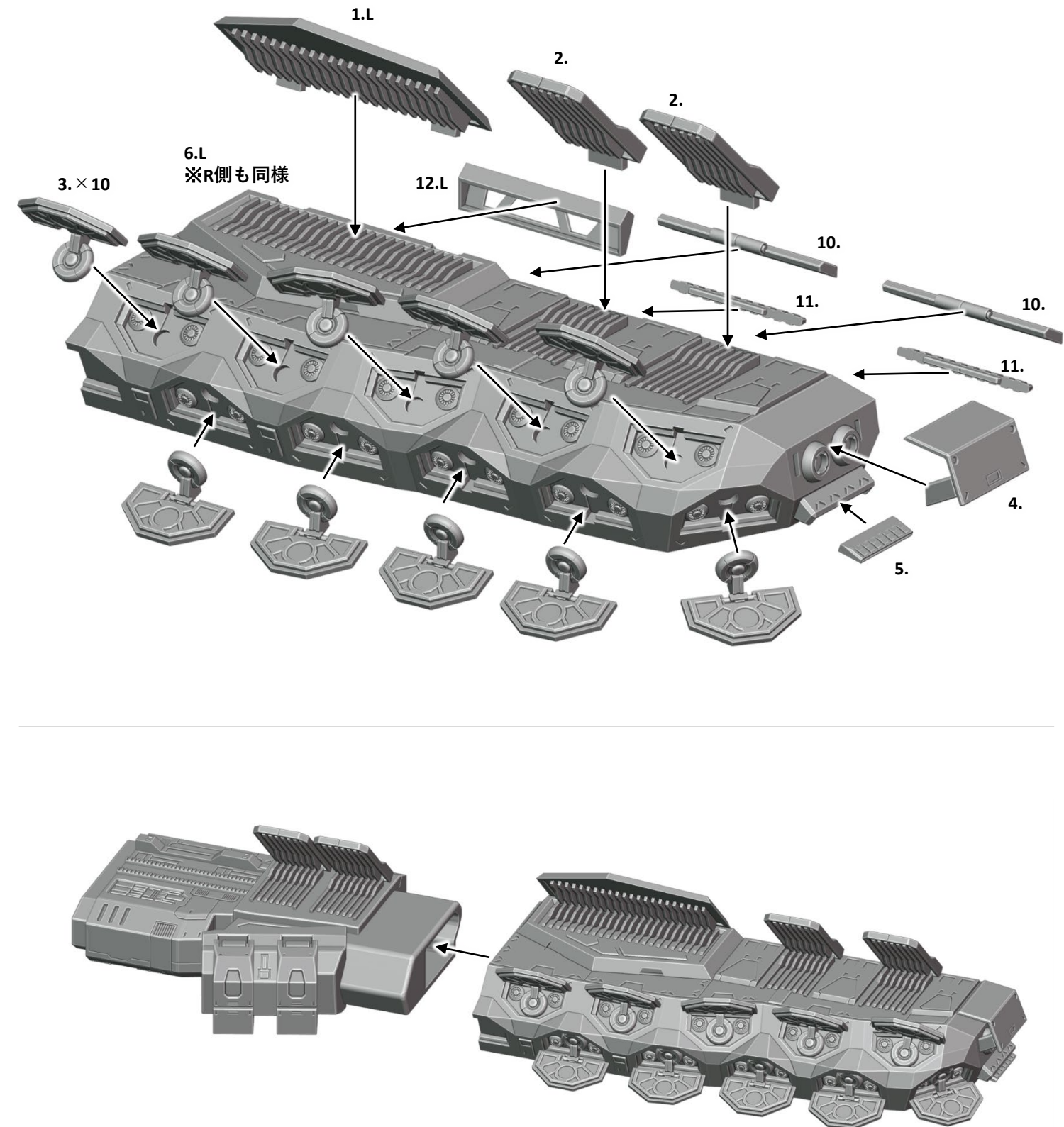
サブアッシー04 【サイドウイング】



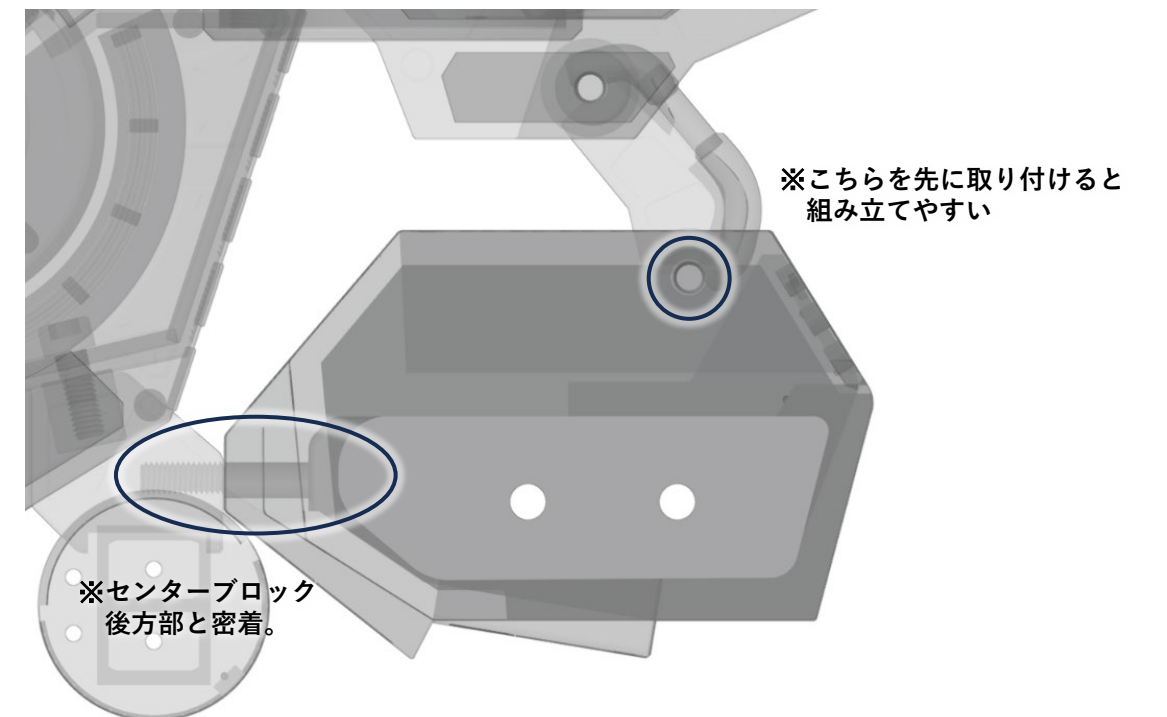
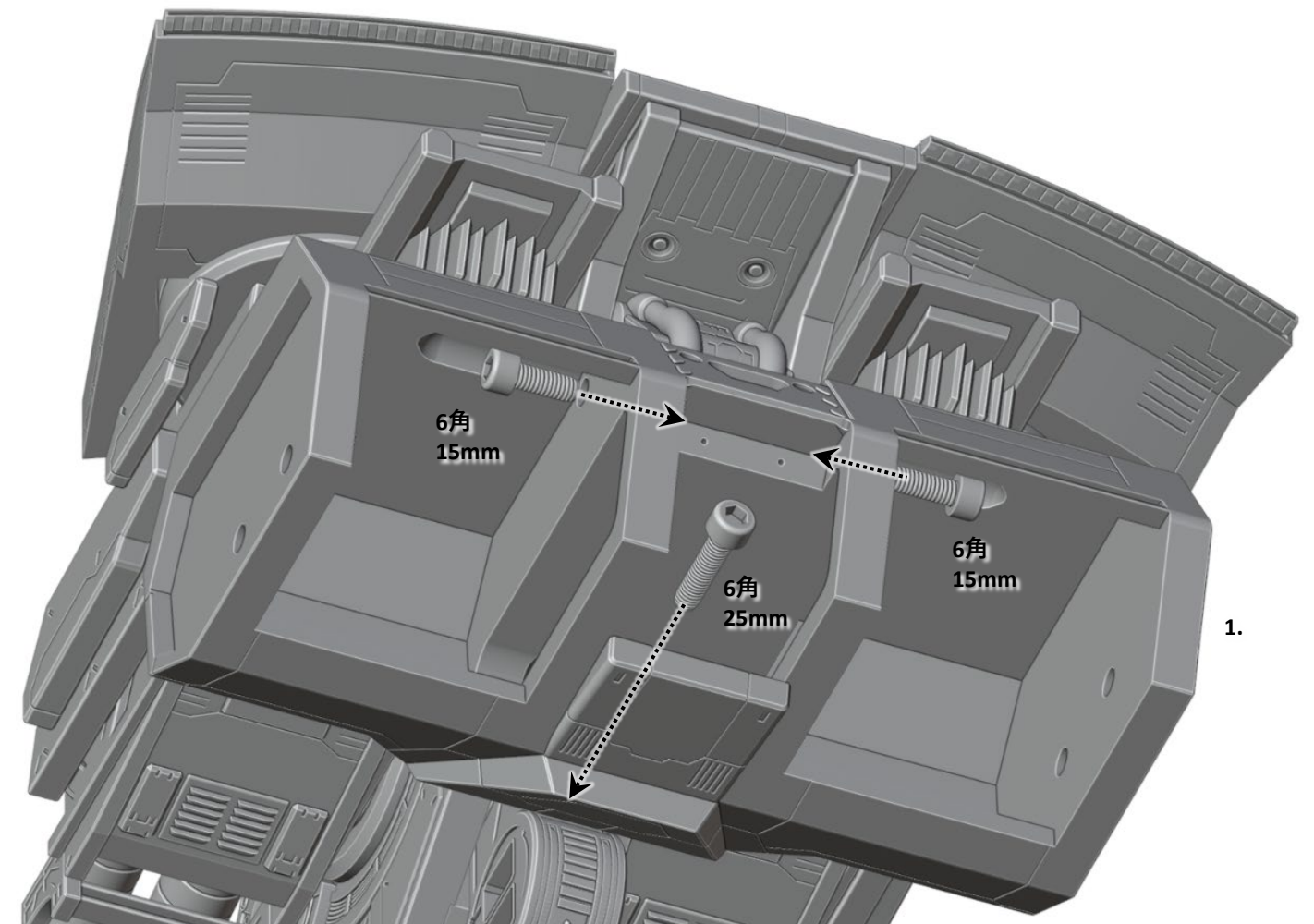
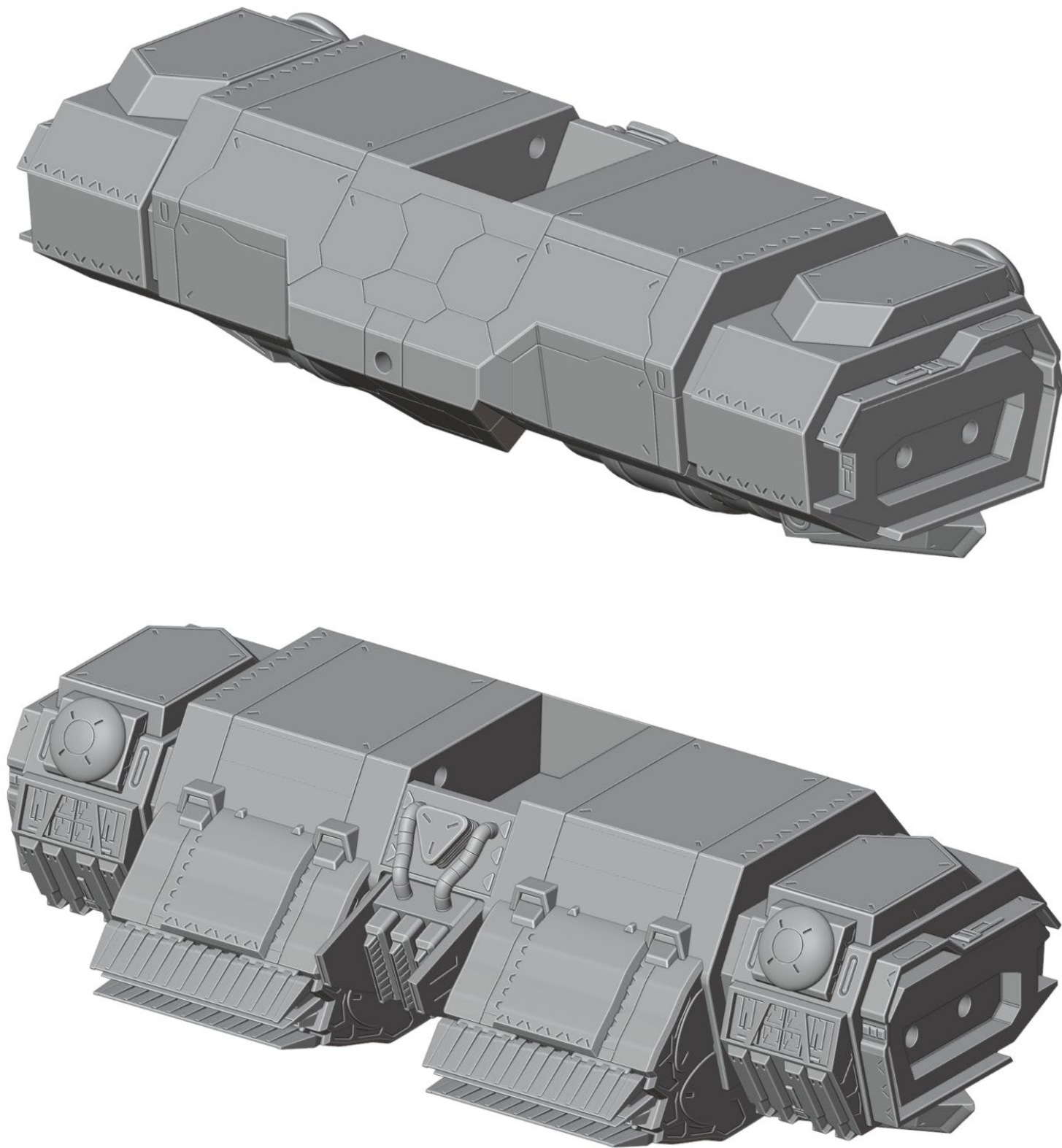
サブアッシー04 【サイドウイング】



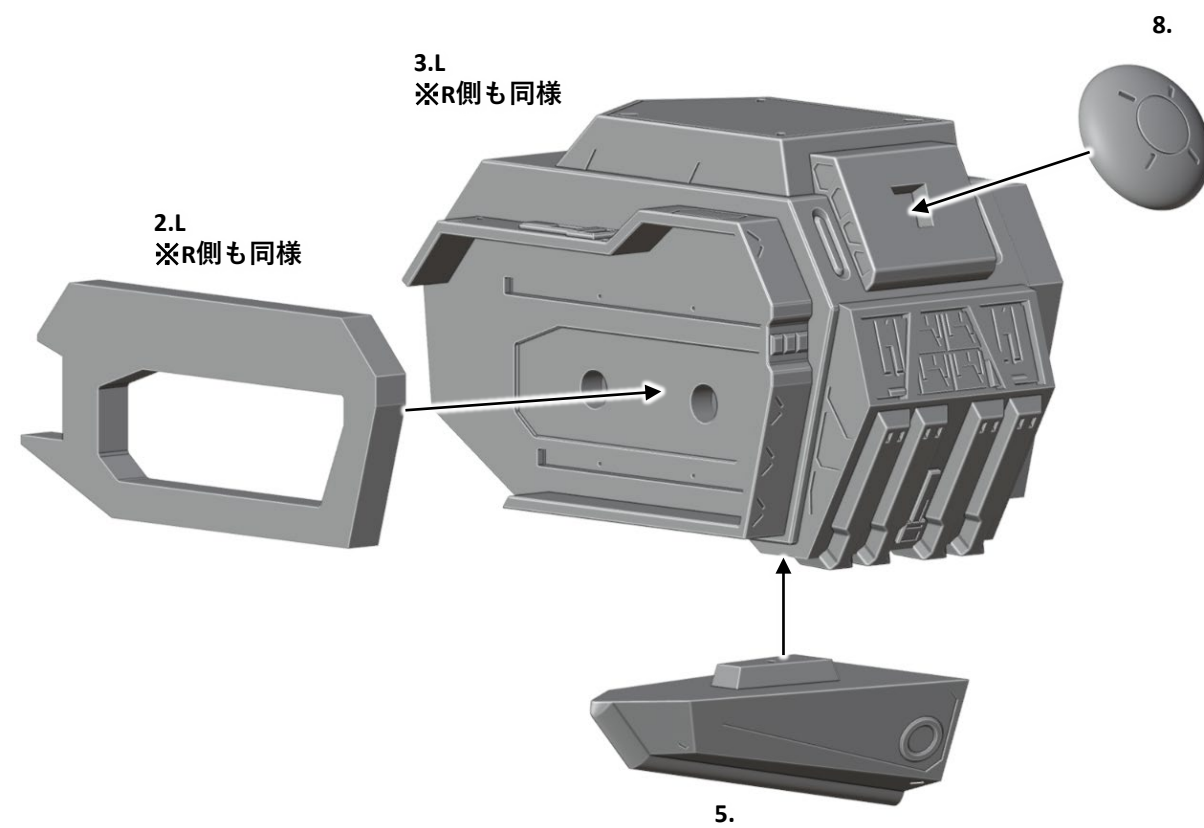
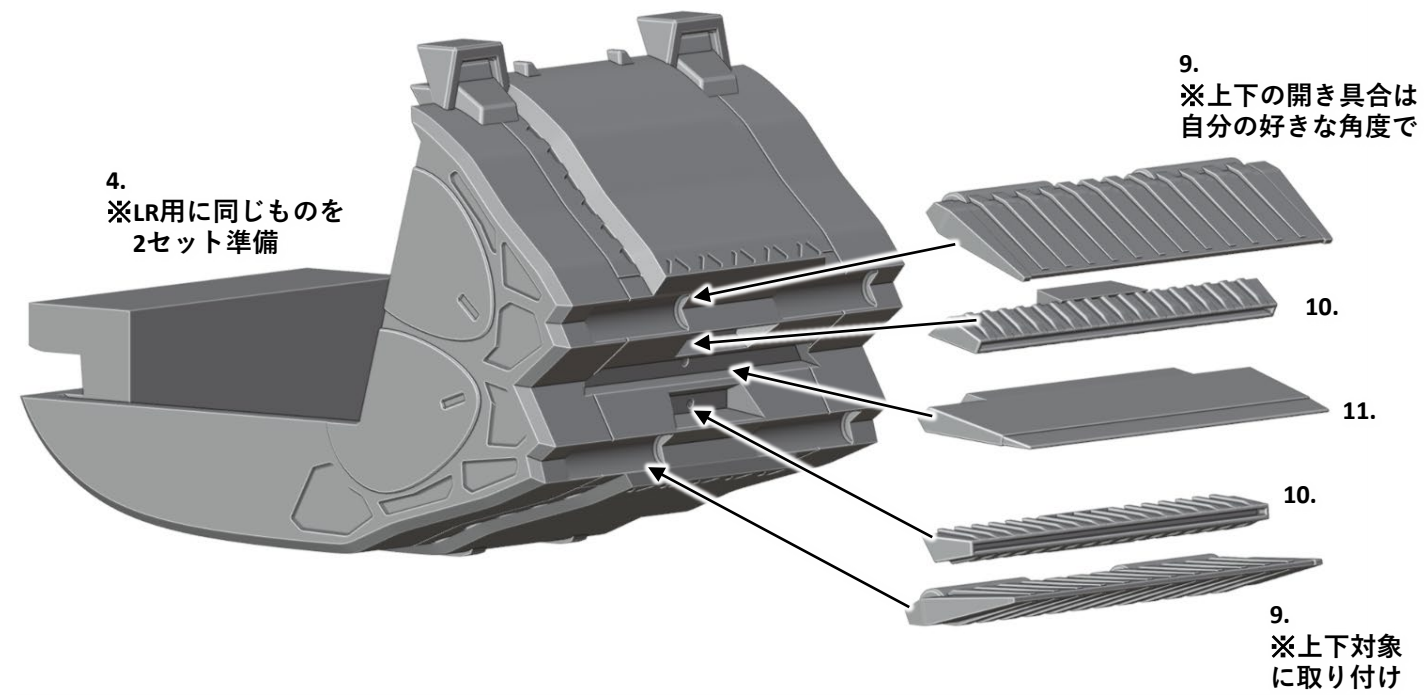
サブアッシー04 【サイドウイング】



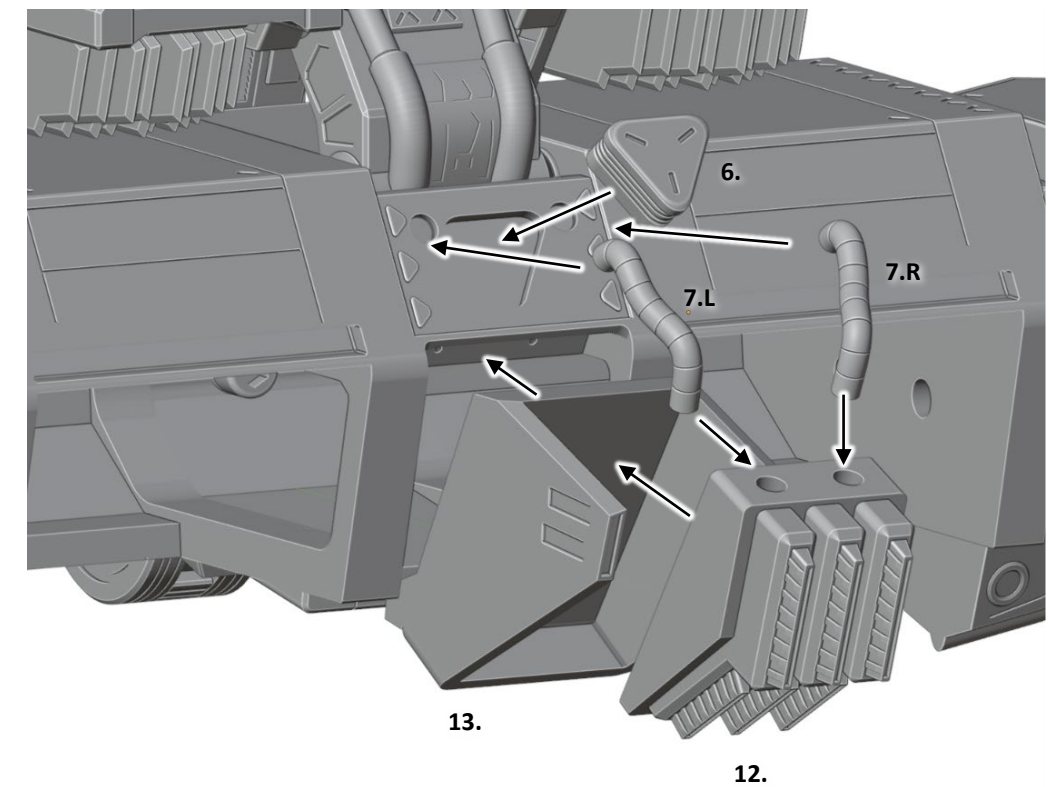
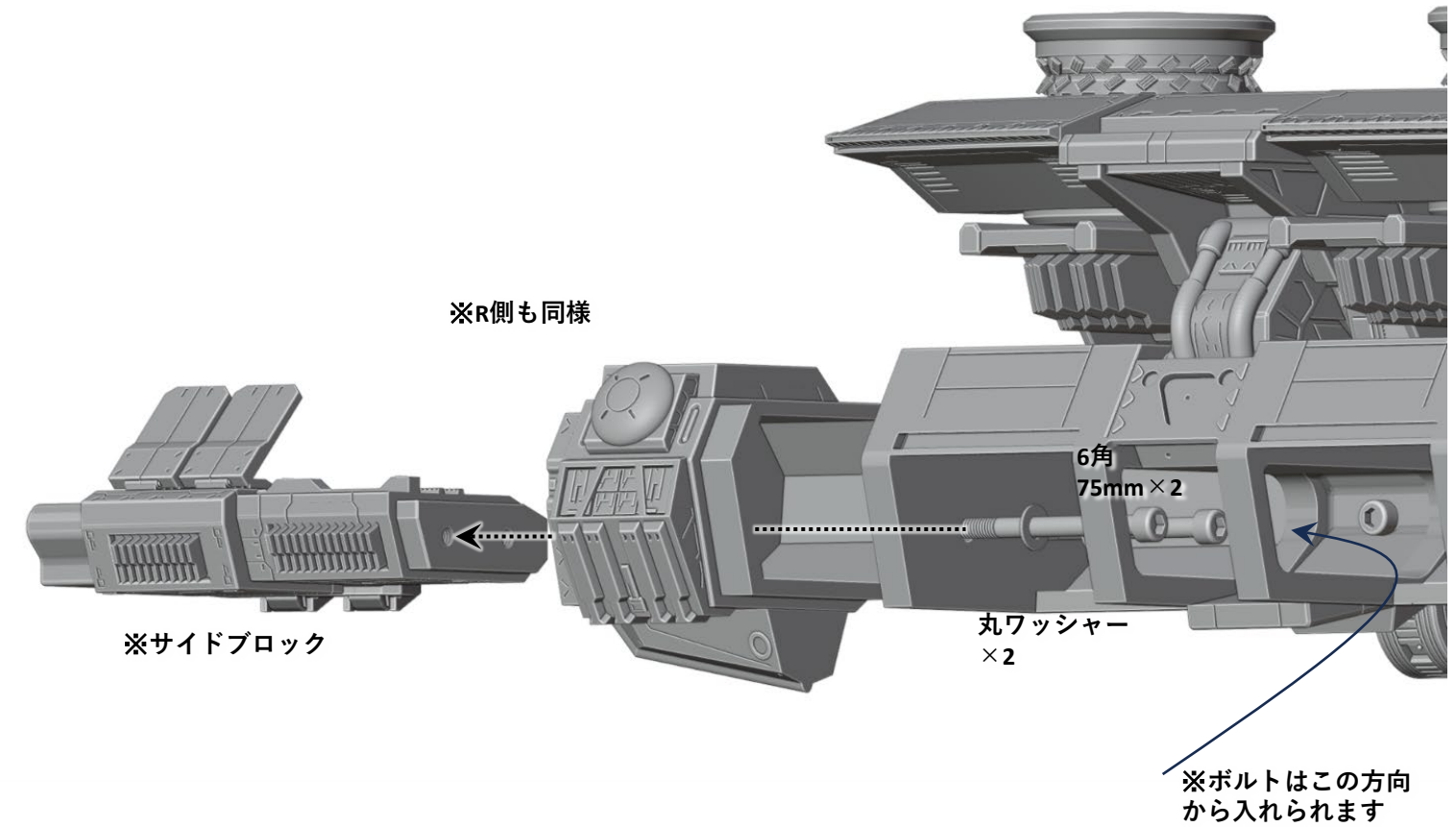
※7.と6.をドッキングしますが、この工程は、
後工程の7.をボトムブロックと締結した後でも
問題ありません。（その方が取り回しがよい）



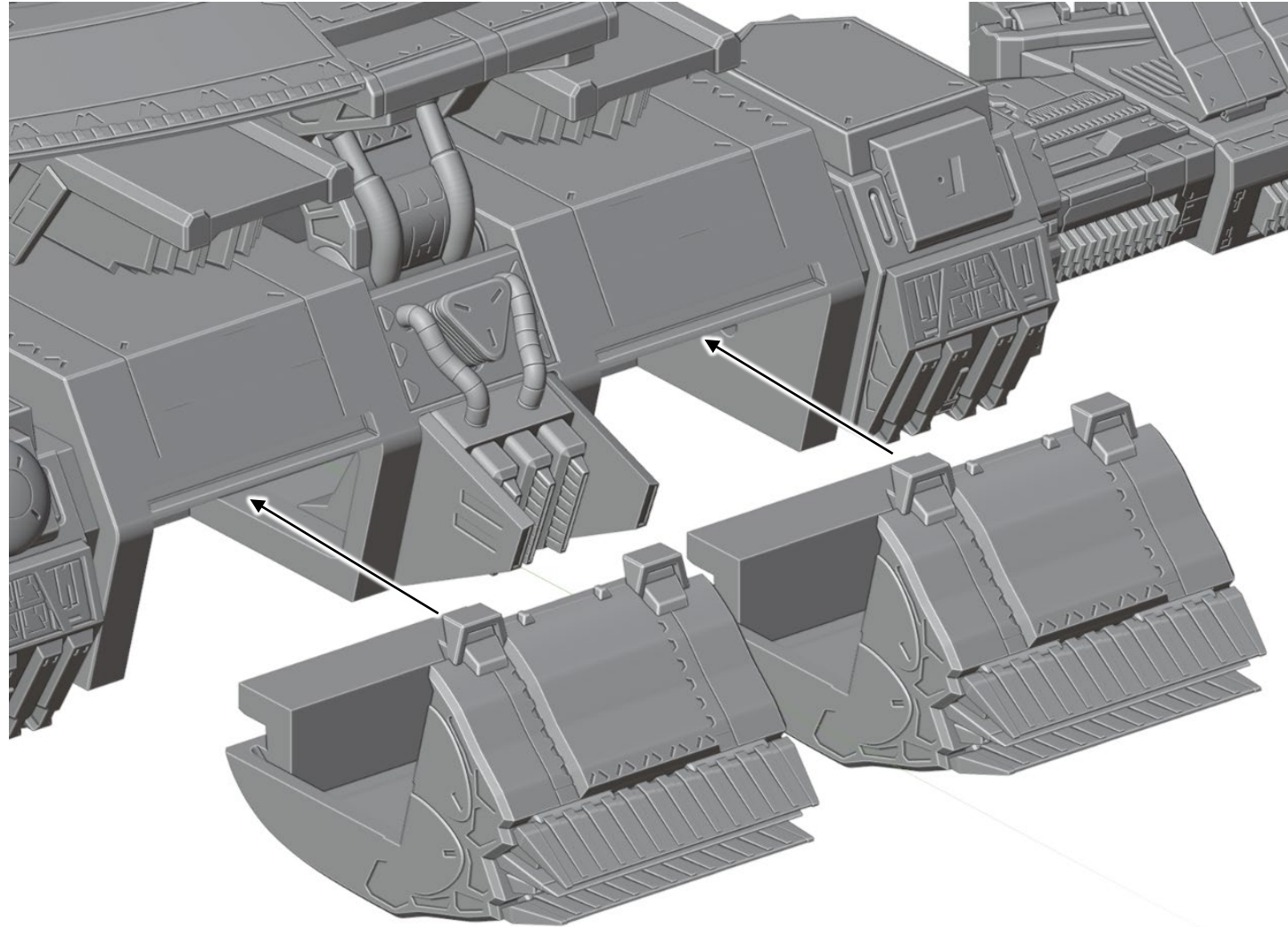
サブアッシー05 【ボトムブロック】



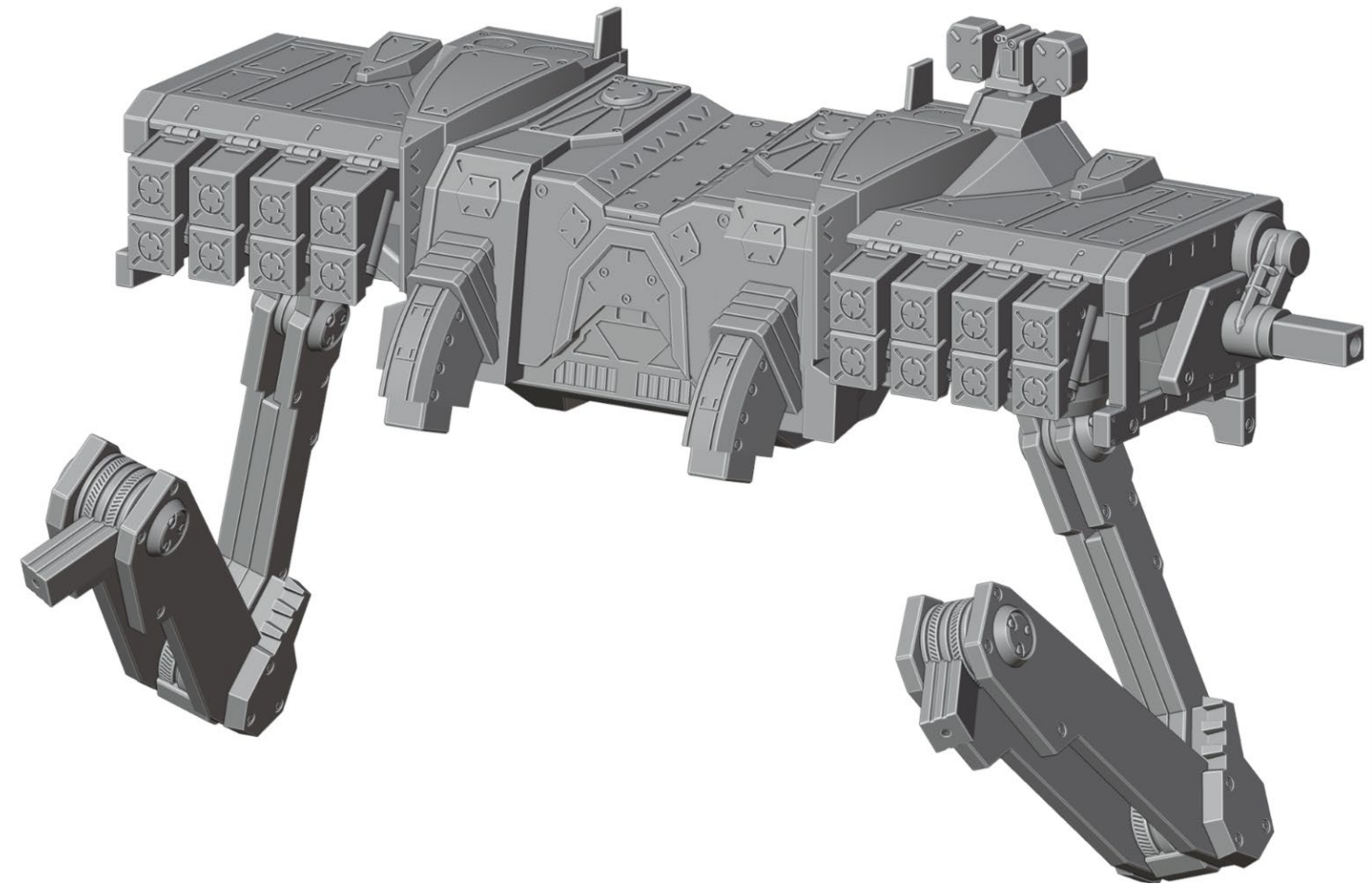
サブアッシー05 【ボトムブロック】



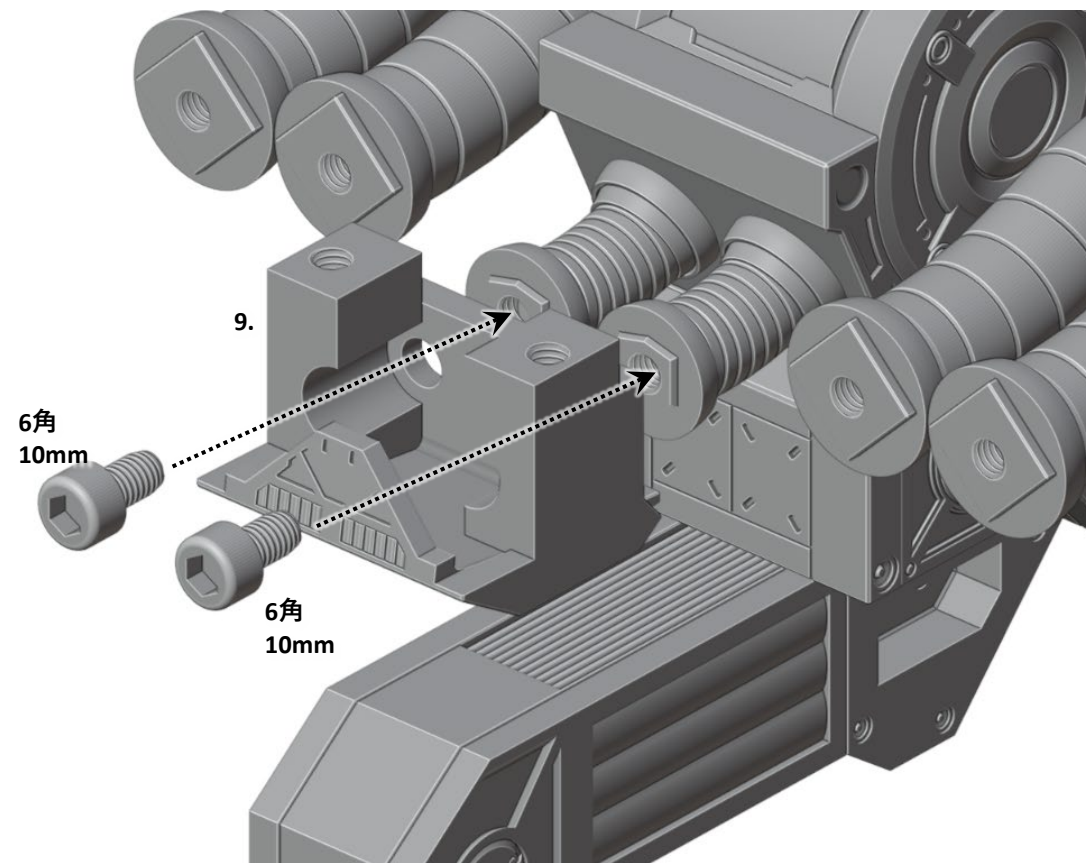
サブアッシー05 【ボトムブロック】



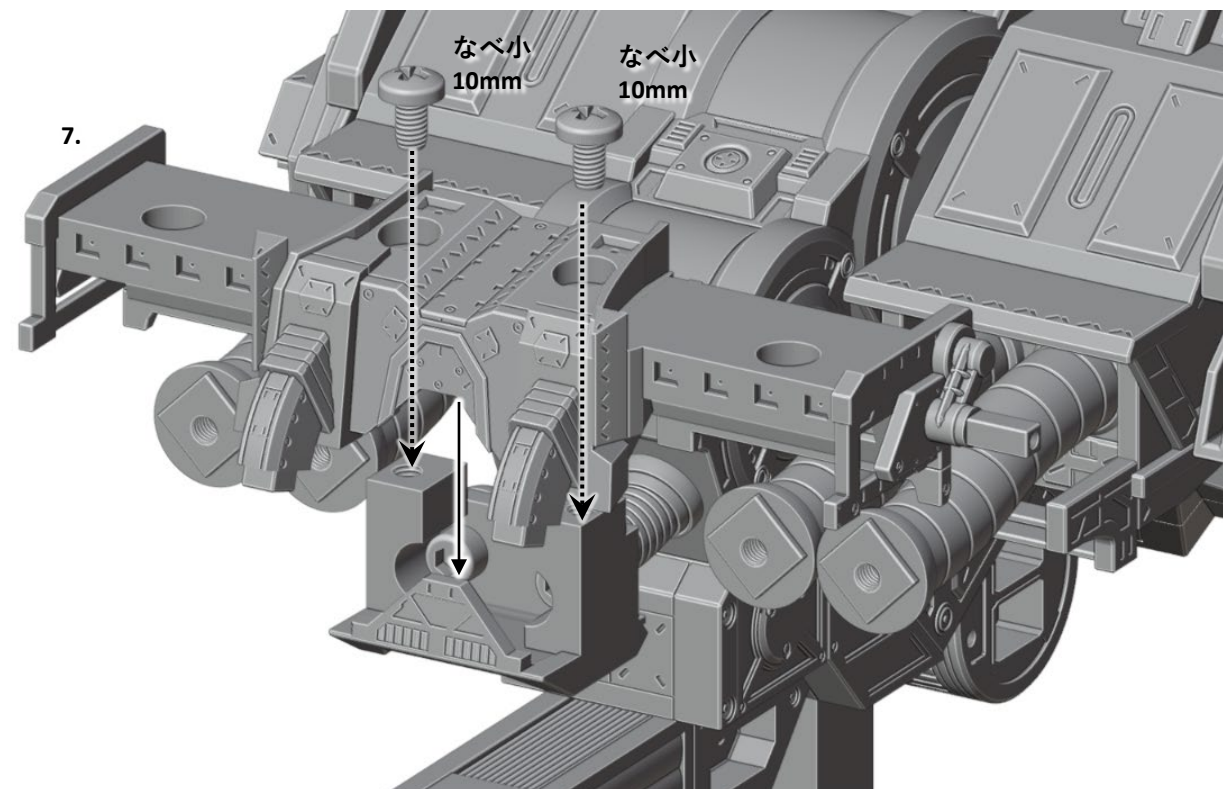
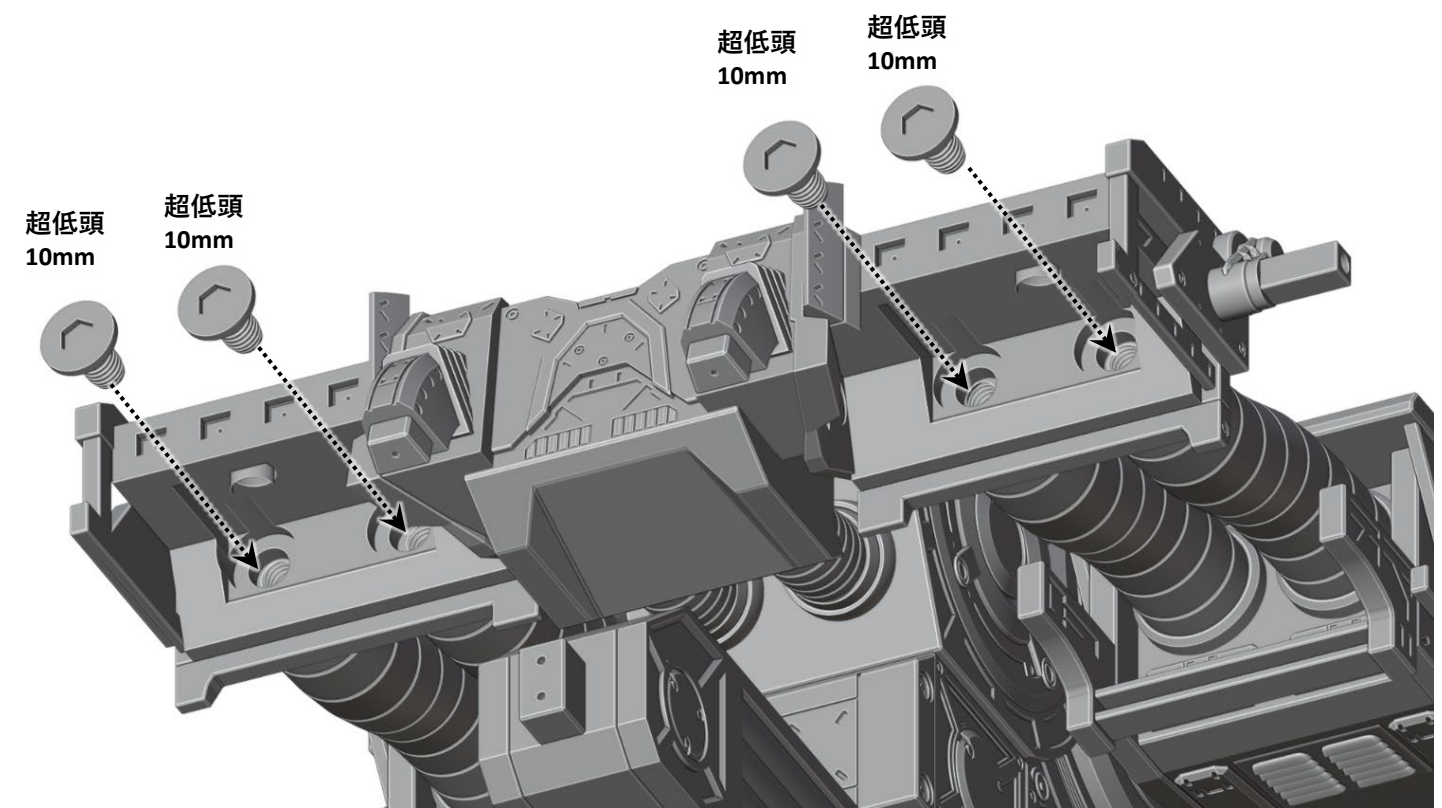
サブアッシー06 【バックパック】



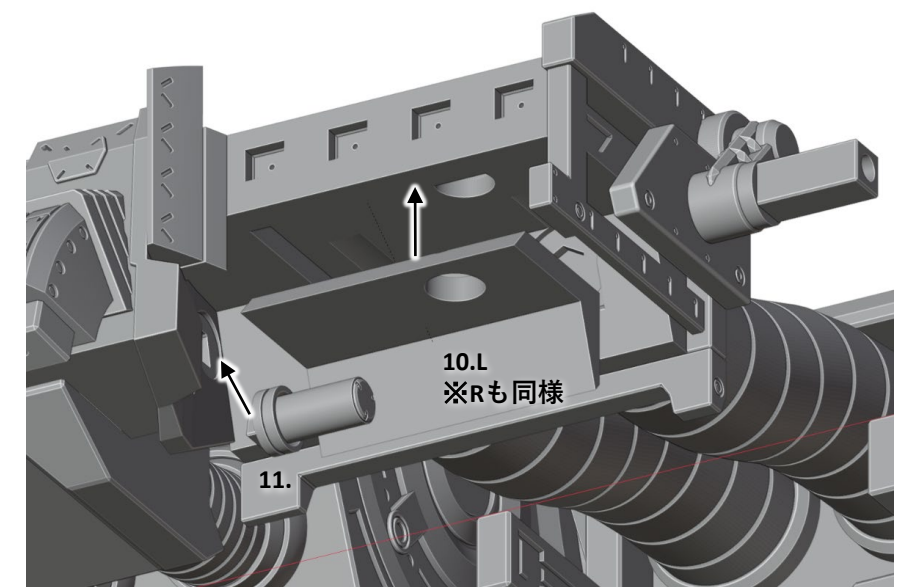
サブアッシー06 【バックパック】



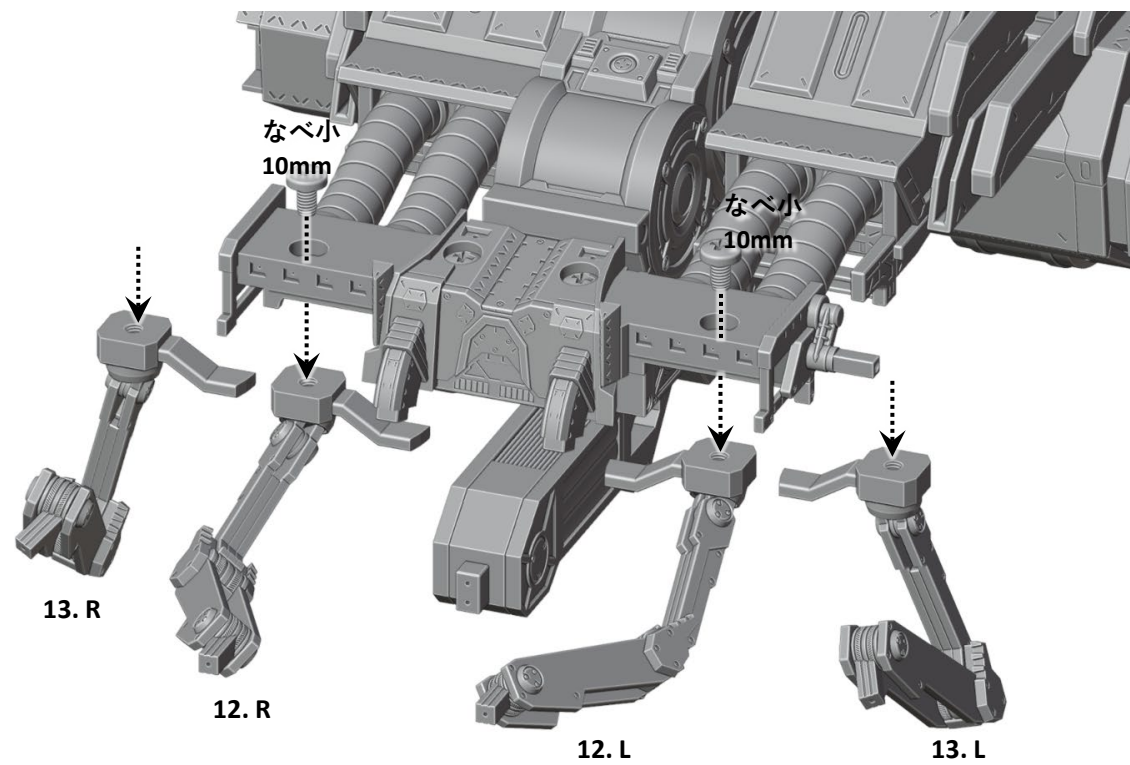
サブアッシー06 【バックパック】



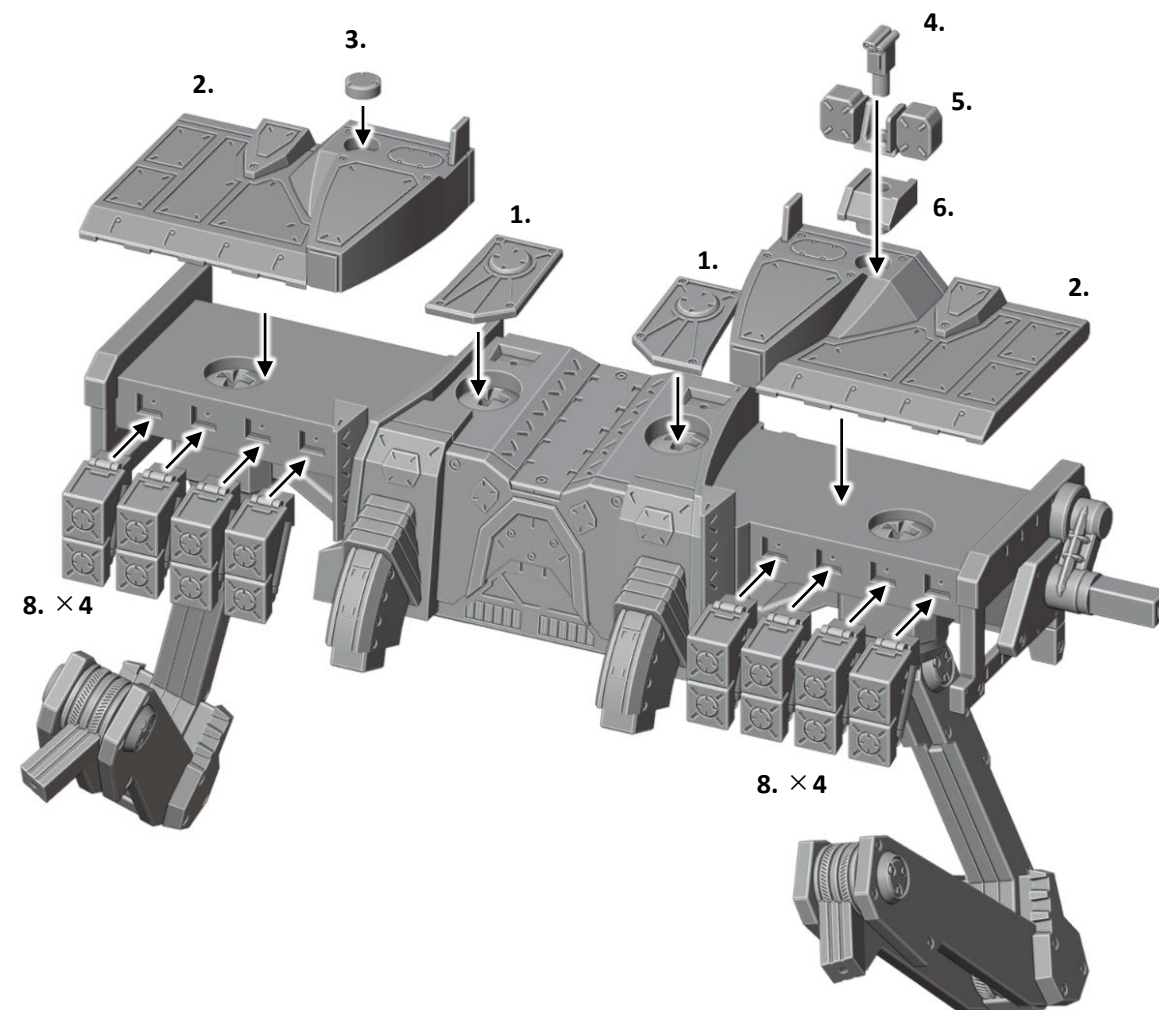
※組付けクリアランスが狭いので、塗装前の仮組を入念に行い、スムーズに組付けられるよう調整ください。



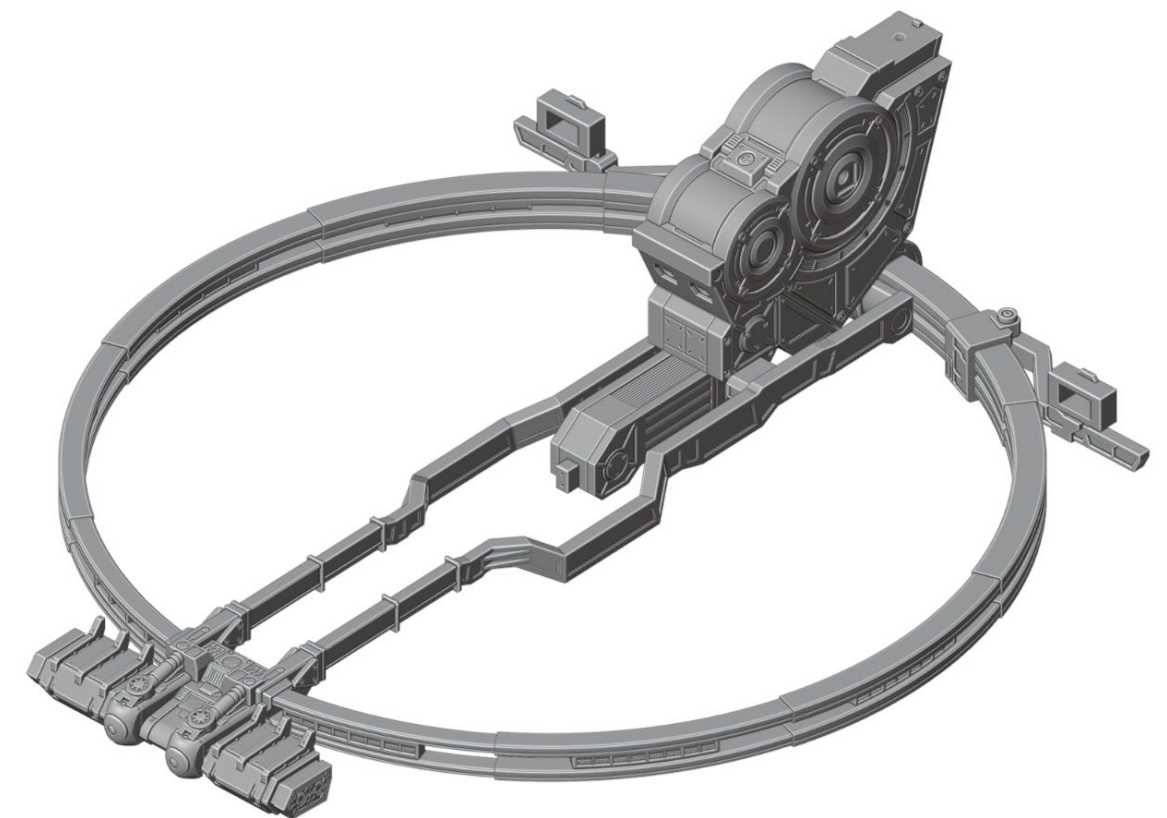
サブアッシー06 【バックパック】



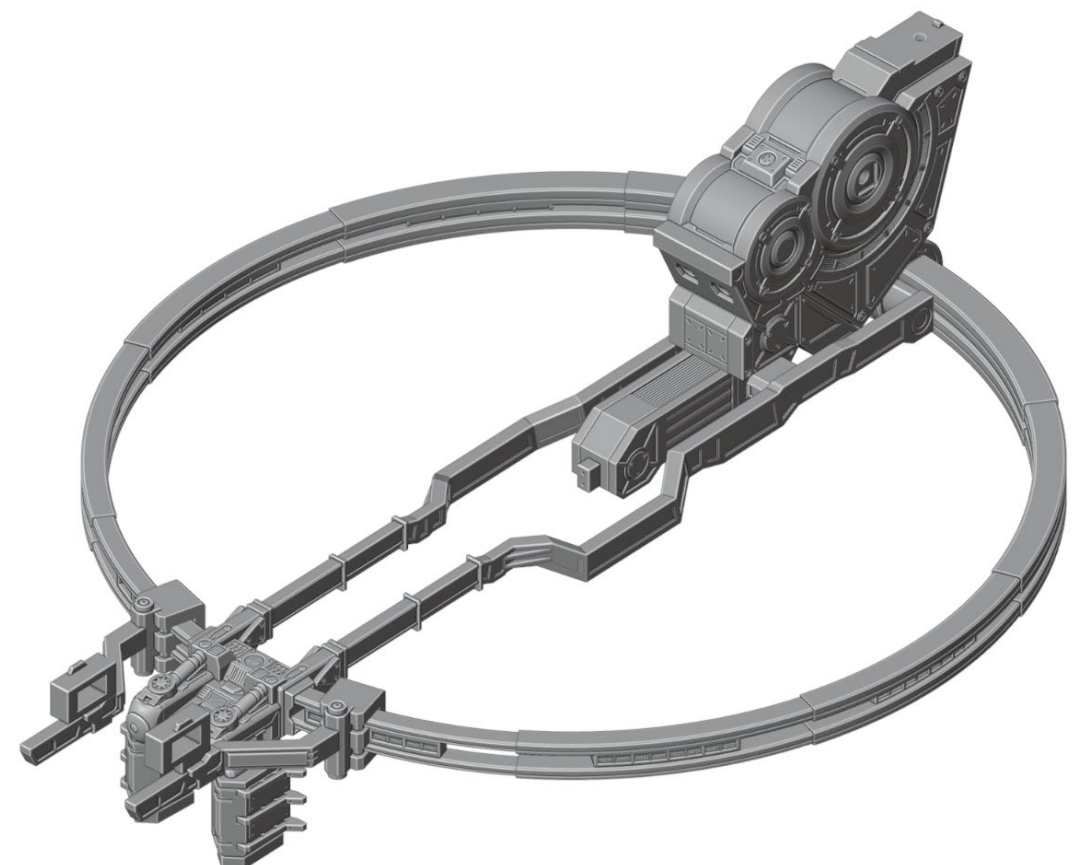
※通常ポーズで飾るときは13.L/Rを使用
※バックキャノン合体攻撃ポーズは12.L/Rを使用



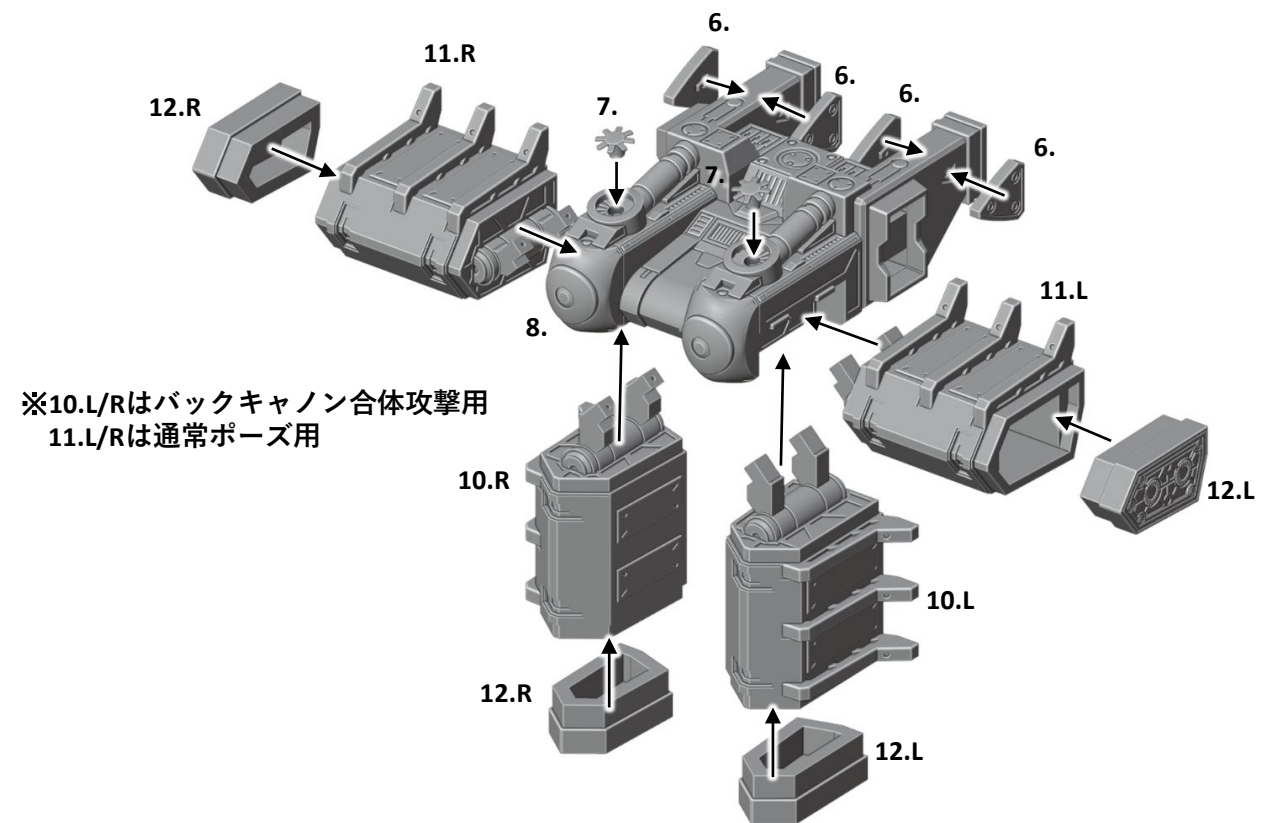
サブアッシー07 【ベースリング】



⇕選択式

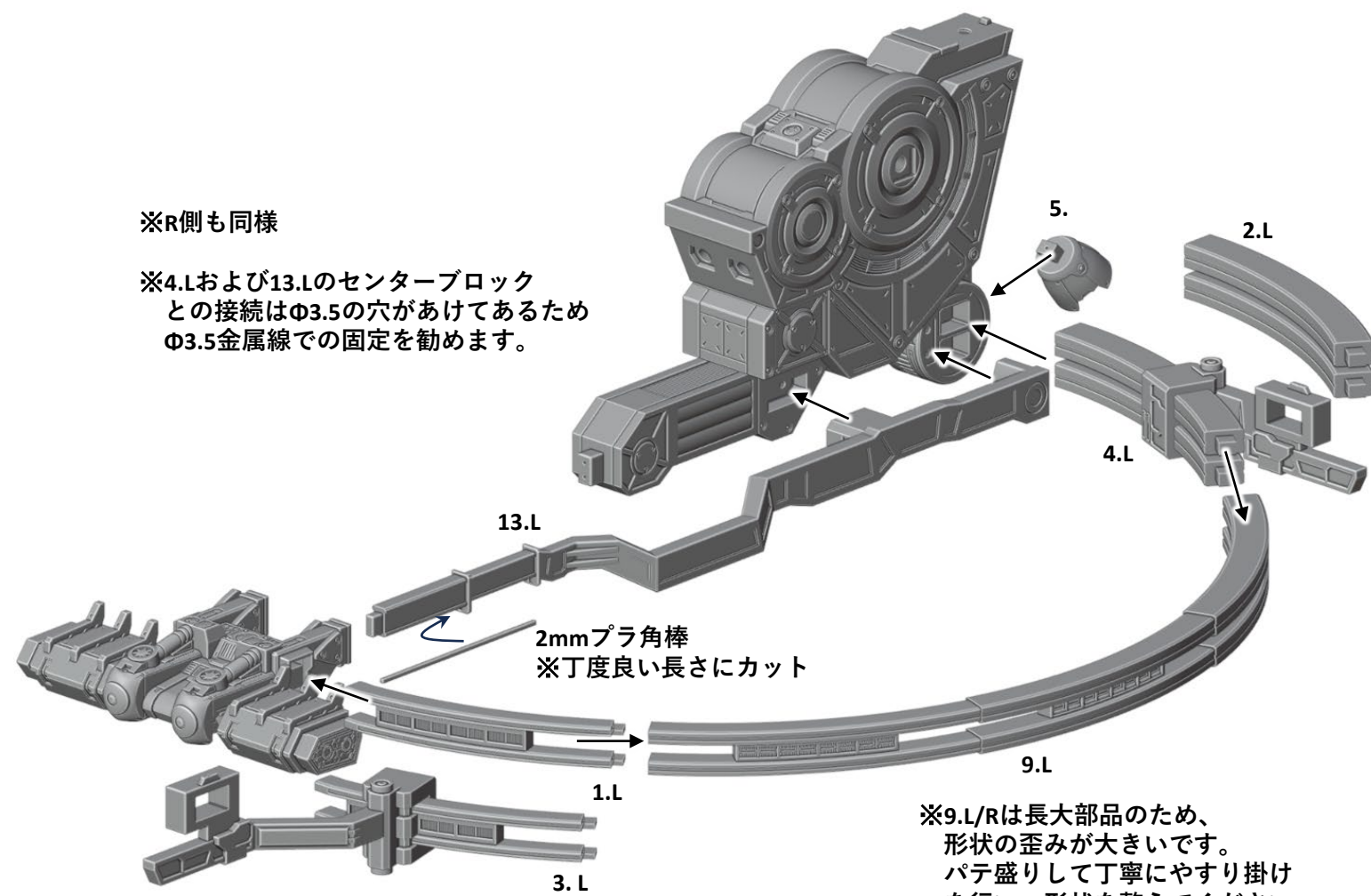


サブアッシー07 【ベースリング】

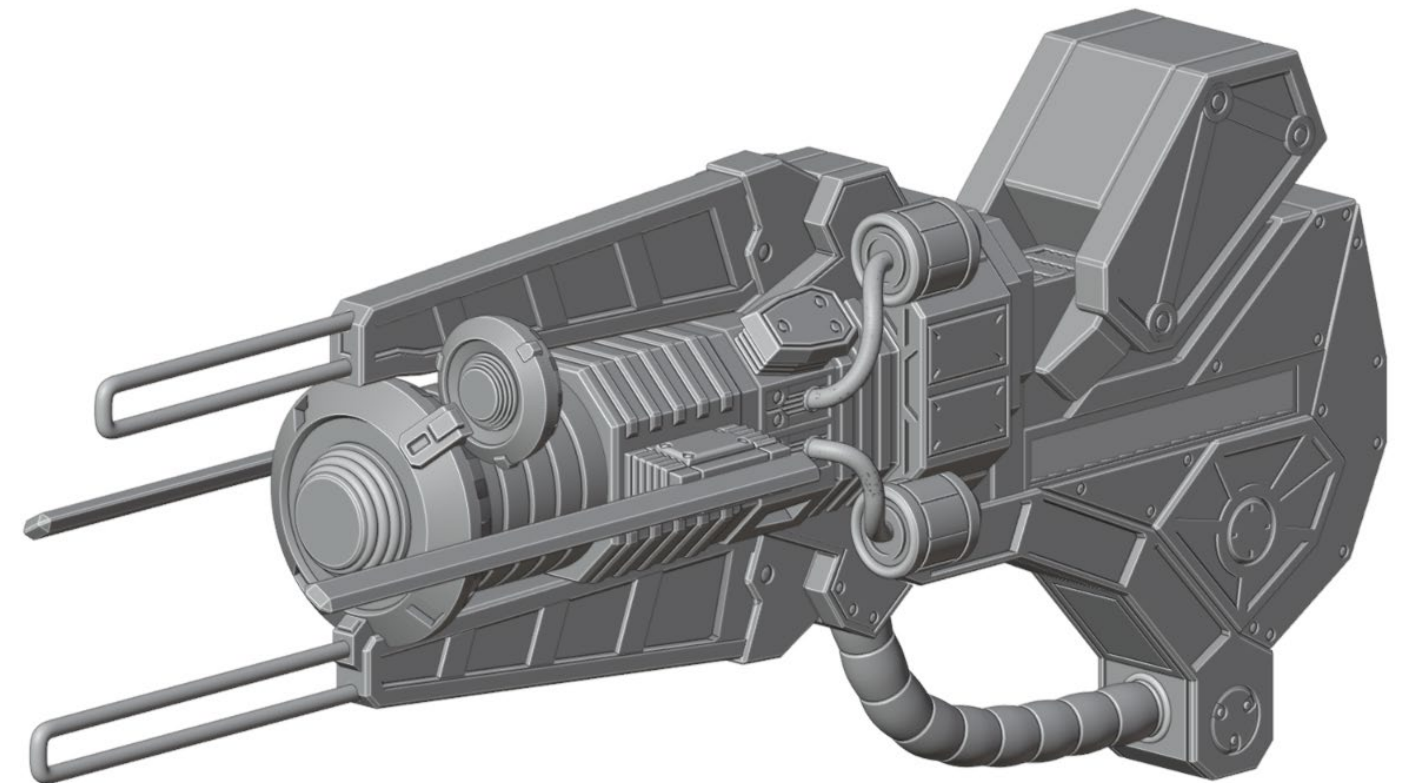


※R側も同様

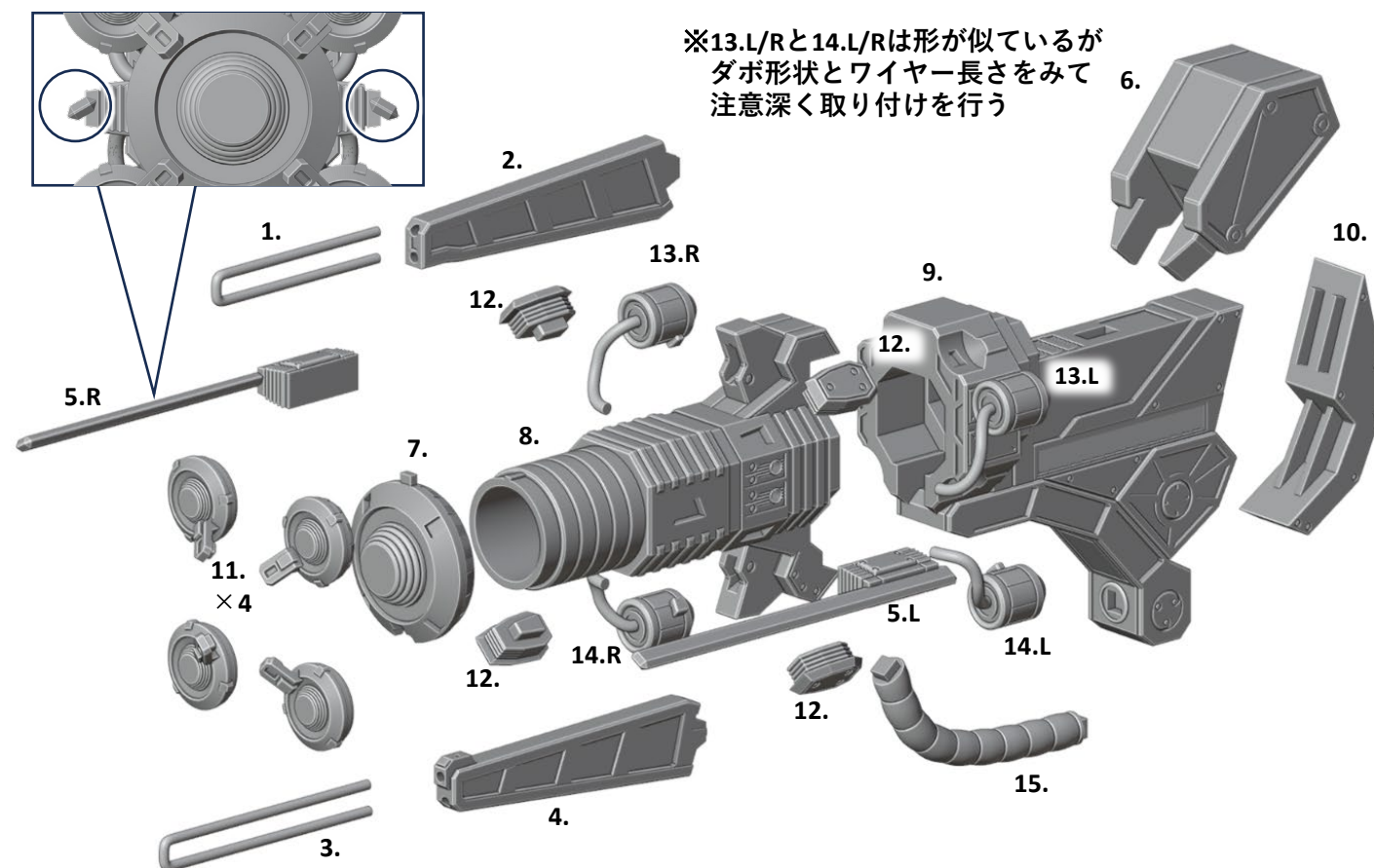
※4.Lおよび13.Lのセンターブロック
との接続はΦ3.5の穴があけてあるため
Φ3.5金属線での固定を勧めます。



サブアッシー08 【ショルダーキャノン】

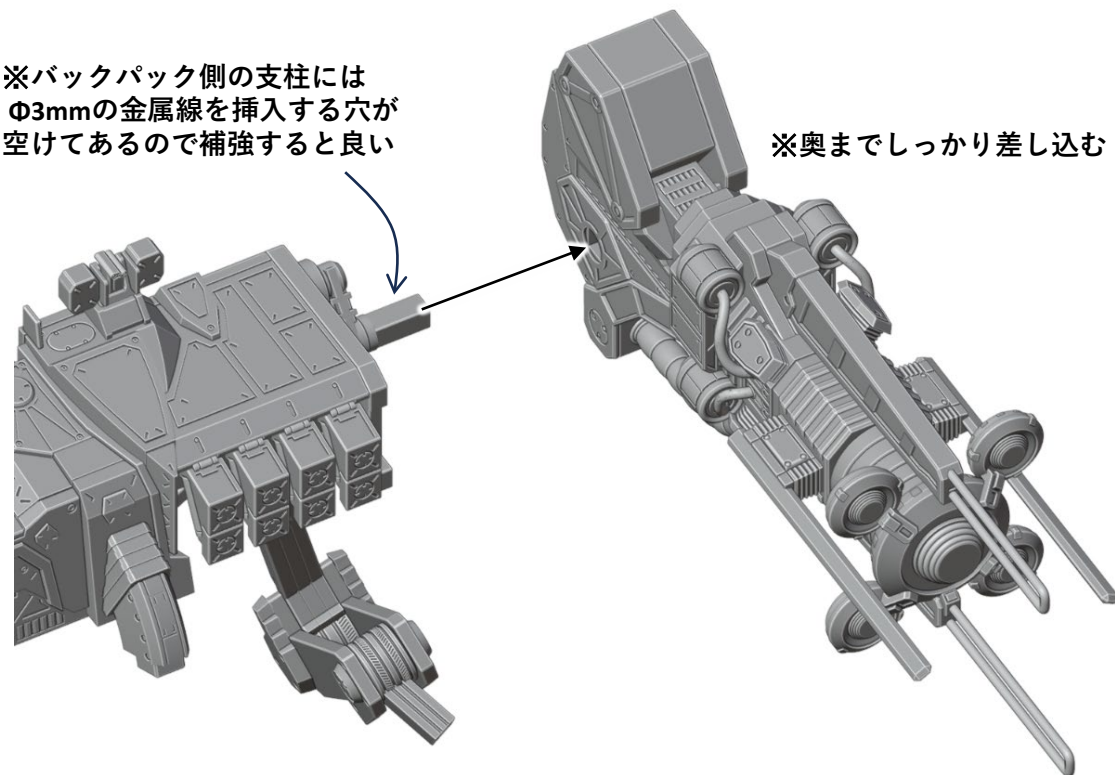


サブアッシー08 【ショルダーキャノン】

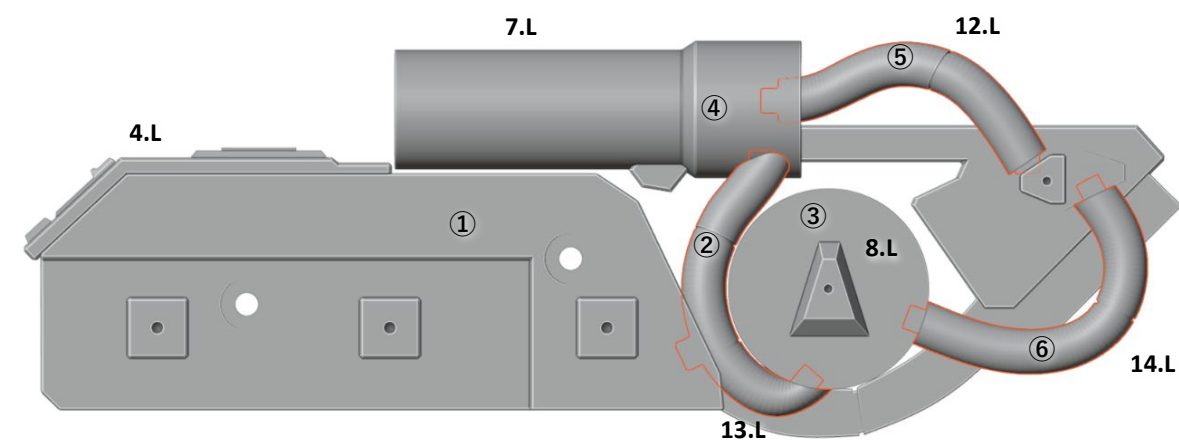


※バックパック側の支柱には
Φ3mmの金属線を挿入する穴が
空けてあるので補強すると良い

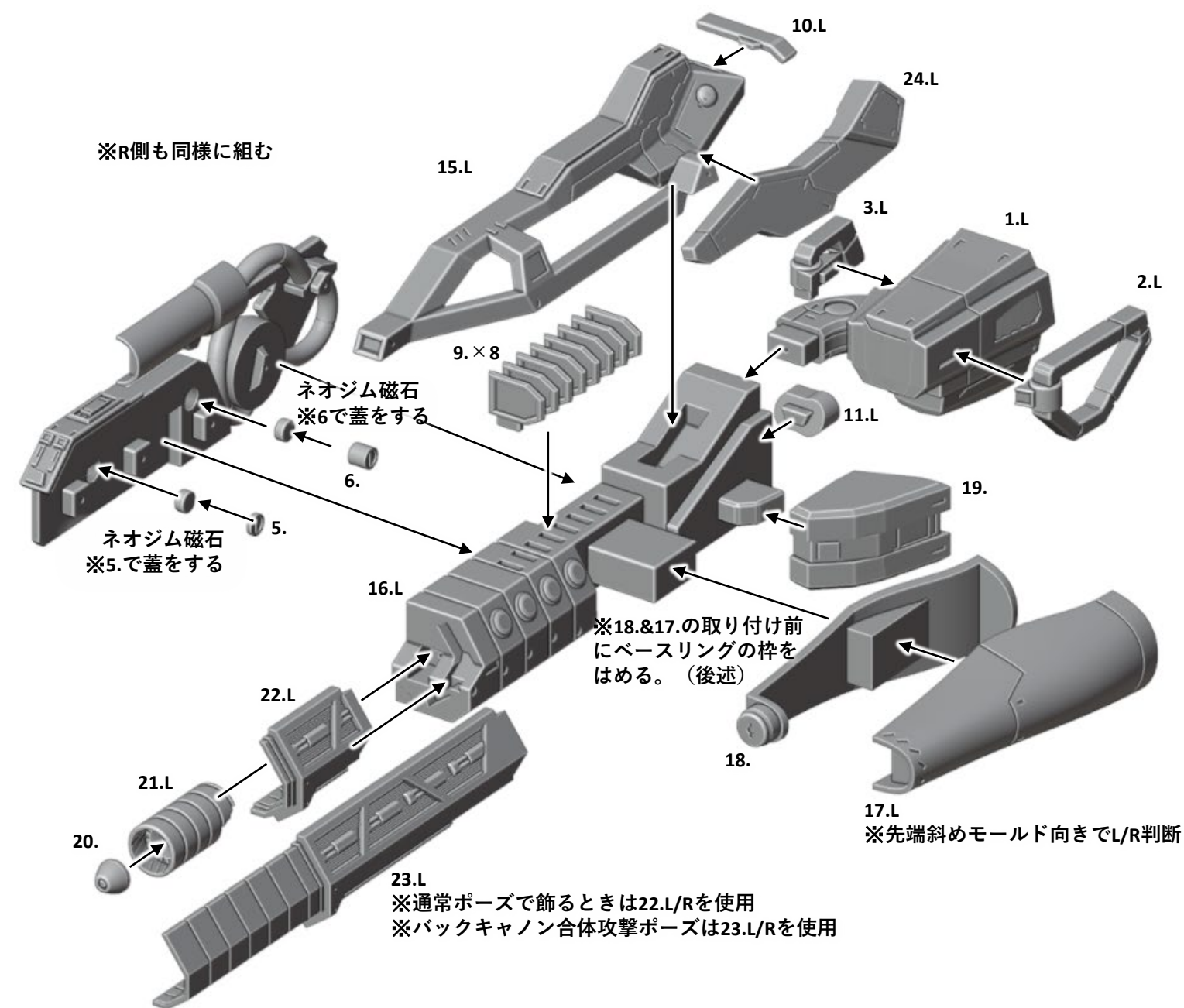
※奥までしっかり差し込む



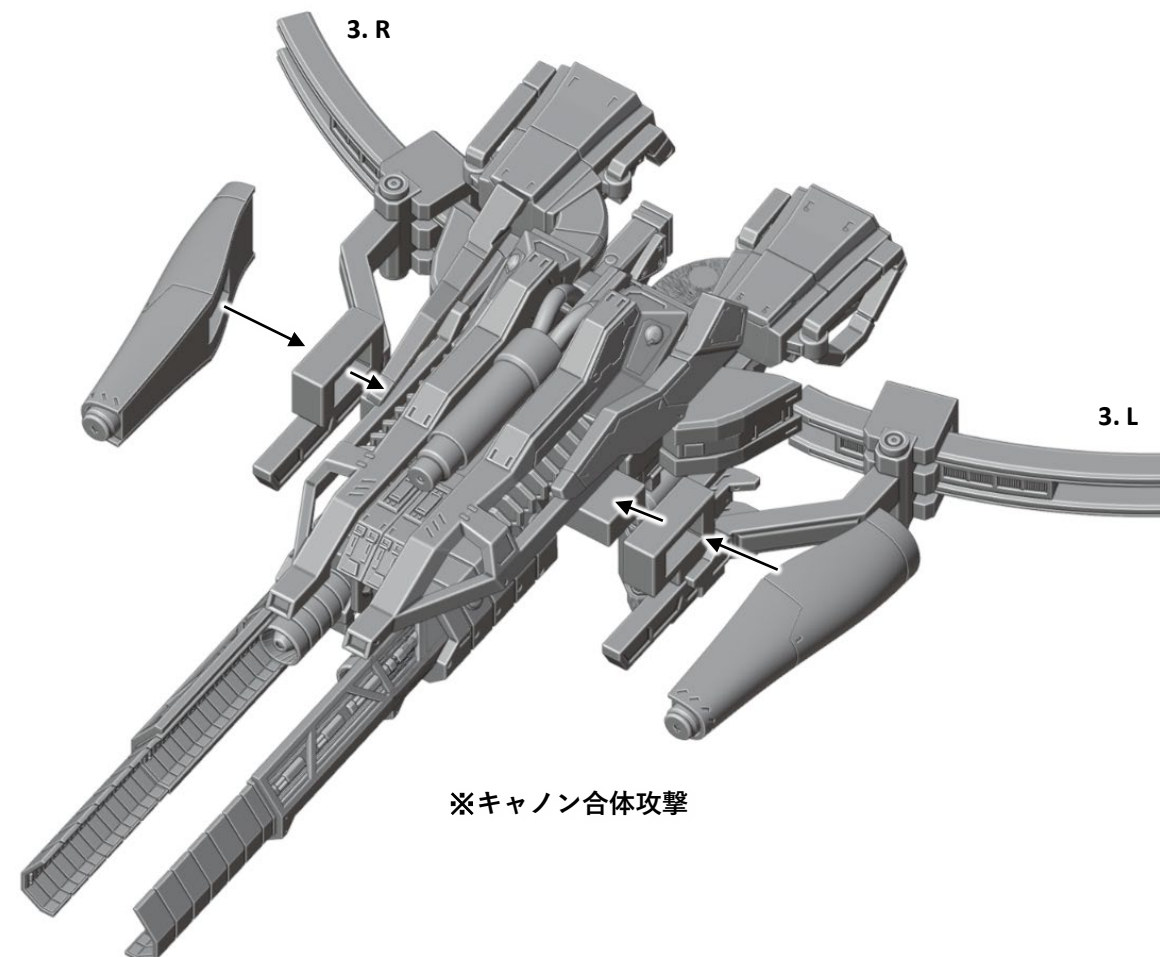
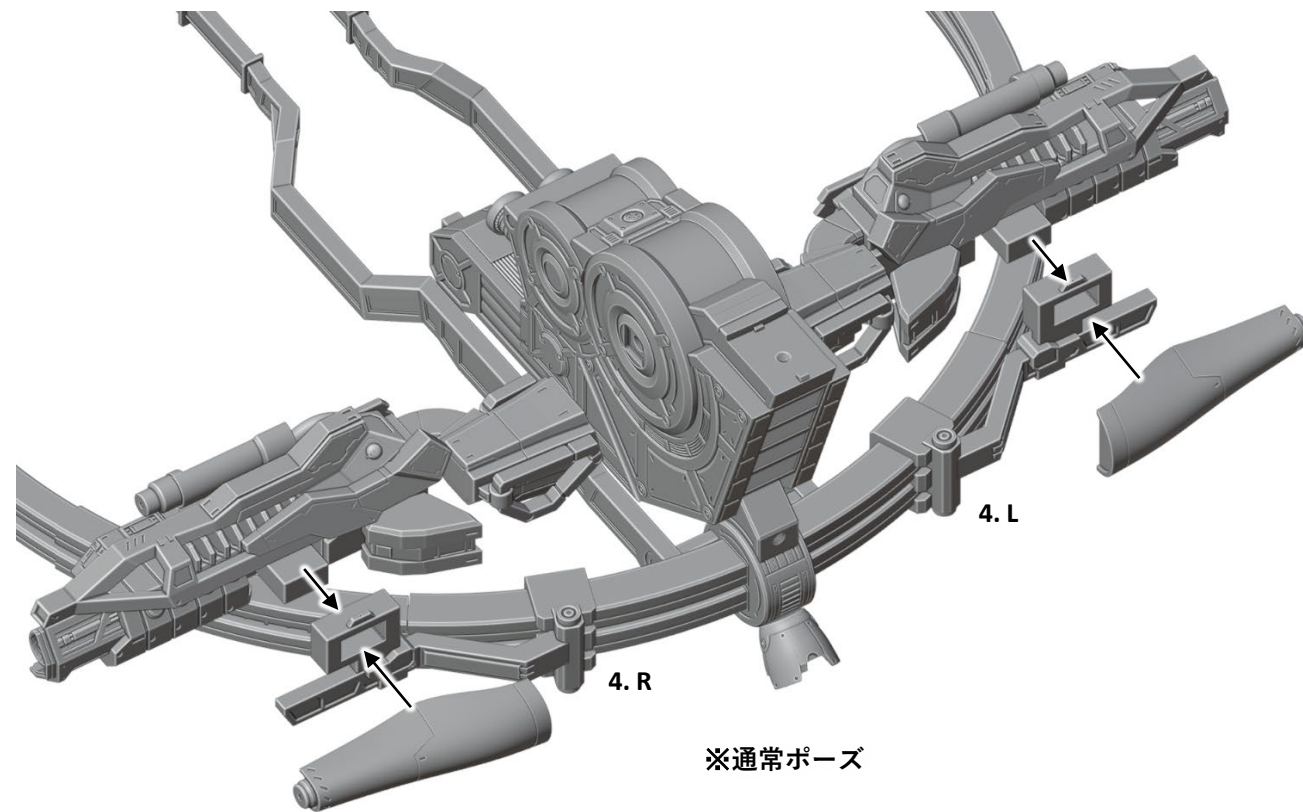
サブアッシー09 【バックキャノン】



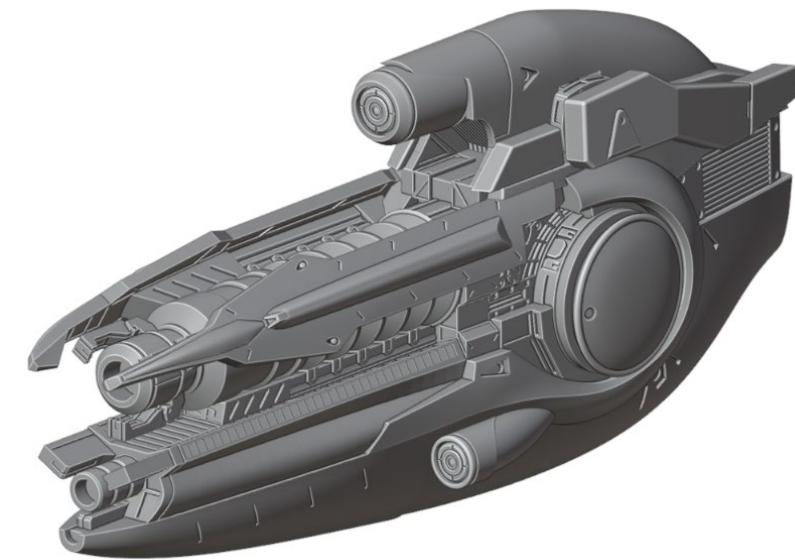
※1、サイドパネル組み上げにあたり、パイプの形を正確に把握する。
パイプは形が似ているがL/Rがあり、ジャストフィットする設計。
もし一部が浮いているまたは合わないなどの場合、L/R違いを疑うこと。
※2、組付け順序は上記の○番号順に部品をくっつけていくとよい。



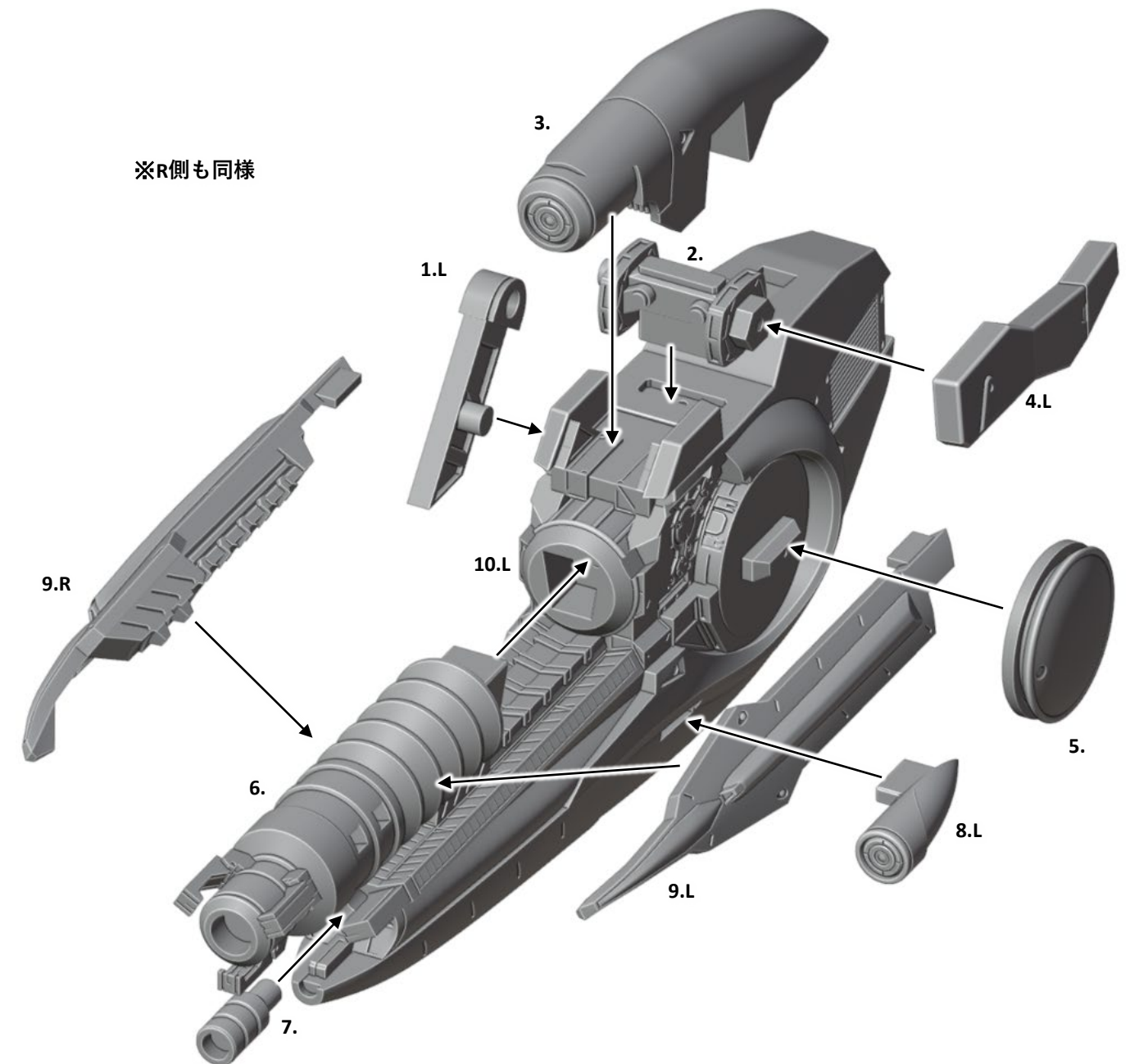
サブアッシー09 【バックキャノン】



サブアッシー10 【ハンドキャノン】

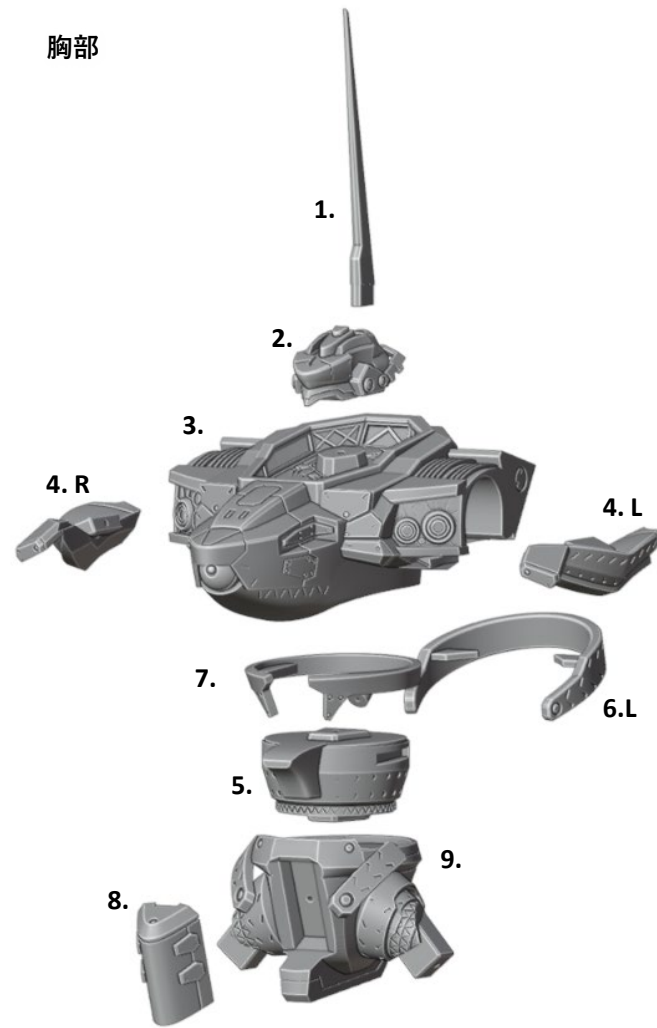


※R側も同様

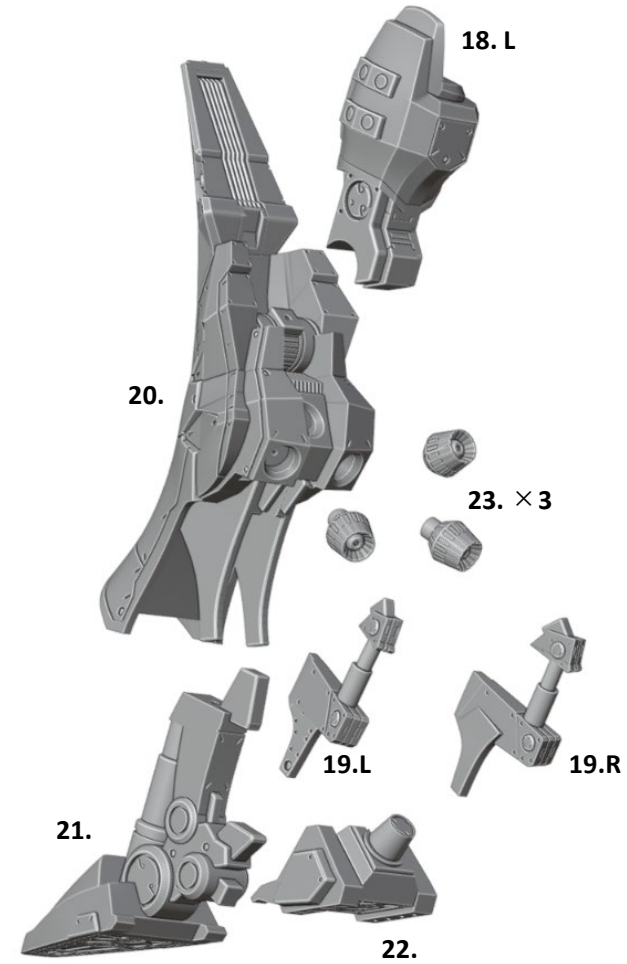


サブアッシー11 【ロボット】

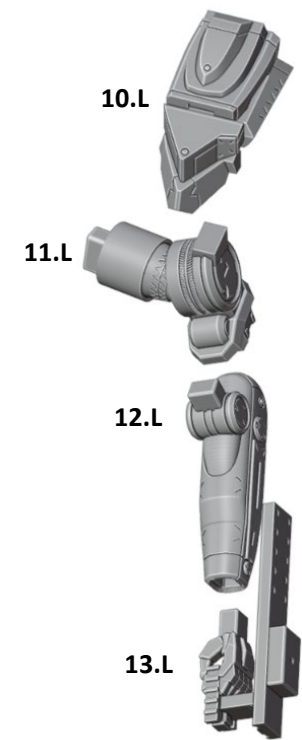
胸部



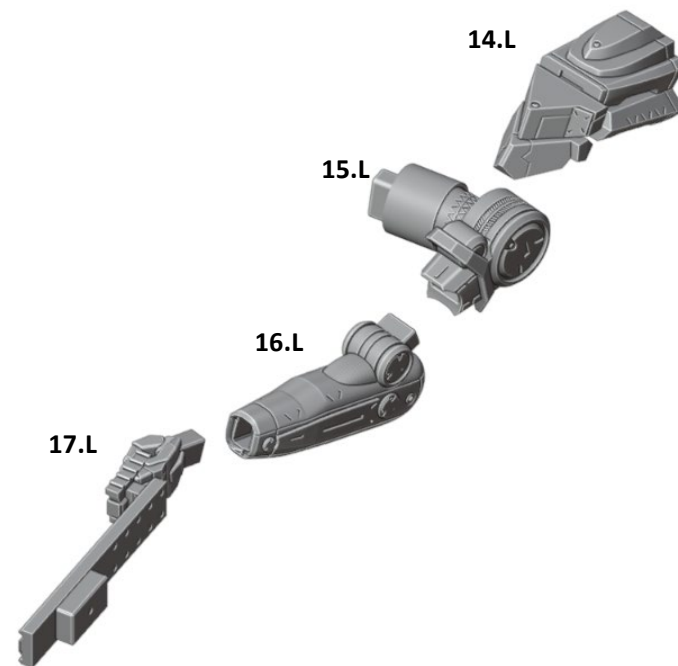
脚部



腕部

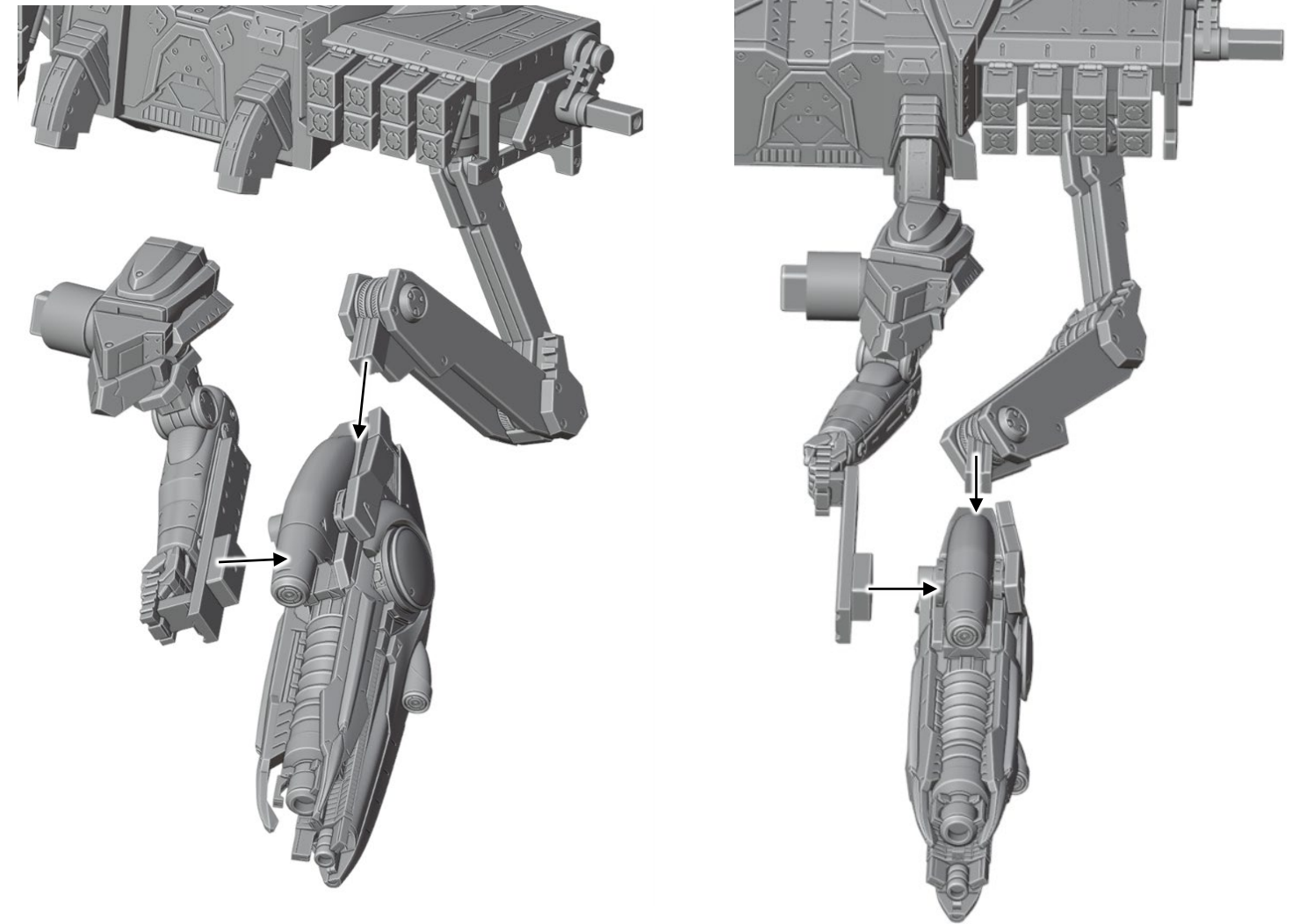


※通常ポーズ用

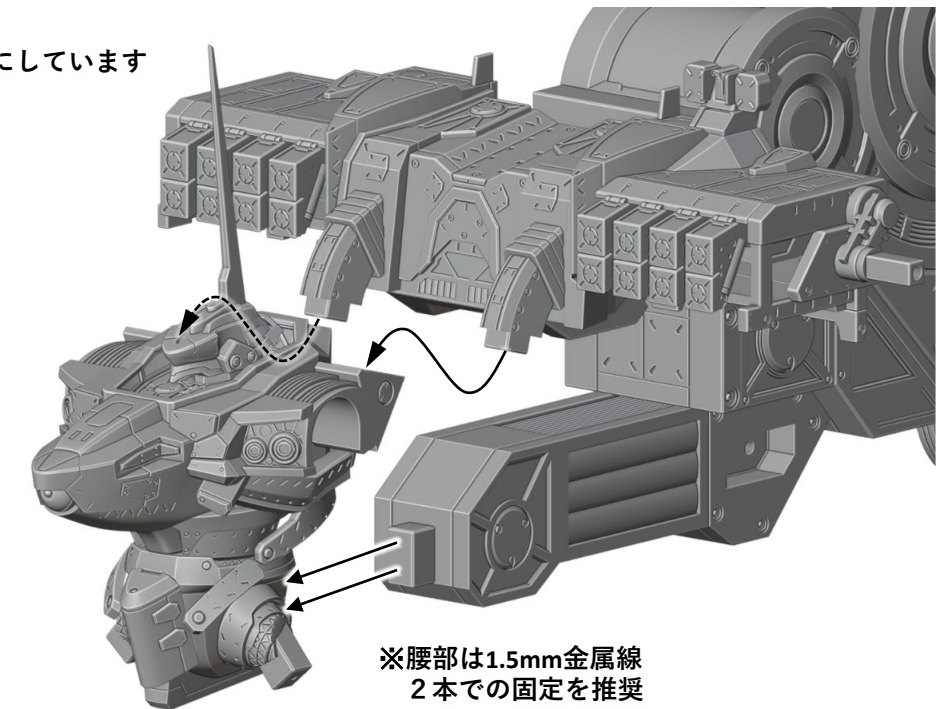


※キャノン合体攻撃用

サブアッシー11 【ロボット】

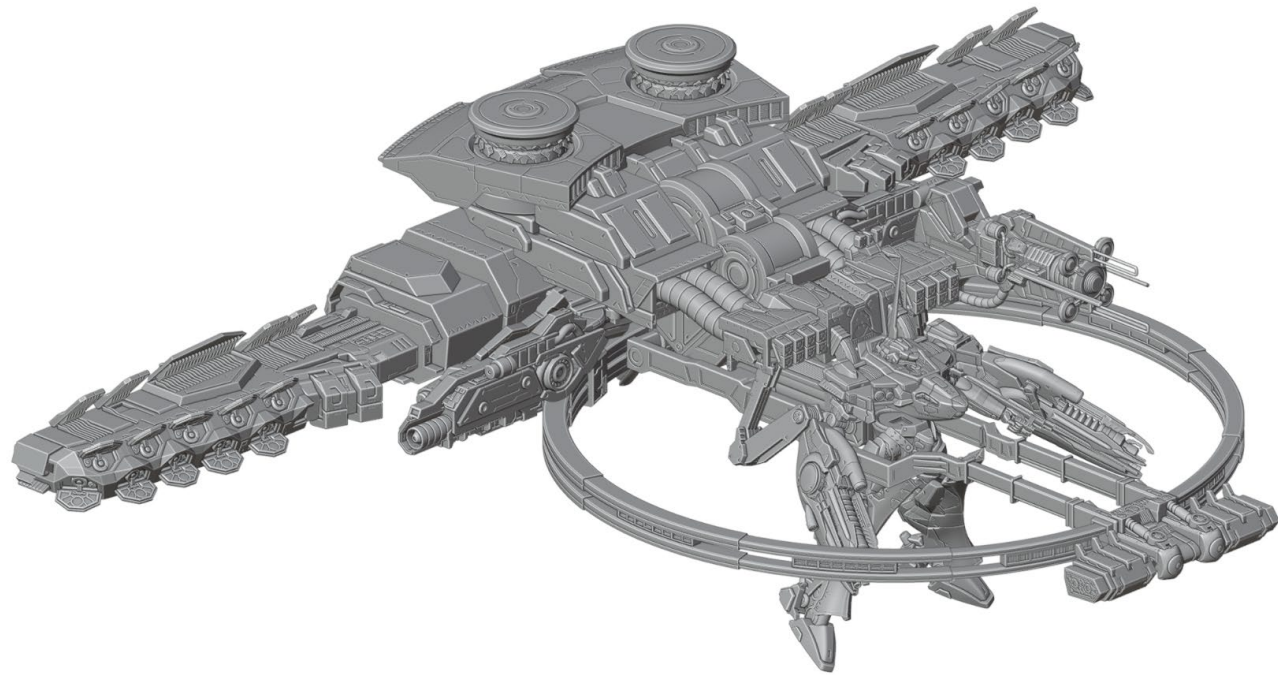


※周辺の部品を非表示にしています

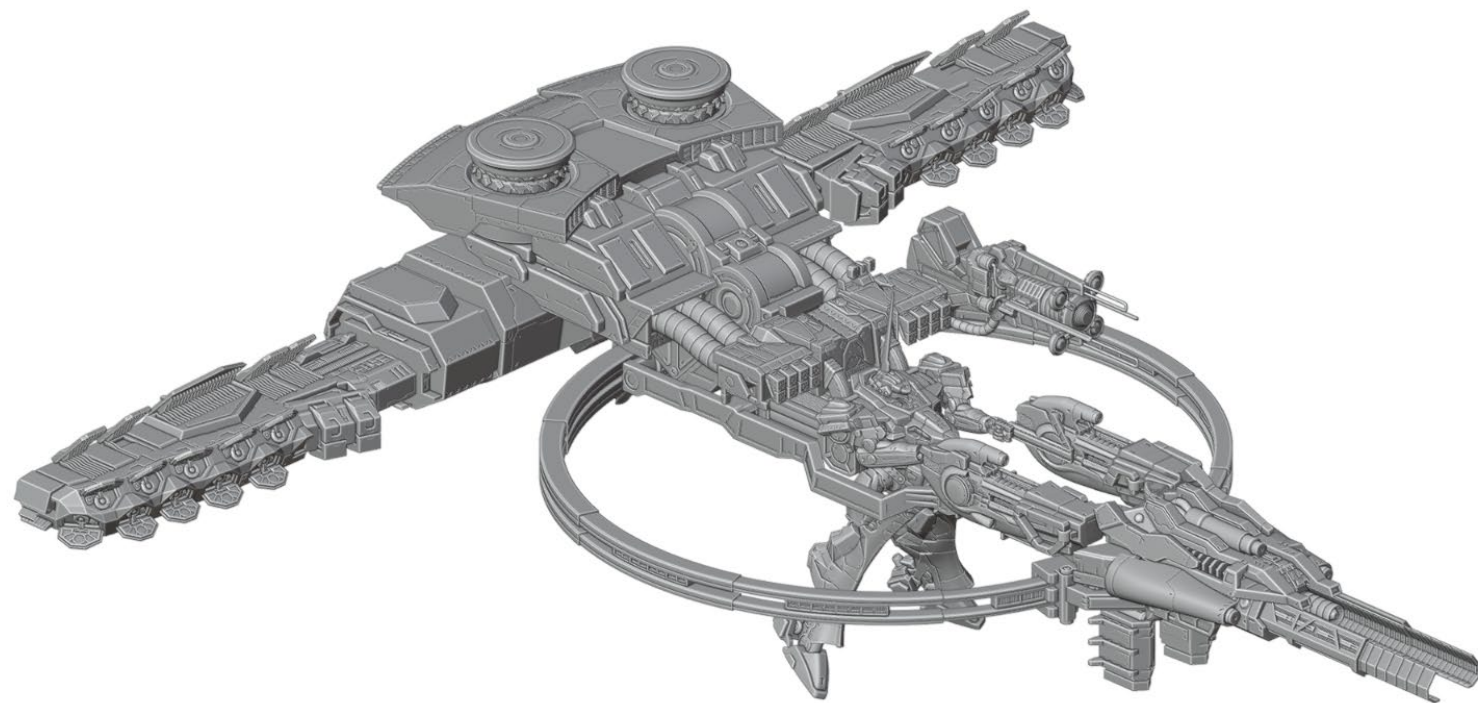


※腰部は1.5mm金属線
2本での固定を推奨

完成【全体像】



※通常ポーズ



※バックキャノン合体攻撃

台座への取り付け



※差し込みのみ。

※アルミ角パイプは好みに応じて金切りのこぎりで
カットして長さを調整してください。